大正六年九月十四日第三種郵便物認可・昭和十年十二月二十五日印刷納本・昭和十一年一月一日發行(毎月一回一日發行)

建築と社會

新年號

1

第十九輯第一號　昭和十一年一月一日

日本建築協會

謹賀新年

昭和十一年元旦

三機工業株式會社大阪支店

東洋キヤリア工業株式會社大阪支店

東洋鋼材株式會社大阪出張所

（絶　版）	**關東震火災視察記** 震災直後本協會員の視察報告集	定價 3.50圓	（送料12）
（絶　版）	**住宅懸賞圖案集** サンマーハウス、貸長屋の懸賞圖案集	定價 1.00圓	（送料10）
（絶　版）	**婦人の住宅知識** 婦人に必要なる住宅の諸說を蒐集せるもの	定價 1.00圓	（送料10）
（絶　版）	**學校建築圖集** 幼稚園、小學校より大學校に到る迄の諸種の學校を網羅す	定價 1.00圓	（送料18）
（絶　版）	記念出版 **住宅圖案集** 工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅懸賞圖集	定價 1.00圓	（送料10）
（絶　版）	**續學校建築圖集** 最近二三年間に竣工した大・中・小學校建築40餘校を蒐めたもの	定價 1.00圓	（送料12）
昭和6年發行	**最近建築懸賞圖集** 東京帝室博物館・東京美術館・軍人會館・日本生命館等東洋趣味を基調とせる大建築懸賞圖集	定價 0.70圓	（送料10）
昭和6年發行	**世界最近建築圖集** 歐米尖端の新建築の寫眞集	定價 0.50圓	（送料 8）
（五　版） 昭和10年發行	**市街地建築物法令** 六大都市施行細則其他關係命令を蒐めたもの	定價 0.50圓	（送料 6）
昭和8年發行	記念出版 **大阪市地質調査圖表** 大阪の地質を500箇所に亘り調査した圖表	定價 3.50圓 （本協會員に限り3.00圓）	（送料12）
昭和8年發行	記念出版 **續住宅圖案集** 工費2500圓以內建坪30坪以內の小住宅及同上の集所圖集	定價 1.00圓	（送料10）
昭和10年發行	**都市武裝促進委員會記錄** 都市防空に關し演習部報告僞裝遮蔽報告燈火管制報告等凡て寫眞を以て揭載菊倍版400頁大冊	實費 1.60圓 本協會員一冊に限り 1.00	（送料14）

日本建築協會發行　大阪・北區・朝日ビル　振替口座大阪 39975

賣捌　**柳々堂書店**　**丸善本支店**

建築と社會

第19輯第1號　昭和11年1月發行

新年號

目次

昭和拾壹年を迎ふ……片岡安（1）

建築の社會的意義に就て……安宅彌吉（3）

建築と社會……ブルーノ・タウト（15）

空襲と都市の建築……波江悌夫（20）

菊水の綜合的裝飾に就て……武田五一（25）

滿洲に於ける住宅の採煖法に就て……田中進（35）

大阪の都市美座談會……（52）

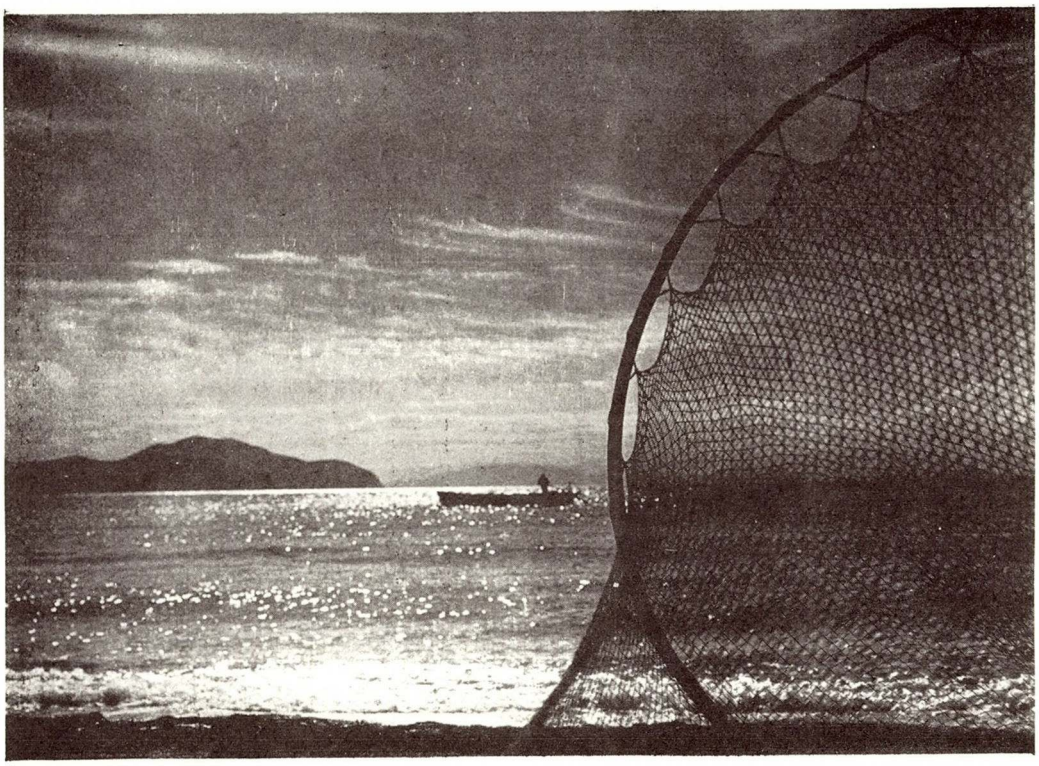
ブルーノ・タウト寫眞集……（5）

菊水樓寫眞……（25）

國際新建築……（71）

會報……（85）

第十八輯・總目次（附錄）……（92）



海上遠雲

昭和十一年を迎ふ

工學博士　片岡安

建築界の進展は年と共に益々その程度を高めつゝあることは最近十年間特に著しきものがある。我々は新に年を迎ふる毎に其期待を裏切らるやうなことのなかりし過去を追想すると共に、來るべき年に於て更に一層大なる進展を畫策するの快事を喜ぶものである。

我國の如き現代文化に比較的後れてデヴユーせる國柄に於ては、先づ第一に都市の建築物を改造し新設することを急務とするは言ふまでもないので、過去60年の間は規模の大小もあり進展の遲速もあつたが、引續き連年その實現に邁進して來たのである。しかも各都市一齊に順調なる道程を辿り今日に至つたことは、我國近代の歷史に特筆すべき文化進展上の重要なる地位を占むるものである。殊に最近數年間の進展は空前の事蹟にして、世界

の何れの國に於ても餘り多くその例を見ざるところである。最近世界の各都市は概ね建設を手控へて居るのであるが、獨り我國のみは依然として建設又建設を續けつゝあり、所謂創造の潑溂たる活力に滿ち滿ちて居る狀態であることは我等年來の主張が順調に實現しつゝあるので、我國家の健全なる發達を意味するものとして慶賀に堪へぬところである。

數年前我國一般のデフレーションに際し産業經濟は極度に萎縮し、我建築界の前途に一抹の暗雲が漲らんとするの情勢があつた。しかるに實際に於てその影響は比較的鮮くして終焉を告げ再び順調のインフレーション時代に入りて、昨年來本年に入り更に良好なる進展を見つゝあることは、獨り建築關係者の愉快とするところであるのみでなく、我國の文化進展上大に慶賀すべき次第である。そもそも建築旺盛の時代は一面に産業振興の隆昌期なるを示すと同時に、藝術發達の顯著なるものあるを意味するのである。即ち今日我建築界の進展は産業及藝術の兩方面に我國の文化が幅廣く且つ根强く向上しつゝあるを示すのであるから、我々建築界に在るものは此の重大なる時機を逸せず、益々研鑽を積み、獻身の努力を拂ひ、協力一致してこの兩方面の開發向上に盡さねばならぬのである。

建築物の經營を以て不急の土木なりと考へた時代は已に過ぎ去つたのであるが、兎角この謬れる思想が爲政者の手腕を鈍らし引いては建築の發展を狙害することが多いのである。消費節約に依りて財政經濟の好轉政策を樹てんとする際は、殊にその正面に當りて壓迫を受くるものを建築とするのであるが、事實は凡てその期待を裏切り、建築の建設を手控することに依りて數十種の産業は萎縮し、その關係者は凡て失業し消費力の減退すること夥しき爲めに不景氣を徒らに累加するの結果となり、政策は全く失敗に終るのである。故に建築物の建設は常に順調に向上しつゝ進展することが一國經濟の政策として尤も望ましきところであつて、やがてその進展が半面に藝術の進歩を促進し文化の向上に寄與すること大なるものあるや疑ふの餘地はない。我國民は今や國際舞臺に於ける優越なる地歩を占め堂々として獨自の威力を發揮しつゝある。歐米文化の模倣を超越して東洋文化の精華に生きつゝある。更に進んで我文化の眞髓を世界の各國に理解せしめその恩澤に浴せしめんとするの秋である。建築及それに附隨する藝術は實にその媒劑として、役立つ運命にあることを考ふる時は、我々建築界のものの、爲すべき事業の如何に重且大なるかを痛感せざるを得ない。

建築の社會的意義に就て

大阪商工會議所會頭　安宅彌吉

昭和11年の新らしき春を迎へて我國運の益々隆盛なるは御同慶の至りである。私は建築に就いては全くの門外漢であるが、一國民として又は一社會人として建築の社會的重要性につき聊か所感なり希望なりを述べてみたいと思ふのである。

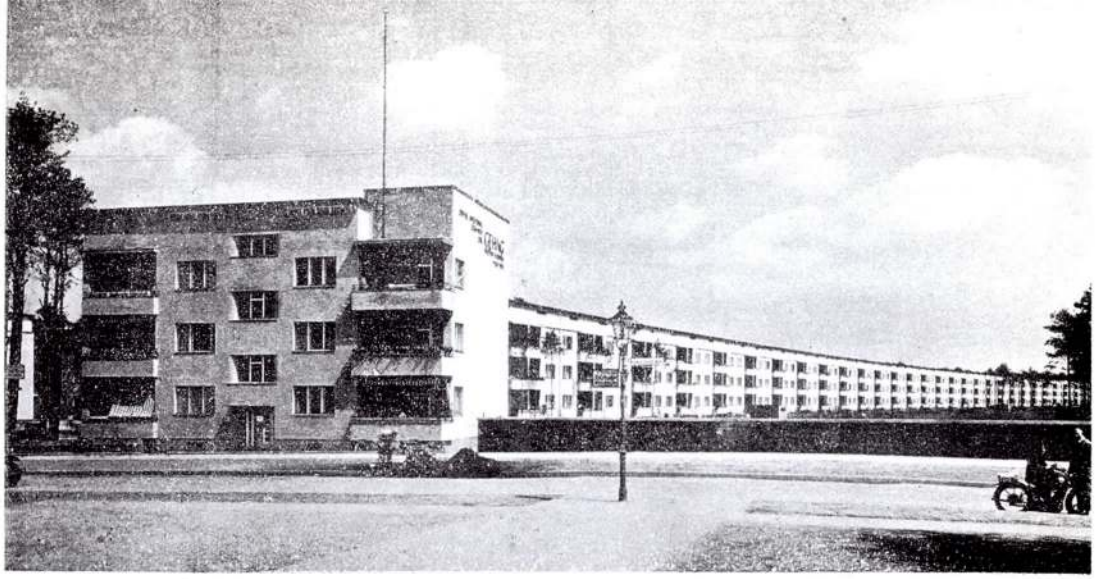
建築が吾々の日常生活に缺くべからざる衣住食の構成要素を成して居るばかりでなく、社會の文化並に產業の發展上如何に重要なる地位を占めて居るかは今更絮說の必要がないのである。往古に於ける結構壯麗なる、或は又簡素典雅の建築物が、夫々その時代の文化を語る一大標徵として永く威容をとゞめ、後世々人をして不言裡に歷史に對する理解と、祖先への欽慕の念を深からしむるに絕大の力を有して居ることは、吾々が自らの體驗に依つてよく承知して居る處であつて、その國民精神の涵養の上に及ぼす影響は誠に大きいと云はねばならぬ。又之は必ずしも我國に限つたことではないが、旅に出る場合多くの人が訪れるのは神社佛閣或は名所舊蹟である。而してそこに神佛への禮拜祈念と悠久なる歷史への回顧の一時を過ごすのであるが、それ等の場所に於て人々は清淨なる天地自然の美とそれに相應しい建築物に接することが多いのである。一宇の堂、一個の碑も過去を永久に生かす力がある。今日科學の發達と共に工作技術に異常の躍進を遂げた近代建築物は官公衙、銀行會社、工場、倉庫等の事務的建築物に、或は劇場、ホテル、デパート等の大衆向建物に各自歐米樣式を採り入れて堅牢巨大を競めて居るのであるが、之等は正しく都市美の一大要素であり、現代文化の集積であると申して差支ないであらう。

建築の重要性は右の如き社會文化の上からのみでなく、更に之を一國產業の見地よりすれば、そこに又極めて重要なる意義を有することを認むるのである。時代の景氣、不景氣と云はれるものが最もよく建築事業の上に現れるものであることは、米國等で景氣觀測の指標として重要視されて居る事に依つても推知出來るのであるが、その現れは株式其他商品市價の動きに比すれば稍緩漫であるとは云へ財界の活動力を反映するバロメーターとし

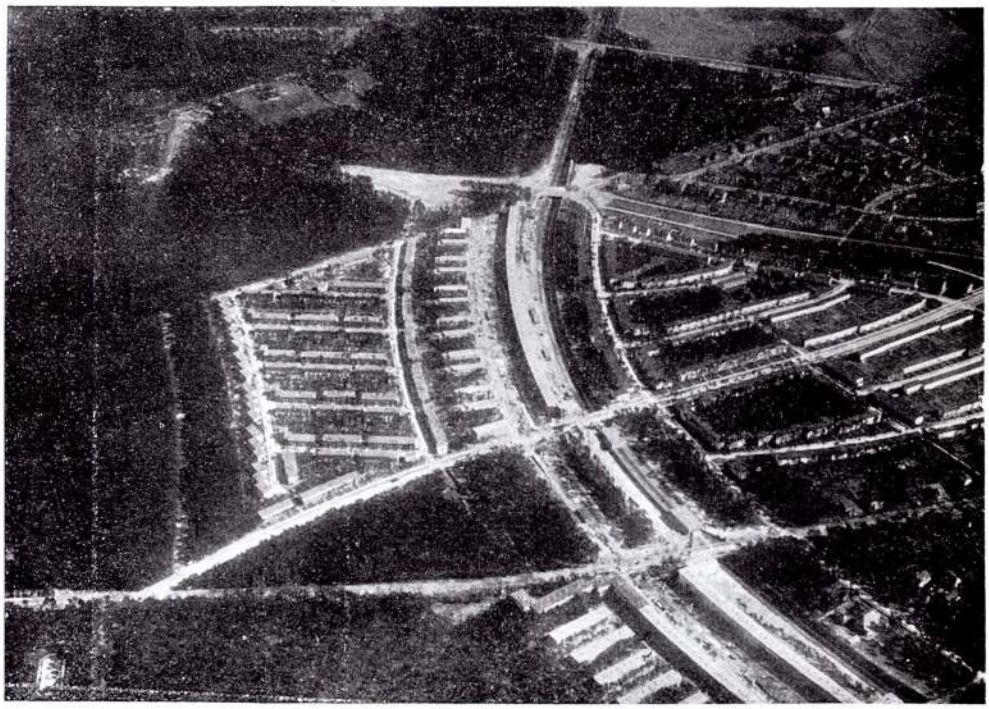
ては可成りに的確であると思はれる。

此點に就て私の希望を述ぶれば嘗て高橋大藏大臣が其必要を提唱された如く、我國に於ても此の建築統計の完備を圖ることが頗る緊要であると思ふのである。勿論この事は政府其他の指導援助がなくては急速に目的を達することが困難であらうが、若しかゝる建築統計が完備して居たら風水害保險の立案の如きも基礎資料を得ることが容易であるに違ひない。次に我國國富中に於ける建築物の占むる地位を見れば、昭和五年末現在に於て各種財物の總價額は1101億餘圓と見積られてゐるが、その中最も大なる部分を占めてゐる土地の400 餘億圓即ち全體の 3 割 7 分に次いで、建物は第 2 位を占め 228 億餘圓即ち國富全體の2割餘に達して居るのである。而して更に建物を公有と私有とに分てば、207億圓即ち 9 割以上は私有に屬して居るのであるから、國民の生活上に於ける建築物の地位の重大さが觀取されるのである。

最後に我國に於ける建築の將來に對する希望に就て一言申添へるならば、近時政治、經濟は固より思想、文化其他汎ゆる方面に於て我國獨自の確固たる立場が世界に向つて、昂揚されつゝある場合に際して、建築事業界も又從來の歐米模寫主義より蟬脫して獨自の日本建築或は東洋建築を生み出すべき時が來て居るのではあるまいか。即ち所謂單なる建築の國際化より一步を進めて我國民性と現代生活樣式に加ふるに傳來の建築が有する長所を融合して、そこに渾然たる新日本建築の實現を期することが我建築界の重大使命であると思はれるのである。同時に又今後の國際情勢に伴ふ世界不安に對しては建築施設に於ても都市の防空耐火設備の完全が切に望ましいのである。之は單に非常時の場合のみならず平時に於ても地震國たる我國に於ては特にその必要があるのである。幸に建築關係者の一段の努力と一般社會の理解を熱望して已まぬ次第である。



1・ツエーレンドルフ　ジートルング



2・ツエーレンドルフ　ジートルング
約1600戸の住宅・1927—32年地方計畫共

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

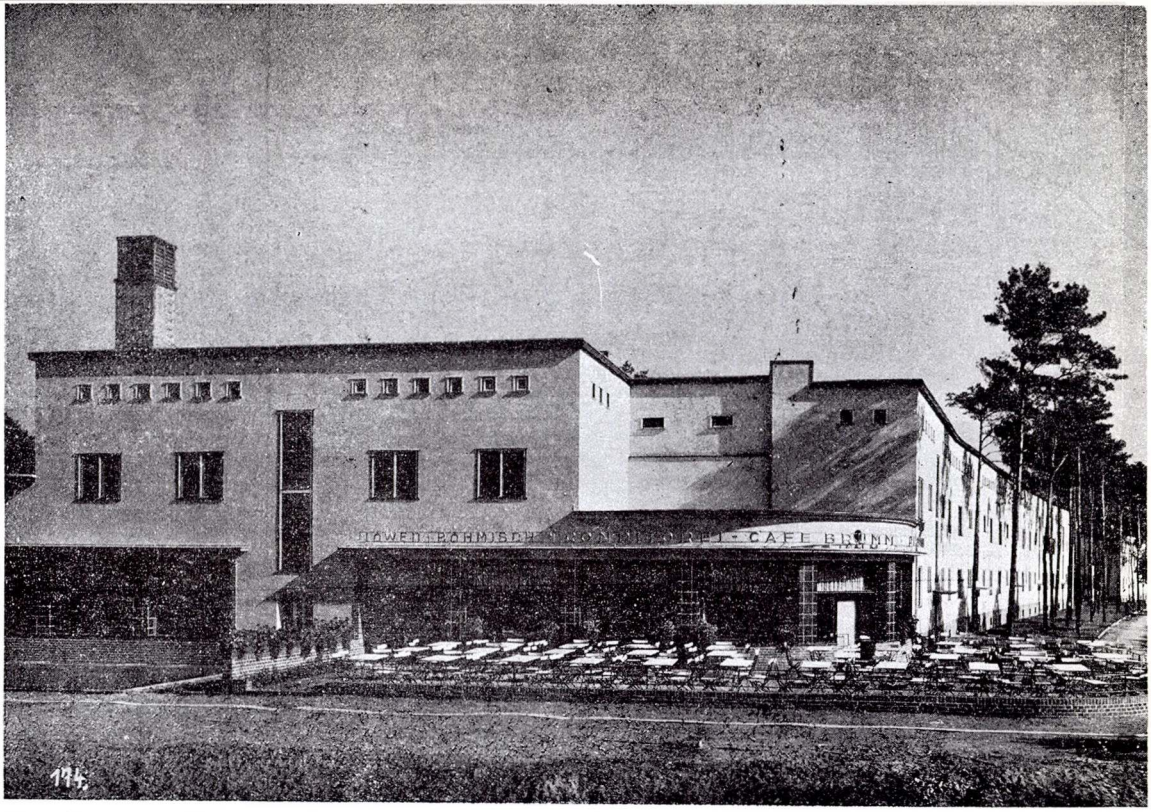


3・ツエーレンドルフ　ジードルング



4・ツエーレンドルフ　ジードルング

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

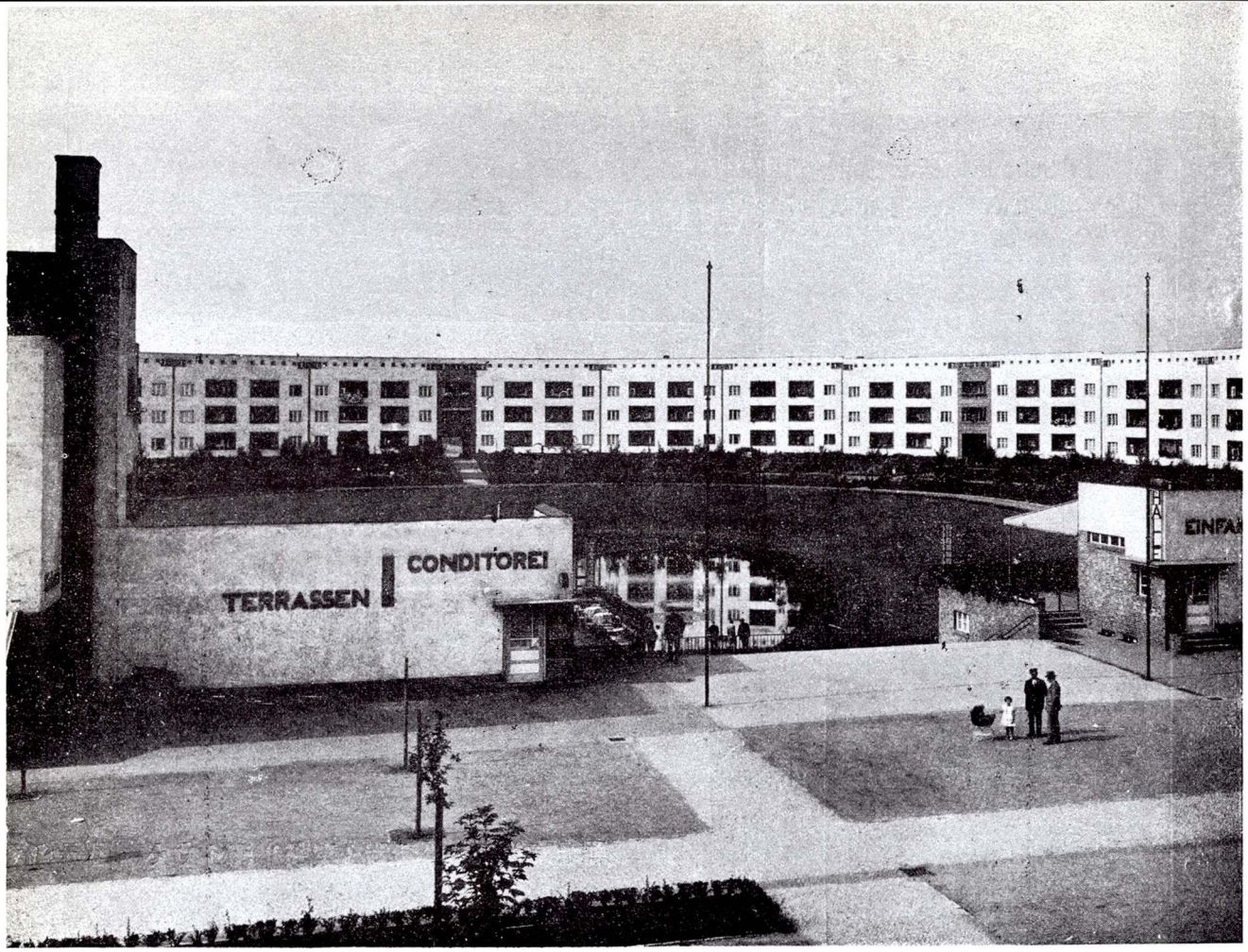


5・ツエーレンドルフ　ジードルング



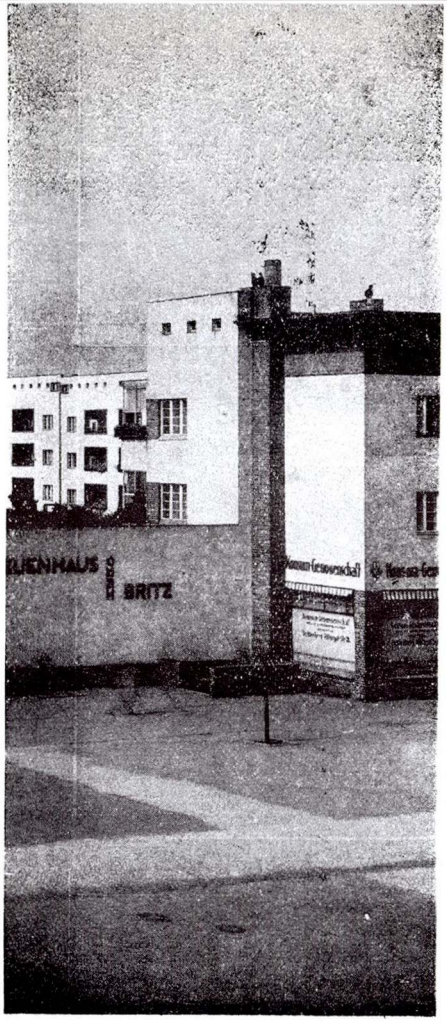
6・ツエーレンドルフ　ジードルング

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照



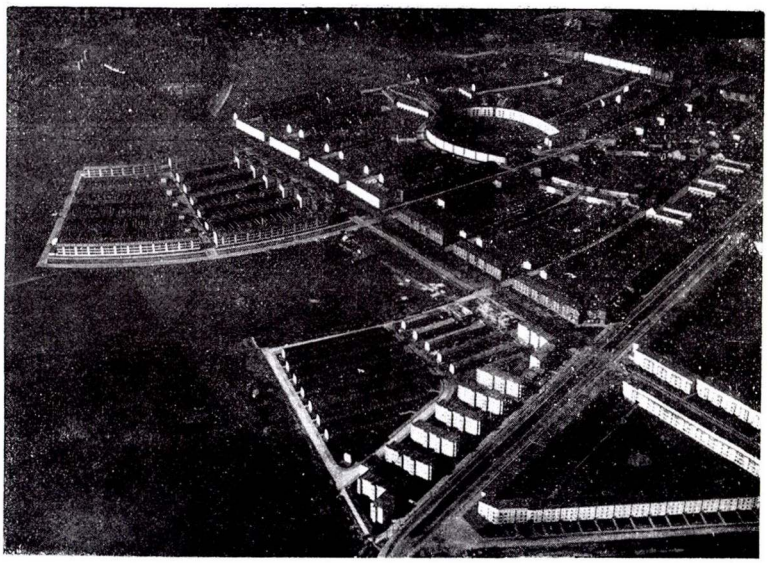
7・ブリツツ ジードルンダ・1925～26年

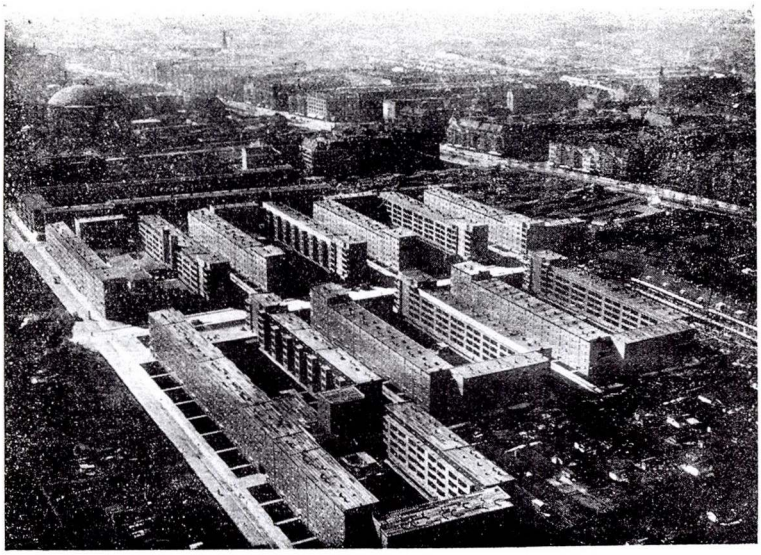
ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照



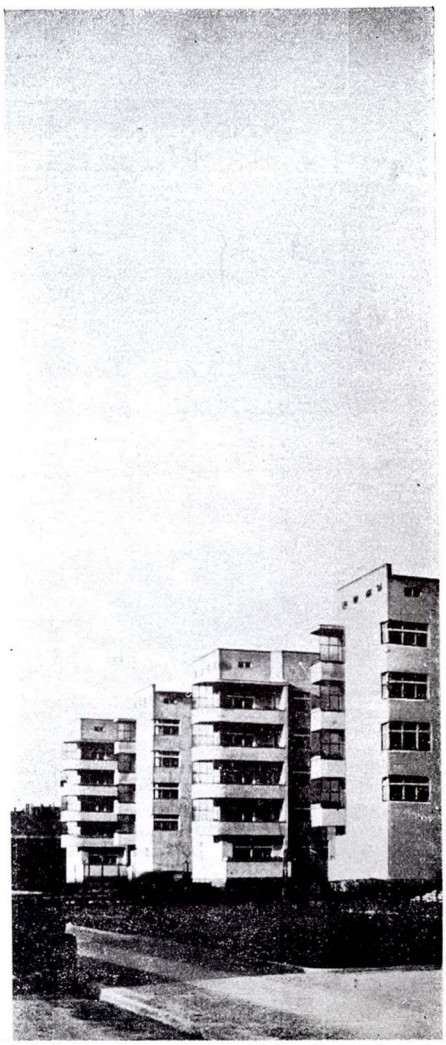
ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

8・ブリツツ　ジードルク・
約3000戸の住宅 1925～
29年地方計劃共





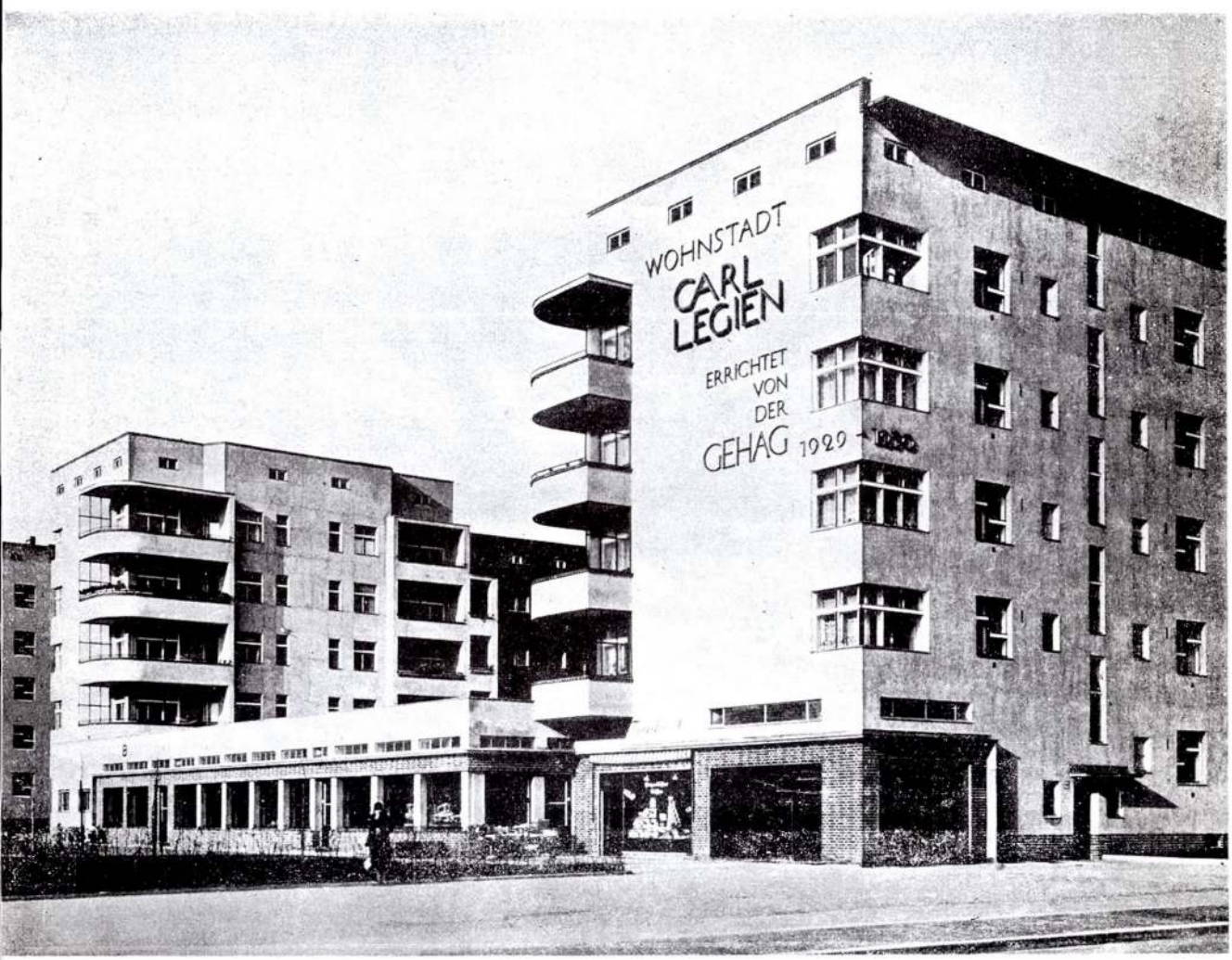
10・カール レジエン　ジートル
ンダ 1929～30 年地方計畫共

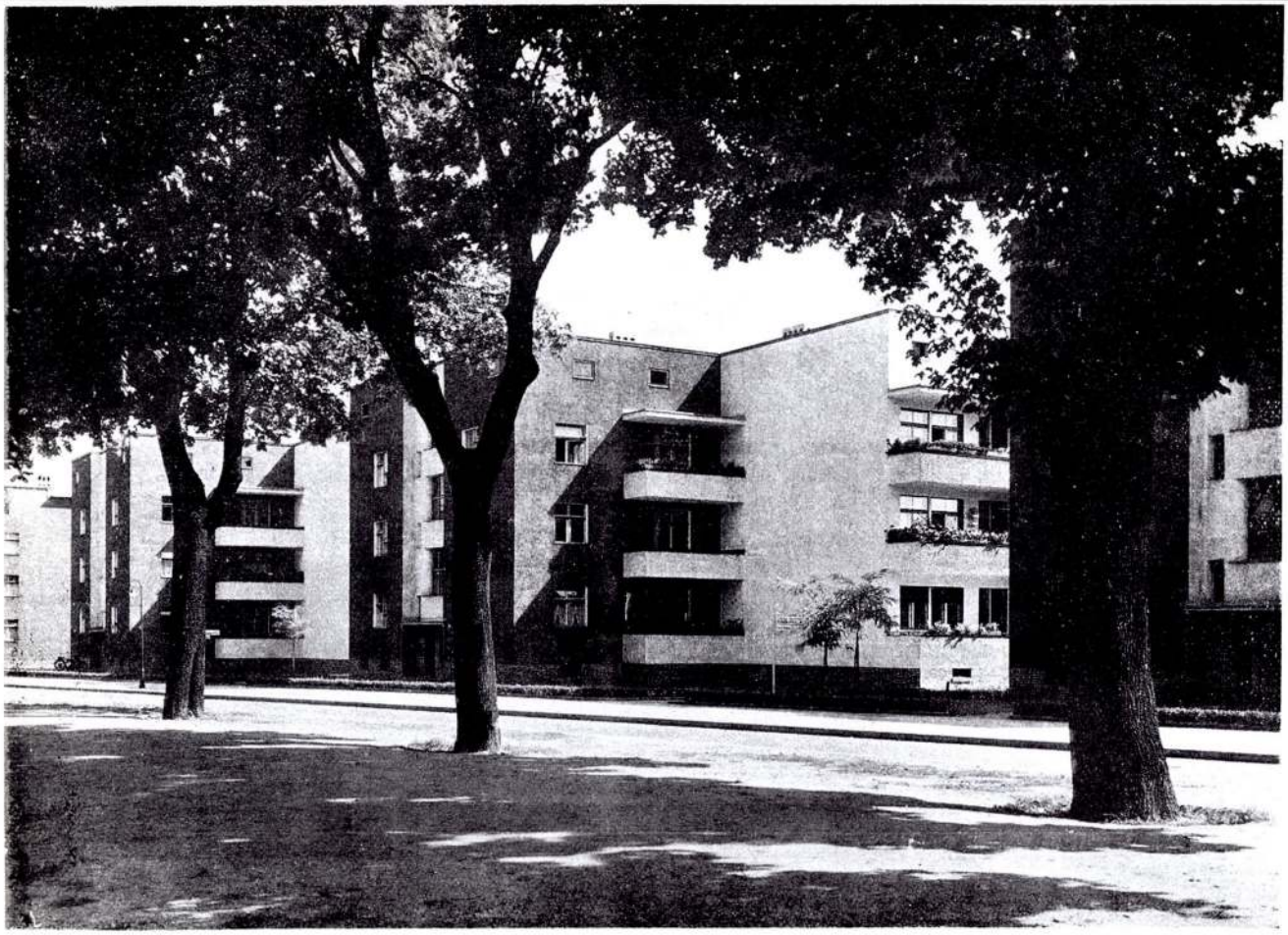


ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

ブルーノ・タウト氏 "建築と社會" 本誌論文參照

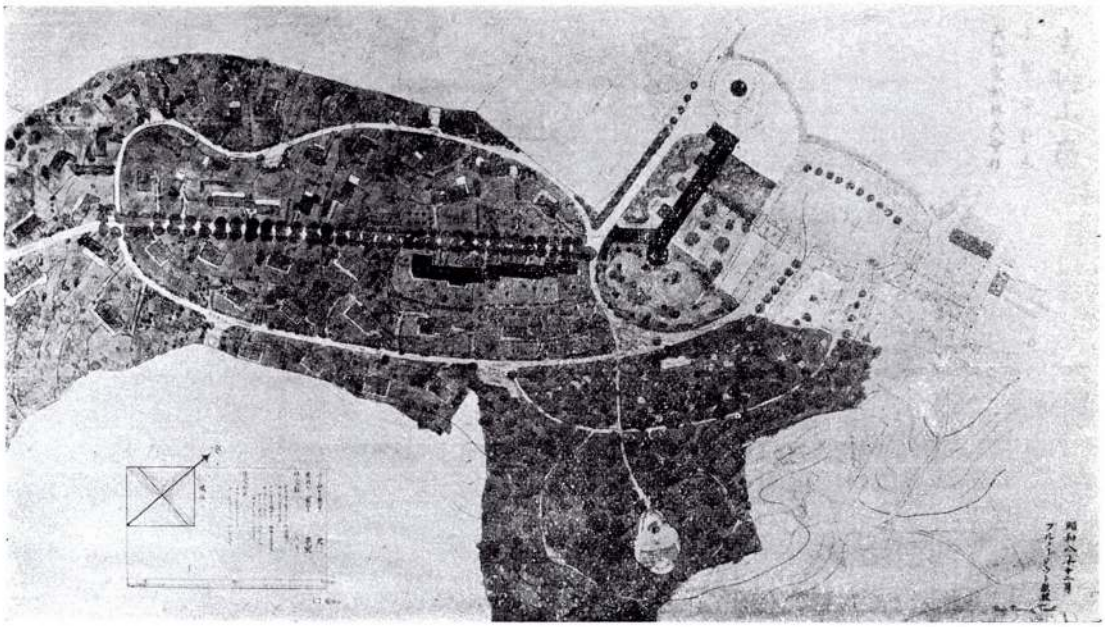
11・カール　レジエンの住居都市



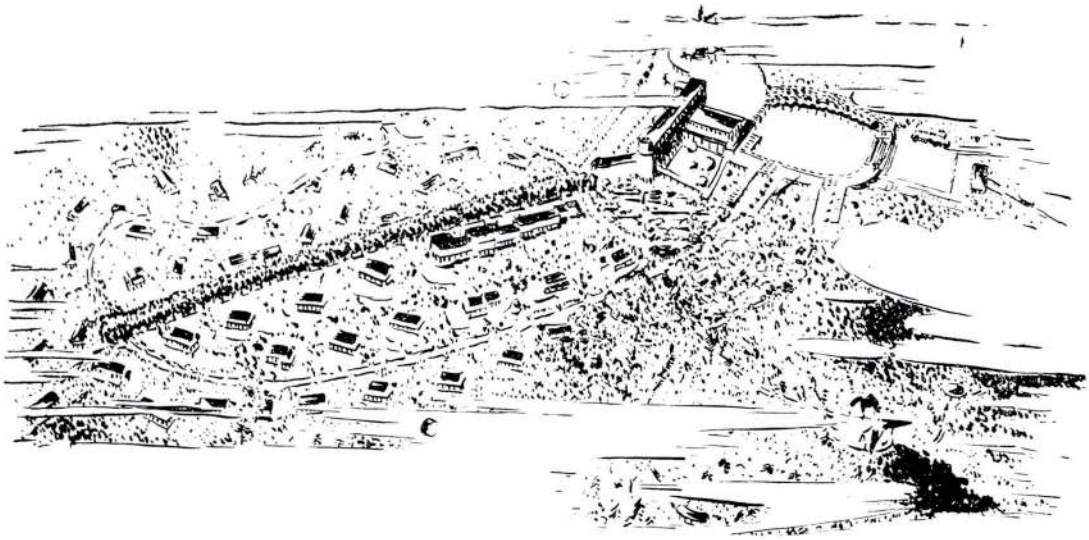


9・ブリツツ　ジードルング

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

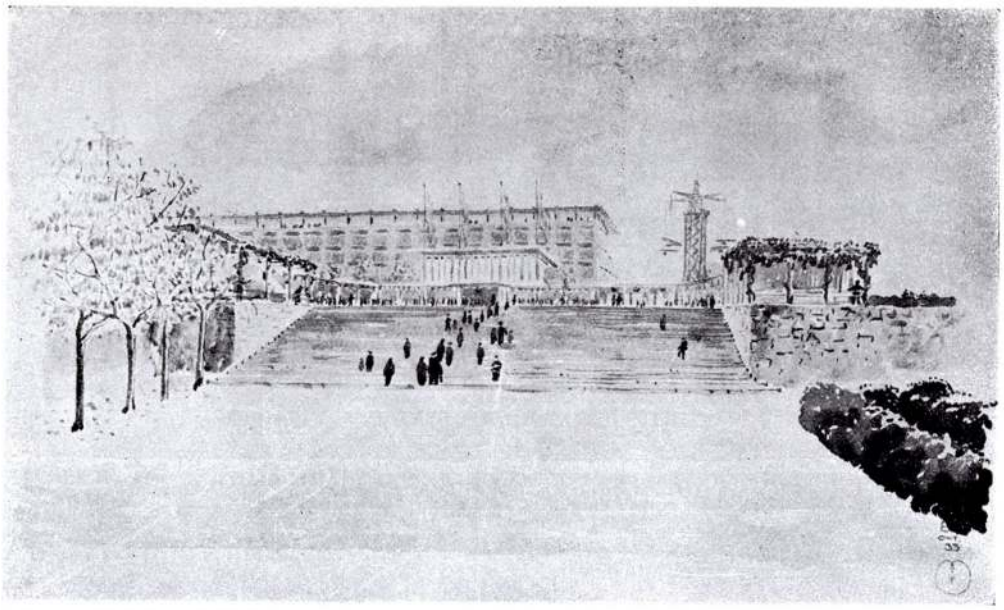


12 · 生駒の地方計畫 · 1933年

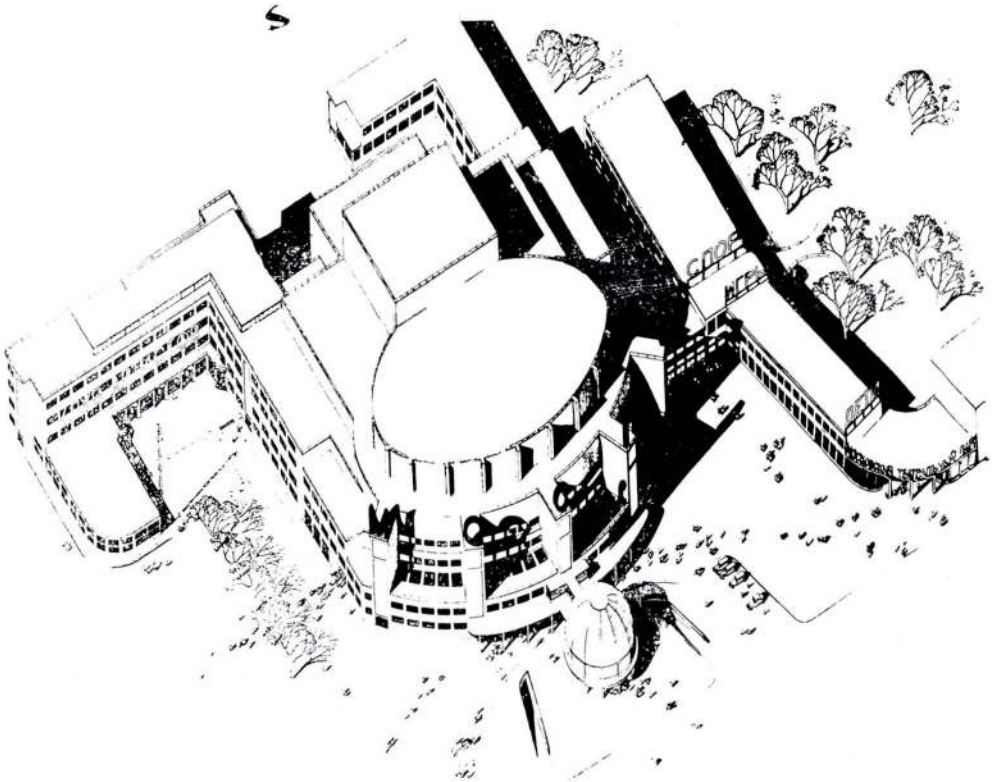


13 · 生駒山地方計畫 · 1934年

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照



14 · 生駒山登山鐵道停車場前廣場 · 1933年



15 · モスコーの劇塲計畫圖 · 觀客席3000 · 俳優 · 工房 · 運動兒童用建物を附屬す · 1932年

ブルーノ・タウト氏“建築と社會”本誌論文參照

建築と社會

米國建築學會名譽會員
プロフエツサー　ブルーノ・タウト

日本の新聞紙上で建築は如何なる重要さを有してゐるだらうか？

日本で新聞に建築に關する論說を書いた場合、まことに奇異な感じを抱かされるのである。讀者は“建築”と言ふ言葉が出ると、既にもう耳鼻科の醫者の特殊藥の臭ひでも嗅ぐやうな感を起すし、建築家が建築のことを書けば、それは醫者が澤山のラテン語で手術に關して記錄してゐる樣に感ずるのである。

新聞紙は殆んど全部或は全然只政治的報導のみで埋められてゐる。それも眞實の事件のみに就てではないのである。そこには、毎日毎日同じ事が、實際にはほんの些々たる事の變化、あれやこれやのジヤーナリストや議員、大使公使、大臣、等々の言が反復されて、そんな事が何を意味してゐるのか、何事が起ころうとしてゐるのか、職業政治家に非ざる者にとつては殆んど了解し難い事なのである。

斯くして新聞紙は多かれ少なかれ職業政治家の專用機關となつてしまつてゐるのである無論私はこゝで、政治が結局、事實上、各個人の生活に關したものである事に就て論筆しようとしてゐるのでない。けれども日常の考慮は矢張りもつと多くの他の事でいつぱいであり、又政治以上に、遙かに遠くに及んでゐると私は主張したい。

これ等の、普通生活に對して、より多くの興味を有し、之を重要視する人々の考へは、即、文明と文化の領域を繞つてゐる。

新聞が政治の外に餘白を有する場合には、工業とその科學が大部分を占める。

藝術はその次ぎに小さな一隅を與へられてゐるが、先づ音樂と演劇、その次に繪畫、但しそれらは藝術としてではなく、娛樂としてであつて、即、神經を擽ぐるものであり、又香具師やマネージヤー、商人等の懷を肥やすのみのものである。そして建築は最後に殘された紙面で滿足しなければならないのである。

日本語から飜譯された英字新聞や、折にふれての飜譯の範圍內から觀れば、日刊新聞は全然建築批判を知らないと云へる。

新聞は大きな建築や重要な建築は無論揭載してゐるが、その寫眞の下に、それを設計建

築家の名が發表されてゐるのを私は未だ嘗て見た事がない——西洋ではこういふ事は不作法とされてゐるのである。

然しこのことに就て新聞を攻撃することは出來ない。新聞は單に事實に則してゐるに過ぎないのであつて、日本の建築家なる者がいつたい新聞にとつては存在してゐないのである。此意味に於て新聞は正しい事をしてゐるのである。

"だが日本には多數の建築家がある。又その中には眞に有能の士もあるのである！"

そこで——日本の建築家がこの國の社交界に於ける地位階級を、どつか西洋の國、例へば英國——そこにはすでに百年の歷史を有する王立英國建築家學會（ローヤル・インスチチユート・オブ・ブリテイツシユ・アーキテクト）がある——と比較すれば最も瞭かであろう。

建築家なる職業には、國法によつて保證されたる義務と權利の約束があることを記憶しなければならない。そこで日本人としては、"正しき意味に於ける建築家は日本には存在しない"と云はねばならないであろう。

勿論日本には一部に非常に眞面目に建築にいそしんでゐる人達が存在する。然しこの人々は建築上の仕事に於て、何等國法の保護を受くる事なく、その責任に就ても世人は多くを考へてゐないし、その社會的地位なるものは存在しない。であるから建築家が何をしようと別に重要視されてもゐないし、國家の大事業の上には何等の實際上の働きをも及ぼさない。特殊な愛好者のスポーツの一種ではあるが、眞面目な意味の職業とは申されない。職業としての日本の建築家は、先づこれから見出されねばならない。

建築家とその仕事に、斯くも社會的に下級的蔑視的地位を與へることの危險さは、日本に於ては他のどの國に於けるよりも危險極まることである。

この國土をその背にのせてゐる鯰が、その一搖りで都市を破壞したり、灰にしたりする事なき樣、鯰を祈禱によつて靜まらせようとするつもりなのだろうか？

近代以前の昔大災厄があつた。然しその當時鯰の背には只一つの大きな村がのつかつてゐたに過ぎなかつた。今日では日本は精巧なる鐵道網、夥しき電話、自動車、電車、等々を有し、人口百萬の都市を有する文明國である。然しこれ等のすべては、工學技術のすべてをそのカタストローフへの鬪爭に傾倒するにあらずんば、往時の狀態よりも非常に敏感である。

然し日本では、こういふことは殆んどやつてゐない。こういふ事に就ては、昔の方が現在よりも餘程多くの力を盡してゐる。例へば、京都では、その昔太閤秀吉に依つて造られた堰堤は、京都の水害を悉く防禦してゐたし、群馬縣では、昔舟行のあつた河の航路を今日砂原として出水毎に流砂で埋まるに委せて、河水の海への洗下を困難にしてゐる。

日本はその近代化を誇りとしてゐるが、こういう方向に就ては反對なことをやつて居り昔時の技術の段階にも達してゐないではないか。

函館の大火、多くの火災、颱風、1935年の洪水と地震、等、今日のカタストローフは往時よりも惡性で激烈であるかの如くに見える。1923年の東京の震災の再現の危險に身を曝すことを誰か欲するものぞ？

蒲田、新橋から上野に到る恐怖は、あの時よりも、より恐るべきものとなるであろう。

〆それが建築と何の關係があるんですか？〆

私は日本の人からこうした質問を受け、それに據つて、建築とは何ぞやと云ふ事についての日本人の完全なる無智を聽くのである。

私の經驗によれば、日本人にとつては、建築とは建物の裝飾の事である。建築家でも、多分一度位は平面圖をかく事を許されるのだらう。日本では建築に際してこういふ事を云ふ、"×氏のデザイン——××氏製圖"これはドイツで建築家×氏によりて建築さる"と云ふのと大分異つてゐる。つまり日本の建築家は圖工であつて、まれに自分で事務所を有してゐるが、多くの場合請負人に雇はれた圖工である。然らずむば彼は講義又はそれに似た様な事をして生活してゐるのであつて、時々小さな家を製圖するのである。

然し、建築家が建築すると云ふことは、彼が完全に科學的に、技術的に、藝術的に製圖した建物に對して、責任を負ふ事を意味するのである。彼は然る後自身、その仕事のすべてに於ける部下の責任に任ぜねばならない。

だが、彼の權利と義務が、法律によつて確保されてゐないならば、彼はこの事を行ふことが出來ない。彼の設計圖及建築は、コツピーライトを有せねばならない。彼の許可なくしては發表することも、他に流用する事も、復製する事も、許されないのでなくてはならない。

著作物竊盜は、現代的國家に於ては處罰さるべき犯罪であるが、日本では、あまりにも日常茶飯事になつてゐて、"建築家"が彼の同業のなした計劃を失敬する——彼に尋ねもしないでコツソリと——と云ふ程度に迄達してゐる。——權利に伴つて義務が發生する。ドイツでは、建築倒壞に際しては、しばしば建築家が第一に逮捕される。建築最高指導者

として、最も重大なる責任を有すると云ふ裁判所の意見によつてである。こゝに既に建築家に請負人以上の一大重要さを置かれてゐる事が現はれてゐる。又その行爲については一權利と義務を以て、建築家は國法上、請負人の上に立つ。哀れなる從者の如くに請負人の下に立つと云ふ事は、建築家の特質を全然奪はれる事である。

日本の爲めに創造さるべきである處の眞の建築家なるものは、彼の建築に關して全然責任を負ふ。その事は當然彼の建築の周圍にも關心を有せしめる事となり、この事丈けでもよつて以て燐家の火災を容易に彼の建築に類燒せしめない事となる。又その爲めに、彼の建築をその近隣及その都市の一構成分子と見ることゝなる。當然彼は、全體の街、都市の一區劃、及都市全部を如何に建築すべきかを考究すべきであり颱風、地震、火災、洪水に關しては、能ふ限りの對策を最初に構ずべきは論をまたない。

斯くして彼は實地の都市計劃を始め、道路舗裝、配線、交通、堰堤構築、橋梁等、全都市計劃をインヂニアと提携してやらねばならない。この場合、國家及政府は彼の說に聽從しなければならない。國家及市の役人は、もはや彼を無視する事は出來ない。彼等はその建築家を仕事に關與せしめねばならない。

斯くして彼は又役人としての履歷なくして西洋に於けるが如く、高き地位に招聘されねばならないのである。

こういふ事は日本では全然存在しない。

すべて西洋の模倣をしてゐる癖に、此國では、先づ如何にして單なる模倣、追隨者、コツピー屋の實際の氣分を消滅せしむべきかに就ては模倣しようとしない。

最新の技術-——この場合建築——の精神、意味、を、彼はまだ把握してゐない。

斯くして日本はいまだ都市計劃を有してゐない。閉鎖された研究室の中で、恰も個人の好き者の如くに單獨でその事を勉强してゐるが、それは眞美でなく實際でない。

役所の作製した地方計劃は計劃者の名を有してゐない。この計劃は恐らく專門智識皆無の多くの素人の寄り集りによつて作製されたものと覺しく、深刻なる憐憫に値する素人藝であり、實にインチキそのものである。

近頃の建築に關して私はこの國で街に關しても廣場に於ても、コムポジションの片鱗をすら見た事がない。美しい街と廣場、正しく解決された交通點、正しく建てられた紀念碑等何一つ見た事がない。

だから要するに、ある建物が何式であろうと彼れ式であろうと、結極どうでもよいのである。皆勝手に立つてゐる丈けである。

多くの人が未だ嘗て見た事もない樣なものを建てると云ふあの馬鹿氣た事は、こゝに到つて了解し得るのである。

そうしてあの哀れな建築家――圖工は、いつたい何をするのか？

彼等は多くの本を引つ掻きまはして印度をコツピーし、ルネツサンスや奈良をコツピーし、コルブユジエー、ペーターベーレンス等々をコツピーする。

希臘の語源に依れば、建築とは言葉通りに、即、指導、工事關係者、職人、請負人――日本では彼等は謝肉祭である――を支配する事である。

そして建築家は？吉原女郎である。然もそれは、伊勢神宮のある國、小堀遠州を持つ國に於ての事である。

小堀遠州が、依つて以てその偉大なる藝術を創造した處の、靜寂なる冥想は今何處！

今日は建築家には何を措いても最大の考慮を拂ふべき時である。日本の氣候は、――例へば歐洲のそれとは、全然異つてゐるのである。建築家が現代資料を以て建築を爲した場合、彼の建築は眞に良くて、全然變つたものでなければならない。即ち、その建物がパリやベルリンに建てられた時には全然使用に耐へない程のものでなくてはならない。從つて同樣に、獨、英、佛、の建築の模倣は、日本では役に立たないのである。

もう數十年もたてば、私のこの說が正しいと云ふ事が解ることであろう。

建築家である處の讀者諸氏は、多分此批判を不快に思はれるであろう。諸氏の爲めを思はなければ、こうした事を書く意味が何處にあろう。だが又他の讀者諸氏は、これは私にとつて氣持ちのよい事だろうと云はれるかもしれないが、私が日本に對して、あまり友誼的でないならば、後日故國に於て、こういふ事を云つたり書いたりしたであろう。

私がこの國で爲した如き研究と經驗の後、“建築家にとつて何等見込みのない國”と云ふ感じを抱かないで歸國する樣な西洋の建築家があり得るとは私には考へられない。

私は日本國民とその文化を愛するが故に、私はその現代生活の弱點にして、變更すべき點の何れにありやを示すことが出來るが故に、私は左程絶望しない。斯くして私は拙著“ニツポン”の次に第二冊“ニツポン文化”を書いた。これは近日明治書房から出版することになつて居り、日本の現在の藝術問題の正確なる批判的解剖を示したものである。そのすべては、私がある新日本文化の可能を信ずるが故に、この短い論說と同樣のものである。

建築はそこで第一に扱はれてゐる。

醫者が患部に觸れることは、いつも痛いことであるが、それによつて人は初めてどこが病氣であるかを知るのである。

（少林山1935年11月28日）

挿繪の寫眞は私の作であつて、如何なる問題を建築家が持つべきであるかを示す爲めに揭載する。このジードルングは建築のみを設計監督したのでなく、地方計畫道路計畫、等々をもなしたのである。（上野伊三郎氏譯）

空襲と都市の建築

（朝日會館に於ける講演）

諸市武裝促進委員會
副委員長　波江悌夫

私は日本建築協會から特に派遣されまして此壇上に防空問題に就いて御話を申上げる譯でありまして、防空に就いては軍事上から夫々重要な御話が御座いますのでありますが、建築家から觀た防空の研究も亦御參考にならうし、又吾々建築家は常に都市の災害や都市の各方面の研究を怠らない次第でありまして、甚だ僭越でありますが、茲に「空襲と都市の建築」といふ題で御話を申上げる次第であります。

處で日本建築協會といふ團體は我國の有力な建築家及建築業者並びに建築に連關する特種技術家から成り立つて居る團體でありまして、既に大正6年の創立以來、都市問題の研究に絶大な努力を傾倒いたしまして、今日の都市計畫法や市街地建築物法の通過實施に努力いたした様な譯でありました。都市の災害の防止を始め交通、衛生、治水、港灣等の諸問題の實際的研究を高唱して各方面の識者の注意を喚起いたしました様な譯でありますが吾協會の會頭片岡博士が先年都市計畫の事業の一日も忽せにすべからざる所以を當局者に進言いたしました際に、當時の內相後藤新平男は君等建築家は兎角空想に馳り過ぎるよ、今日の都市を君等の空想する所迄持つて行く事は仲々大變だと頭から冷かされたが、さすがに頭のよい後藤男は即ち都市問題の重要さを識つて、此度は忽ち急先鋒となられまして都市問題の講究に又實際問題に幾多の努力を惜しまれなかつたのでありますが、顧みますると我國の重要都市は大正の初年には殆んど耐火耐震の建築らしい建築のなかつたのでありますが、今日迄約30年の間に都市の約2割の建築は高級建築に改造され來りました。交通道路の改善の如きも殆んど隔世の感があります。我大阪市の如きも橋梁の大部は皆耐火耐震構造となりました。官衙、學校、公會堂、銀行、諸會社、劇場、ホテル等の大建築も諸工場や大倉庫等の建築も夫々近代建築に改造されて行きつゝあります。上下水道の改善港灣設備の完成、衛生機關の向上等擧げて數ふるべからざる各般の改善實施が進行中でありまして、建築家の夢想必ずしも夢想でないのであります。

尤も吾國の諸都市は之れを歐米の諸都市に比べますると、大いなる遜色のある事は吾國重要都市の遺憾なる點でありまして、夫れは多くの我都市が河口の三角洲（デルタ）の上に布置されて居る事でありまして、換言すれば都市の大部分が沖積層の上に在る事でありまして、地盤低く天災地變の脅威を常に受くる次第でありまして、天災國の都市としての記錄は世界に冠たるものが多いのであります。今日の我國重要都市が元龜天正時代の戰國時代に其位置

如を將英傑の士に定められたのが起因でありますが、當時の狀勢から見ますると皆要害の形勢を察知して築城いたしました。其城下町が今日の都市を成した次第でありまして、要害の地區は則ち平時の都市として必ずしも理想的でない次第でありますから、今日の重要都市が皆其地盤の薄弱にして河川の護岸流域の變化に巨費を倣つのは、地勢の然らしむる爲めであります。若し歐米都市に我國都市の狀勢に近きものを求めますれば、歐洲では獨逸の「ハンブルヒ」市や、蘇國の「レニングラード」市などがよい例であります。米國方面では「シカゴ」市「ボストン」市及「ニウーオルレアン」市の如きは其稀有の例でありまして、夫々河湖の沿畔に在つて地盤低く、夫々治水衞生問題の苦心を拂つて居る樣であります。其他の諸都市は皆大陸的地盤の堅固なる地勢に據りたるものが多いのでありまして、我滿洲に於ける大連市の如く、地盤は硬き岩盤の上に在る樣でありまして、倫敦、巴里や伯林の如きも夫々大陸的大河を挾んで居る譯でありますから、橋梁を架けても眞平な橋を築造するのでありまして、其橋脚の高は優に三階建の建物の高さはあるのでありますから、金も懸るが工事は立派に完成されまして後で故障や改造を必要とする樣な譯はありませんのみならず都市の改善向上に就いては、吾國より二三百年以前から當時の識者が相次いで其改善の事業を續々斷行するといふ譯合でありまして、今日では歐洲の各都市は殆んど完成してしまつた樣なもので、先年片岡博士がジエネバ會議の歸途歐洲を巡遊された時の如きも、大戰後の財的疲弊の爲でもありませうが、各國の都市共大建築工事らしいものは皆無であつて、郊外に近く住宅建築の市營に成るもの位であつたとの事でありましていはば歐洲の諸市は約３０年間に完成いたしてしまつた譯であります。

從つて歐洲大戰中でも幾回かの空襲に對して、都市市民の覺悟や其防空方法の如きも漸を追ふて研究され、大戰當初こそ市民の恐怖混亂こそありましたが、さまで被害の恐るべきものがなかつたのみならず、空襲によつて都市の大火災に導かれる樣な事のなかつたのは一に都市の建築が改造され石造、煉瓦造や鐵筋コンクリートの耐火的近代建築が多かつた爲であると考へてよかろうと想います。尤も當時の航空機の機能は今日のと比較も出來ない程幼稚なものでありましても、大戰中倫敦市は700餘個の爆彈を蒙り、巴里は370餘個の爆彈を受けて居ります。人畜の死傷も豫想外に少ないのでありますが、都市として蒙る災害としては比較的微少であつてこれは防備の完璧と相待つて、防火防空の研究考究が其功を齎らしたものと考へられます樣に想はれます。

恕上の御話に見ましても都市の建築が耐火耐震的である事が、どれ丈市民の覺悟の上に其事功を齎らす事は明かでありますが、平時に於ても都市の建築は常に耐火耐震的である事を希望して止まないのであります。關東の大震火災の時の例に見ましても、都市の建築が火災に弱い爲めに災害があの恐怖すべき結果を齎らしたのであります。地震からいひますとあの震災で倒壞した建物は比較的尠なかつたのでありますが、30有6ケ所から發生した火災が漸次に增大して火勢を煽り、遂に合同大火災となつた。當時水道用をなさず消防

隊が活動不可能となつて、殆んど困亂の極、火災は全く放置された儘、自然の煽風を捲き起した譯でありまして、火事は江戸の華とはいへ、當時の東京ツ子は呆然自失、災害の爲すが儘に放下した結果でありました。乍然此の大災害の間に在つても、淺草の觀音堂の如き2萬に近き避難民の必死の協力努力によつて烏有を免れましたし、又神田區佐久間町といふ一町區域が住民の決死的努力で全く素手で猛火を激退せしめたといふ美談が殘つて居ります。

又當時の丸の内の區域を眺めますと空地も多くありまして避難民の集合地となりましたが、殆んど建物は近代的建築であるが爲めに、日比谷の一角に火事が起つたにも係らず大事に到らず、警視廳と東京劇場を燒いた丈で大部分は無事でありました、從して災害後の策源地となり復興東京の中心地として今尚其文化を建設中でありますが、此區域の建築は所謂「三菱ケ原」と俗稱せられました地區でありまして、三菱會社の所有地でありましたそこで當時の偉い頭の人が此所は將來東京の中心地となるのだから、歐風の建築以外は建てさせまいぢあないかと考へられまして、爾來明治年間約半世紀の間此の大方針が實行されました間に、日清戰爭後の財界の好況時代や、日露戰爭や歐洲大戰後の好景氣時代に夫々大建築が建設せられまして、とうとう洋風建築で埋まつてしまつたのであります。其努力の結果あの大震災の時も無事其効果を發揮いたしまして、今日の大東京の中心地をなして居るのであります。

都市計畫の事業の事功は、所謂100年200年の大計を樹立しなければ其完璧の成果は得られませんが、我大阪市の如きも既に都市計畫の實施以來約拾五年を經て茲に其建築の3割を耐火耐震的建築にする事が出來たといたしますれば、今後100年の長い時日を過さないでも大大阪の財力では優に其理想を實現し得らるゝ事と考へられますが、顧みて過去の大阪を考察する事も必ずして無駄ではありますまい。

火事は江戸の華と申しますが、我大阪も中々火災の多かつた處でありまして、其燒失區域を地圖に色取つて見ますと、殆んど全部が赤色になる位に大火がありました。大鹽中齋先生の天保の大亂火の如き、新町妙知燒の如き、明治以後にあつては42年の北の大火、同44年の南區大火の如き、決して江戸に負ない位の災害をやつて居りますが、我大阪は大地震の際に於て、いつも大火事を伴つて居りません。これは川の都と申し川水の利用がよかつた爲でもありませうが、一つは當時の城代當局者が、連年の火災仕末に困しみ、元祿以降高麗橋附近よりして、町の角々の建物を土藏造とせしめ、大火の際土藏の有功なるを知つて其利用を工夫せしめ、漸次街路に面した商店を土藏造とせしめたのでありました。消防隊の訓練や、土藏造の奬勵、火避地の選定や、非常時の道具類の用意に於て、夫々歷代の町奉行が勵行取締をいたした樣でありまして、安政元年秋の大震災の際も火災は三ケ所に發生せるに過ぎず、しかも直ちに消火して市民は却つて津浪と稱する高潮に困却した樣な次第でありました。從つて舊大阪の市街建築が殆んど土藏造又は、之れに近い形式の建

物を以て埋めらるゝ迄、元祿以降約200年間の長年月を要した様であります。

舊幕時代の200年は隨分と長い様でありますが、都市の建築を當時の技術を以てあくまで耐火的ならしめた事は敬服に値する事蹟であります。今日では此等の建物も時代遲れでありますが、將來の大阪市民が其財力によつて都市の建築の近代化をして其實功を積み、一朝非常時に際しまして、たとへ敵襲より來る空襲に直面したる場合にも、倫敦や巴里の如く、よく其空襲に耐え、災害を大ならしめなかつた實蹟と、相比較する事功を事實ならしむる事を吾等建築家は夢想するものであるのであります。

舊幕時代の200年より今日の御時勢なら、其半分位の日時で其事効を擧げ得らるゝを期する事が出來ませう。或は更らに其3分の1の日時でもやれない譯ではありますまいと思ひます。

私は今日の我國の國防といふ問題を深く考へますときに、我國の先覺者が維新前の內憂外患交々到る際、馬關や鹿兒島戰爭の實際に鑑み、直ぐ敵軍を千里の外に防ぐの大策を樹てられてから、國防のために國費の大半を利用せられつゝあるからして、一朝の非常に際しましても、敵襲が直ちに我國都市に實現せらる事は空想いたしません。我々陸海軍の武力がある以上は、敵を千里の外に激退なし得らるべきであります。乍然今日の時世は科學萬能の威力によつて如何なる武器の豪を以てか千里の空を驅つて、日東の天險を襲ふ場合がないとは斷言出來ないのであります。從つて一朝非常時の場合を考察しますと、假想敵國の某司令官が豪語いたしました様に、「我國都市の大部分が木造建築であるが爲めに、燒夷彈の若干個でもつて易く我日本の死命を制する事が出來やう」などと談んぜらる丈でも心外でありますが、若し今日の趨勢でもつて我國都市が耐火的建物で埋られてあつたといたしましたらば、關東の震災の様に市民の困亂狼狽をする必要なく、防火團や消防隊や救護團や、衞生隊や青年團や在鄉軍人隊等の相互連絡の救護法によつて都市の困亂を防止するのみならず、都市の火災を仕末するのはさまでむつかしい事ではありますまい。其上に建物が若し耐火的であつたなら、防空演習の實際に於て歐洲諸國の夫の如く、各種の方法を樹て市民を幸福の享樂に擁護する事が易い譯であります。則ち我協會の如きも此見知から、都市の防衞は一に都市建築の武裝に在るのだと叫ぶ次第であります。

我大阪は前述の如く過去の歷史を見ましても、相當の災害に見舞われたのでありますが近時絕大の風水害を蒙つて、まざまざと都市地殼の弱點と建築物の被害の慘狀を敎へられました。世の識者は鐵筋コンクリート造建築の强固な存在と、其實功を親しく識られまして、到る處木造建物の被害の程度と其腐朽年次の如何を視られました。幸にして昨年來風水害に伴ふ火災の事例は甚だ尠いけれども、都市の建築は耐震耐火、耐風でなければ如何といふ合言葉が產れ來つた事を鑑みますると、我都市は何うしても今日の技術の全能を發揮して、舊幕時代の人士に負けない努力を拂はねばならぬ。實功を積む事を忘れてはなり

ますまいかと想ひます。

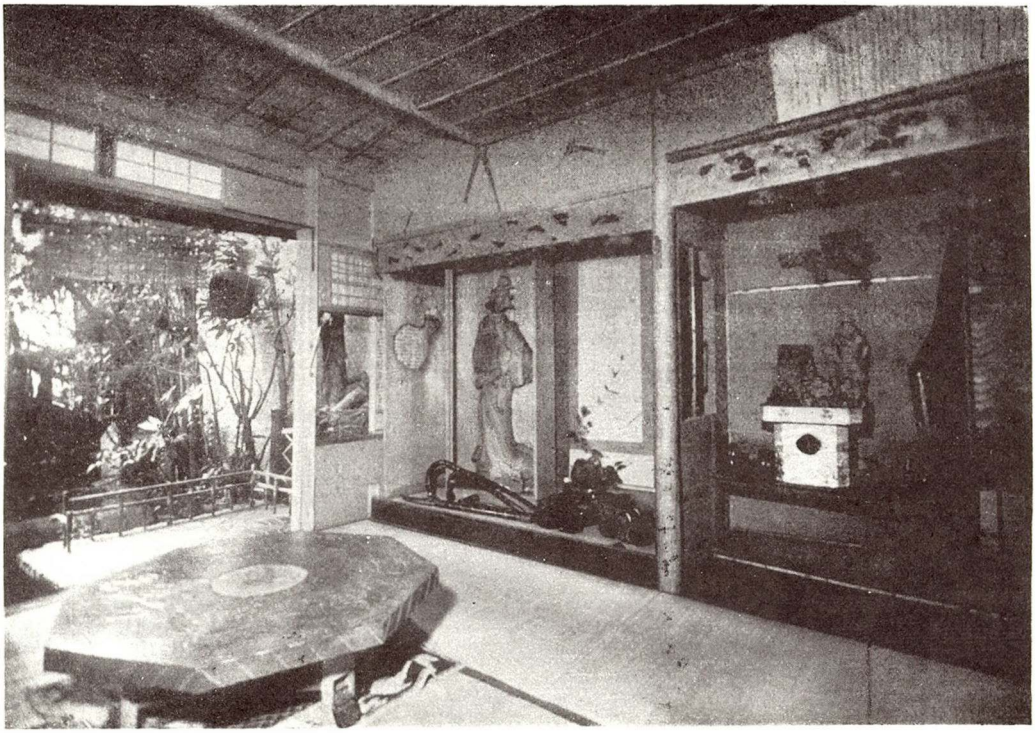
此度風水害の地域地區方面の地盤が不幸にして沈下の傾向があり、且つ度々浸水の被害多きため、將來此方面の地區地域の下水設備を完全にする爲めに約6千萬圓の巨費を投じて、將來此種の災害なからしむるの用意をせられましたが、吾等建築家の立場から申しますると、此6千萬圓の巨費を建築方面に利用いたしましたならば、大約20萬人の住める家を建設出來る譯でありますから、浸水地域の人々を收容致すことの出來る住宅群を、不燃燒建物として建築致す事は決して不可能の事柄ではないのでありまして、都市の研究家の一考を煩はす事項であると信ずる次第であります。

茲に私は我大阪市にとりまして、最も遲れて居ります建築は、市內の住宅建築の鐵筋化といふ事であります。銀行、會社、ビルヂング等は夫々 7～8 階の偉容を建てられて ありますが、我市內の住宅群は今猶 1～2 階の長屋建物が多く、夫々街區の裏町をなして居るのでありますが、近時郊外住宅の流行からだんだん市外に居を移し、交通利便によつて市の中心地區に通勤せらるゝ方々が多くなつた。これは兒童の教育にも其體育の奬勵にも市內より郊外の利用に着眼せられた結果でありませうが、一つは市內地域の住宅の改善運動が世運に伴はない結果でありまして、唯今の事情を押し廣めますると、將來大阪の市街地區は東京の丸ノ內の樣に、夜分は殊に寂しい街となりまする。從つて郊外から通ひ來る市民は本來の愛市心を失つて行く傾向を生じませう。

然るときは大阪市の將來はむしろ憂ふべき結果を發生します。これは市府の當局者に於ても市內の貸家地主の方々も研究すべき事柄でありまして、市內の住宅群——換言すれば市內の長屋建築を永久化し、耐火耐風耐震化して——今日の所謂アパート建築の高級のものを建設しなければ、將來空襲の場合にも市民の狼狽を招く結果にもなりませう。

乍然將來吾等の子供や孫の時代の事を考へて見まするると、今日都市の住宅又は住宅群の建築を耐火的に建築する事は、都市の安寧の上に都市の進歩の上に又都市の向上の上に、又は都市の愛市心の改善の上に最も必要な事でありまする。

私は都市の建築が耐火耐震の近代化せられて行く事をさまで長年月を要しない。各自の努力によつて歐米諸都市を凌ぐ時代の近く來らん事を祈りて止まない次第でありまして、皆樣の御清聽を煩はした事を厚く感謝いたす次第であります。



左甚五郎の間

菊水の綜合的裝飾に就いて

工學博士　武田五一

神戸の料亭菊水樓は業目にふれて居るが、この種類の建築として最も優秀なものゝ一つであるから、これを綜合的裝飾の方面より見て、世に發表するのも無意義でないと信ずる

元來料理屋の建築には二つのやり方がある。その一つは極めて簡素なる趣味によつて建てるもの、他の一つは、充分に華麗の極をつくして建てるものである。この後者の華麗なものでは歐洲ならば大理石貴金屬の如きものを使つて、極めて大規模にやり、樣式もローマ、ギリシヤ、フレンチレネーサンスの華麗な樣式でやる所であるが、日本の樣式では、どうしても鎌倉、桃山、德川の三期のものを用ふるより他に考へ方はない樣である。菊水はその點では着想も手法も成功して居ると思ふ。

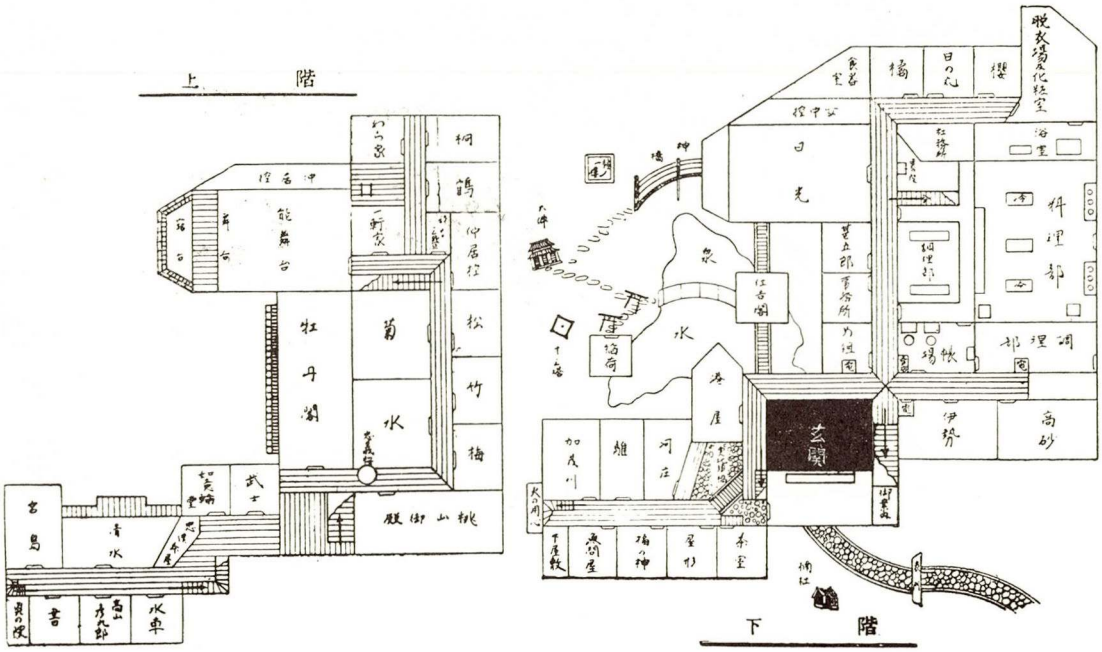
その樣式は德川期に始まり、明治初期にいたる。ことに元祿趣味の濃厚なるもの多く、金色燦然として、その極をつくしたものが多い。

その細部は大いに論議すべき餘地があるが、全體の綜合的着想にいたつては、多大の苦心の跡があり、相當の成果を收めて居る。

この建築は主として菊水主人の着想により熟練なる職工數十人を毎日使役し常に新奇の趣考をこらす由である。

歐米各國の樣式のみを模倣して料理屋裝飾の唯一のものと考へる今日に於て、菊水の樣な裝飾的方針は一考の餘地があると思ふ。

又一面外國人にこの種のアートを示すには、現在では、この程度が適當と考へられる。



神戸の料亭菊水樓は武田博士の所謂綜合的裝飾の見地より見て異色あるものである。その濃厚な裝飾は一種豪華な雰圍氣をかもし出し、こゝに會するものに特殊の感懷を起さしめる。武田博士のお話によるとこの種裝飾過多の料亭は古くは松島の現長があり、又東京の雅敍園もこの種に入れてよいとのことである。

菊水樓の各室の裝飾のモテイーフは、〃士農工商〃〃神社佛閣〃から採つたと主人が語つた。一寸異樣の言葉であるが、士農工商、神社佛閣と書いた標語の立札のあるところなど微笑させられる。

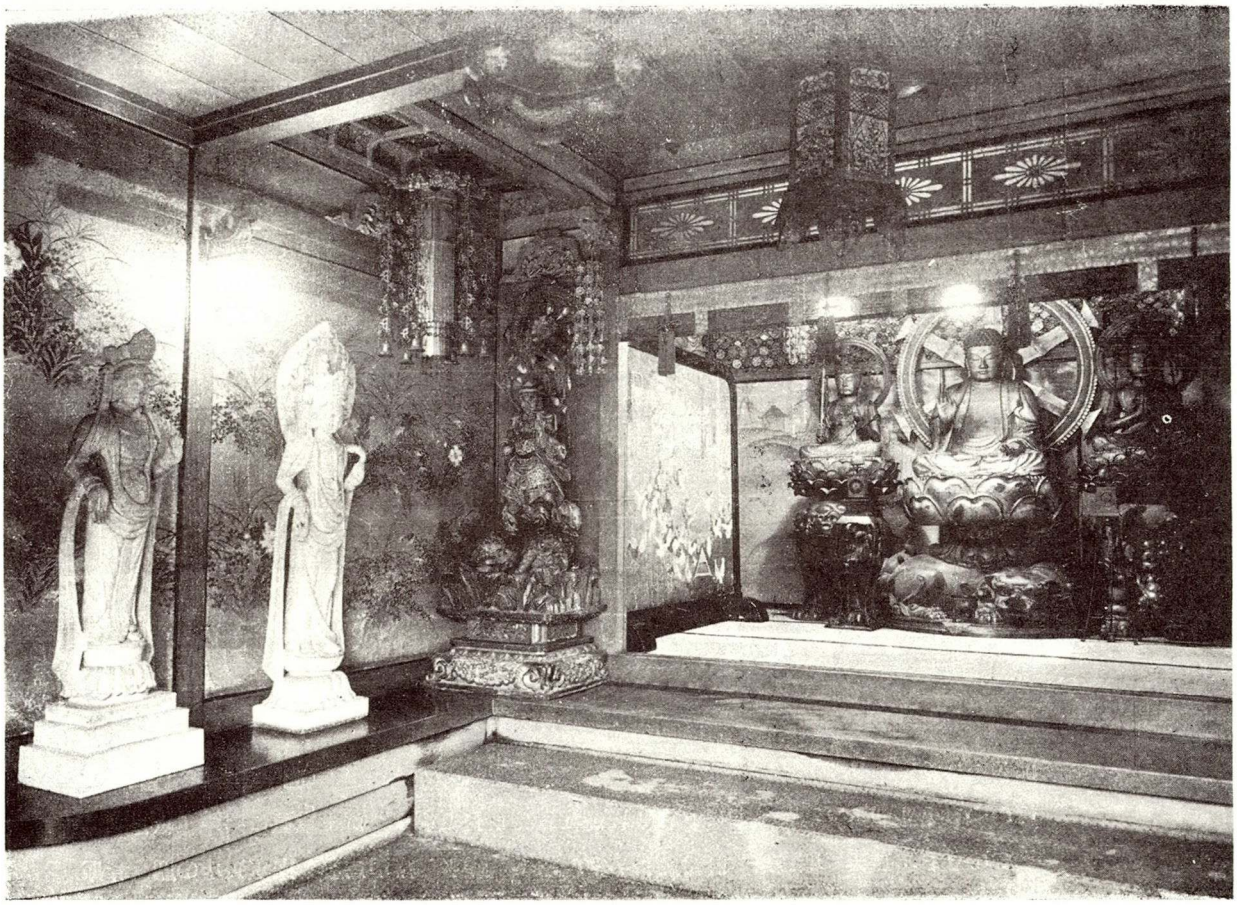
室は40許りあり各室の名にちなんだ意匠である。そのやり方は主人の思ひつきを數十人の工人が表現するのであつて、いづれも徹底的に裝飾し主人の氣持をよく反映して居る。主人曰く〃建築とは工人の努力の集積である。〃〃努力大なれば價値大なり〃と

室の名は

伊勢の景、高砂相生の松、船問屋港屋、茶の寮、藝者の屋形、福の神、魚問屋、加茂川離れ座敷、河庄の間、め組辰五郎宅、左甚五郎宅、日光の間、橘の間、日の丸の間、櫻の間、住吉閣、宮島、清水の舞臺、如意輪堂、武士の道場、忠僕茶屋、書物の間、高山彦九郎、水車小屋、桃山御殿、松林、竹林、梅林、鶴の間、桐の間、わら家、一軒家、能舞臺菊水、牡丹閣、等がある。

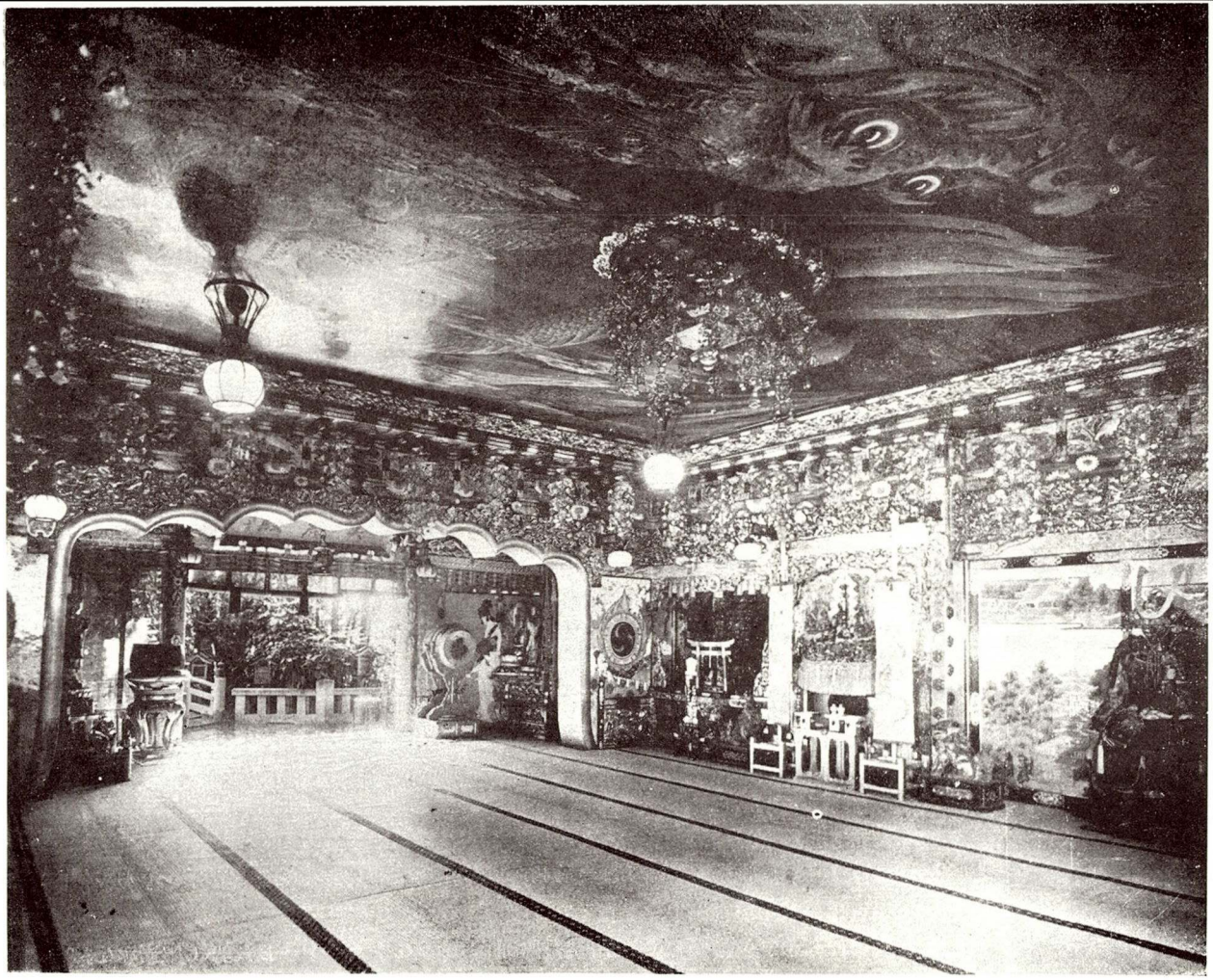
このうちで日光、能舞臺、牡丹閣が大きい室で、菊水、桃山屋敷、清水が中の間、其他はいづれも小間でる。各々名にちなんだ趣好をこらしてある。以下寫眞について簡單な說明をつける。

（岡田孝男）



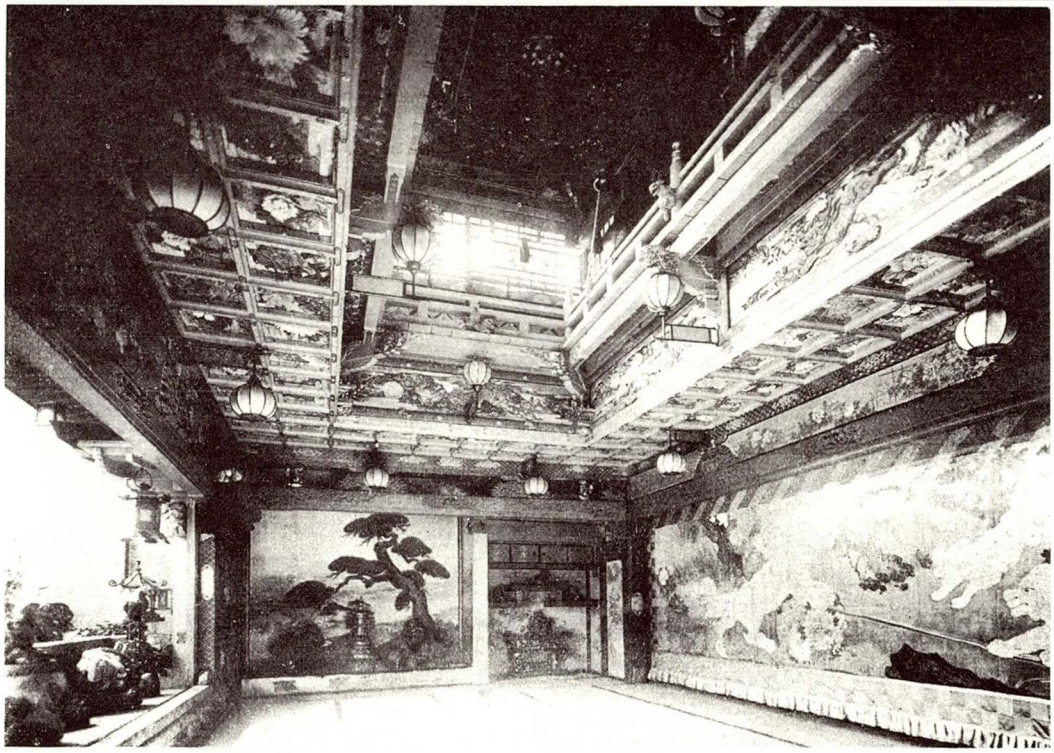
1・菊水樓玄關

門よりだらだら登りの道をあがれば、廣い玄關がある。正面に佛像を賑やかに並らべて先づ來客の意表に出でる。左側の像は白大理石の彫刻で幾分の優しさを加へてある。

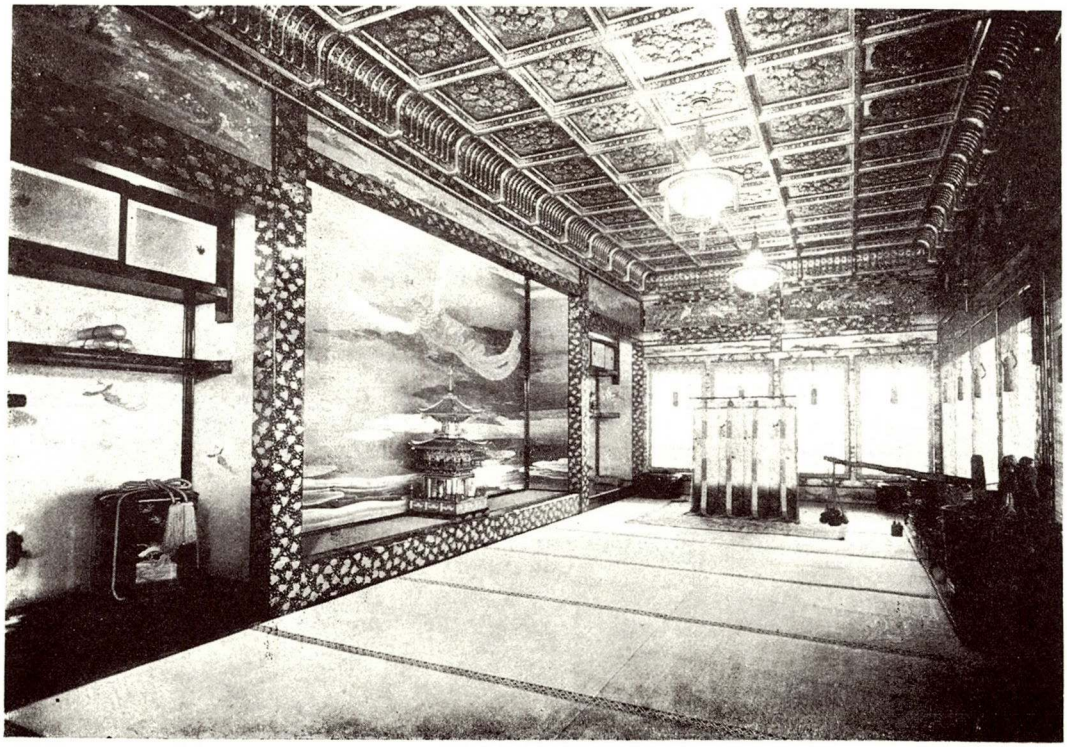


2・日 光 の 間

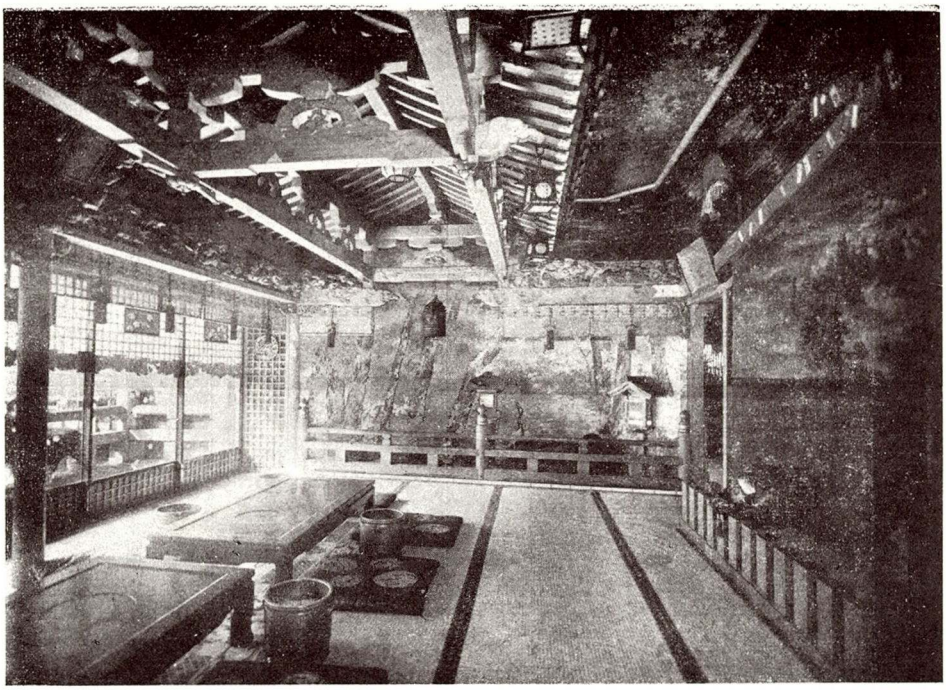
天井には八方睨みの龍を描き、支輪、長押欄間に彫物と極彩色の模様と金色輝く金具をつけ、纓絡を垂し、壁には繪を描き、甲冑、佛像、人形を並べ、佛壇と神棚を設へる等、あらゆる飾装法を總動員しての混合装飾である。



3・牡丹閣　吹抜天井となり中央に天盞を垂らし、高欄をめぐらし、格天井の格間には牡丹の繪をかき、壁には牡丹に唐獅子を描く、彫物には、唐獅子、置物にも獅子舞の頭などを並べ、すべて、牡丹及それに關連する獅子等をモテイーフとした趣好である。



4・桃山御殿　柱、長押、天井とも漆塗金撒繪の室である。天井は格天井に小菊盛上の打出金具を飾り、支輪、柱は、金撒繪の豪華さで意匠的にもやゝ統一された室である。



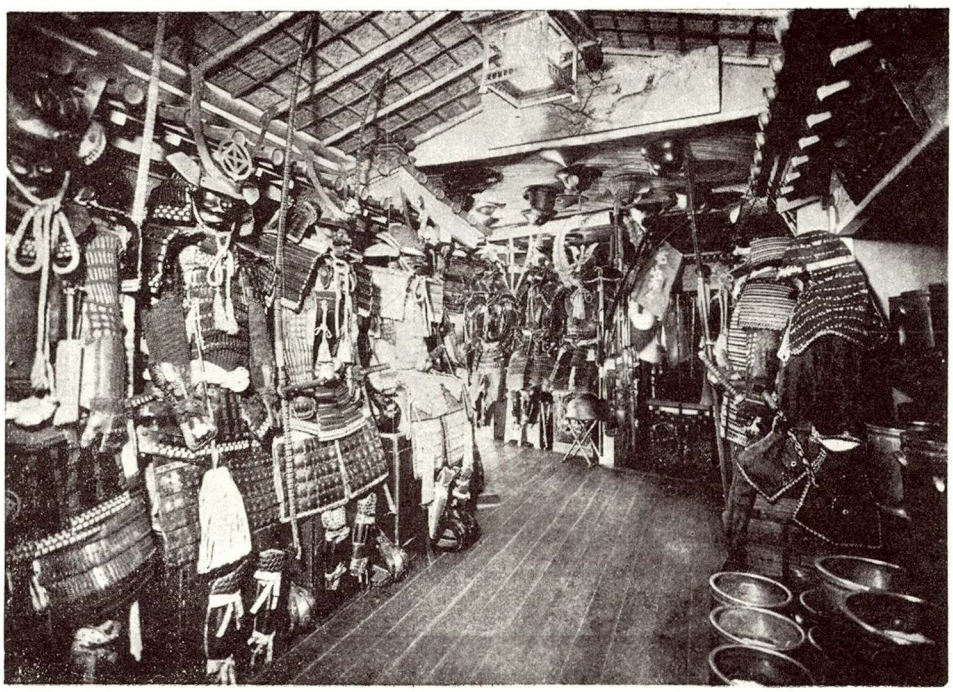
5・清水の舞臺

バルコニーに清水の舞臺を模した欄干があり、天井には廻廊の天井より取つた屋根裏の飾りが室の中央を不安定に走つて居る。壁には櫻の圖や、東山の翠が描かれてある。



6・武士の道場

天井には矢竹、劍の鍔櫻の花をあしらい、床の間の落掛床柱には薙刀を用ふ。壁には馬のアブミ、劍の柄鍔、胴を塗り込む置物には甲冑、刀劍の類を並べ、すべて武士の用器で飾りたてゝある。



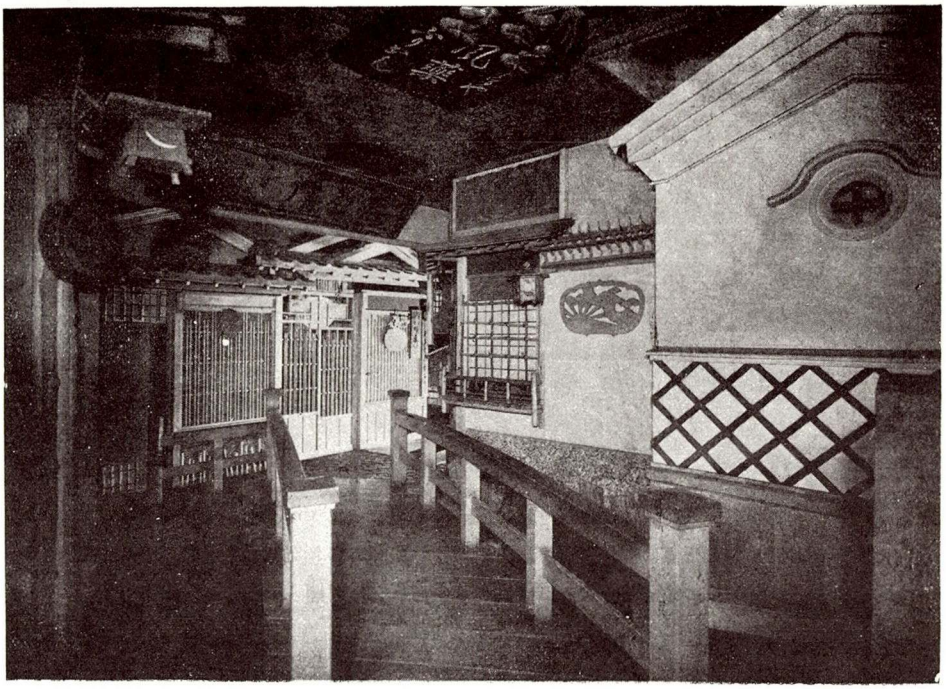
7・武士の道場の廊下

甲冑、刀劍、鎗弓矢、旗、差物等が、ずらりと並んだところは異様の景を呈して居る。



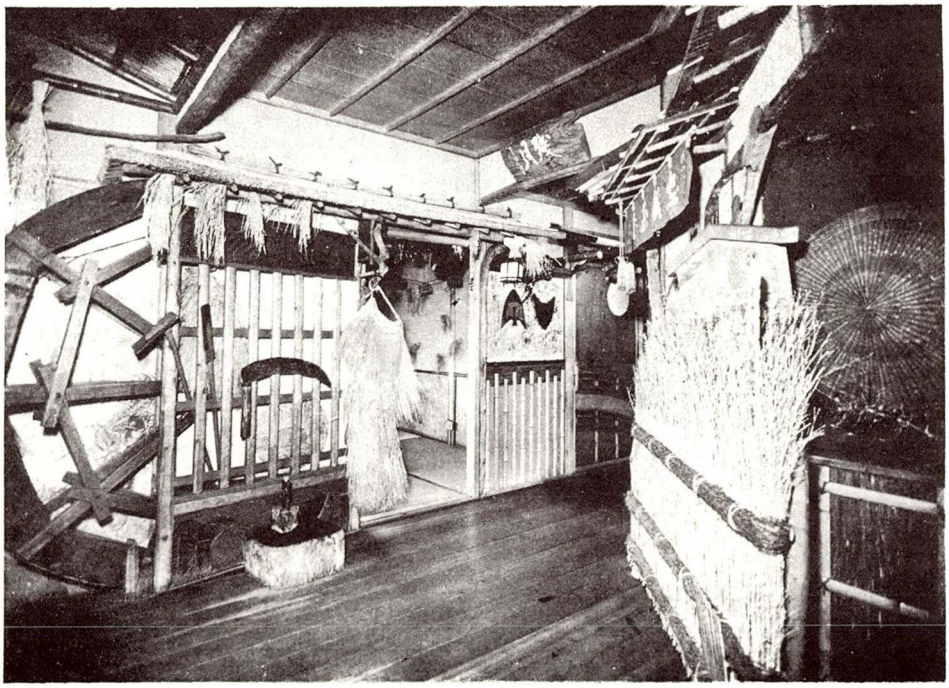
8・魚問屋

テーブルは傳馬船に型どり、壁には鮑具を塗り込み天井よりは魚の形を下げ、襖には大漁の繪を描く、床の間には漁船、魚の置物がある。



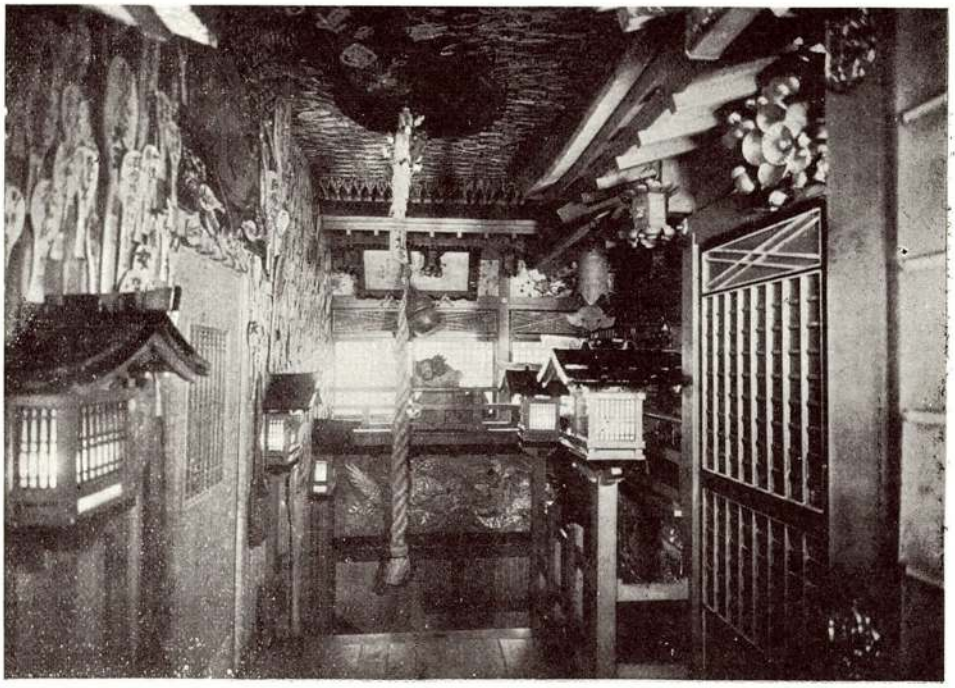
9・戎　橋

廊下の一部である。小路の態になし、右手に土藏、左手に屋形が見える。橋の下には小石を並べ流れの感じを出して居る。天井に風薬の看板が何の關係もなくおいてあるのも面白い。



10・水車小屋

壁に水車を見せ鎌、鍬、鋤等の農具に簑傘を配し、室内には壁に稻を掛し、鳴子を見せて居る。



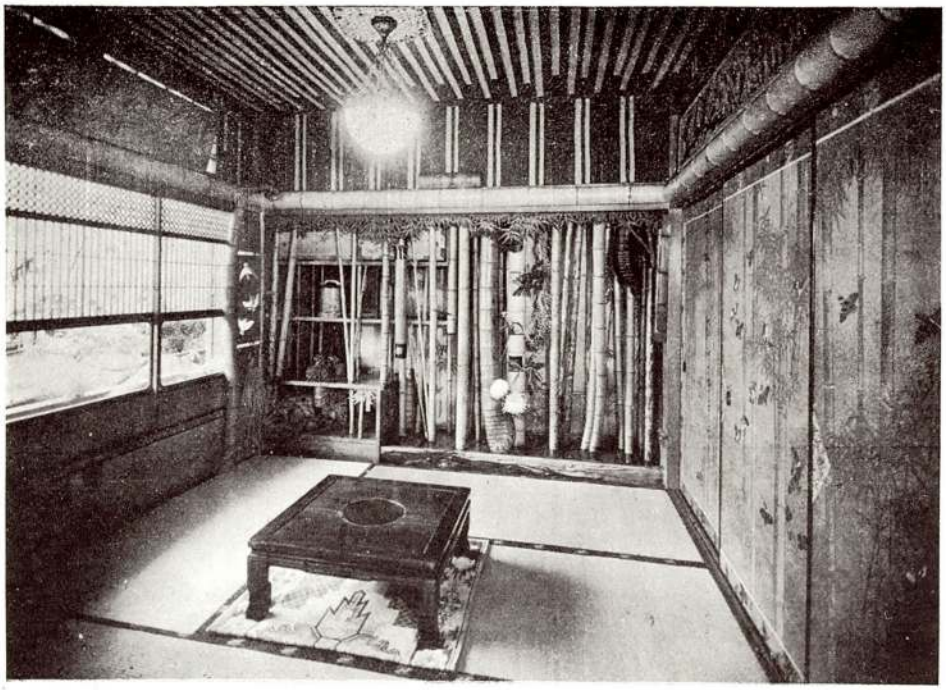
11・宮島の間の廊下

宮島の間に入る廊下及階段には、夥ただしい杓子賑やかに飾り立てそれに釣燈、鈴、街燈等を配してある



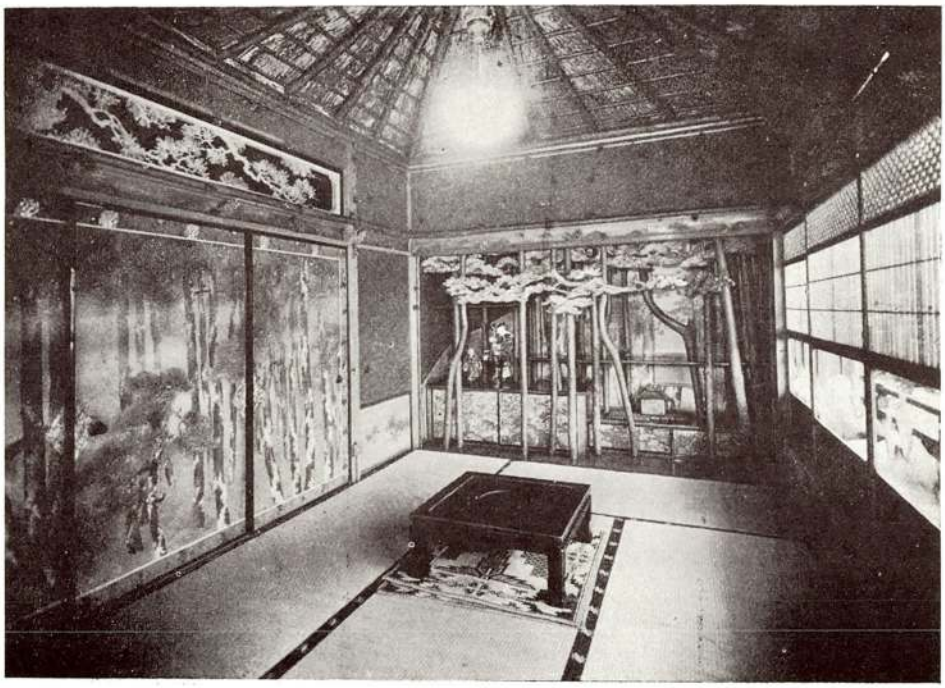
12・階　段

龍の彫刻物で壁を埋めてある。



13・松の間

床の間には赤松の林をかたどり松の幹十數本を立てその中へ小屋や人形を飾る。其他襖に松の繪、欄間に松の彫物、小壁に松果天井に赤松皮付の棰を用ふ。



14・竹の間

意匠は松の間と同様で、床の間に竹幹、長押に竹、天井や小屋に、竹を用ふ。

滿洲に於ける住宅の採煖法に就きて

田　中　進

序　言

滿洲事變以來在滿同胞の數も20萬臺から30萬臺へと急激に增加し　國民も一齊に滿蒙に注目し出したので滿洲はもう、離れて遠きは滿洲では無くなり、庭續きの近隣になりて仕舞つた。而し未だにまだその實情が知られて居らない憾があるので此處では住宅の採煖法の事を申上げて見度いと思ふ。もし幾分でも御參考になる點があれば筆者望外の喜びと致す次第である。

外界は興安嶺から吹きつける蒙古嵐に、草も木も道も全く氷り付く酷寒零下數十度の時に於ても、室內ではセル一枚で延び々々として居られるのが滿州の冬である。故に滿洲では冬は內地より凌ぎ易いと云ふ人が多い。それ程住宅が防寒本位に出來てゐる。

で先づ順序として滿洲の冬の氣候を大略申述べて見度い。

滿洲の氣候

滿洲に於ける氣象は、內地と趣を異にし、海洋、山岳、平原の三大影響に依り、所謂大陸的氣候である。今これを地方別に見るならば、南方關東州附近は海洋的氣象、北方興安嶺附近は山嶽森林的氣象、其他の曠原は凡て平原的氣象と云ふ可く、大括して夏は酷暑、冬は酷寒となり、その變化激甚にして春秋の期間は非常に短かいのである。が而しされば と云つて住むに耐えない處ではない。

大陸は一體に濕氣少く空氣がよく乾燥して居るので 6～7 月の雨季を除くの外大體に於て晴天が多く爽やかである。

冬も寒いとは申すものゝ三寒四溫と云ひ三日寒ければ亦四日暖かい小春の樣な無風の日が續くと云ふ具合に寒暖が交互に來り、又住宅の防寒的なる點、及び防寒具を用ふる事に依り滿洲の冬はそれ程恐ろしきものでは無い。

今氣溫に付き數字を以て示すならば、月別平均氣溫は第 1 表の如くであり、最低平均氣溫は第 2 表に示す通りである。亦最低氣溫は

大　連	零下19度	新　京	零下36度
奉　天	零下32度	ハルピン	零下40度

に達する事もある。從つて別表に依りて大體お解りの如く滿洲の冬は極めて永く、10月中旬より 4 月中旬に至る約半年を採煖期間とせなければならないのである。（滿洲で最も氣候

の好い處は旅順、大連にて、その氣溫は內地の秋田、山形、長野の諸縣と殆んど高低なく、嚴寒時の平均氣溫零下4.5度：最寒零下19度は根室、函館地方と同樣である。

次に濕度は

大連　68%　　旅順　65%　　營口　64%

第1表　全滿各地月別平均氣溫（拔萃）

月 / 地名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大連	−4	−4	2	9	15	20	24	25	20	14	5	−2
旅順	−4	−3	2	9	14	19	23	24	20	14	6	−1
營口	−9	−6	−1	10	15	22	26	24	20	11	4	−8
鞍山	−9	−7	0	11	15	22	25	23	19	11	4	−8
奉天	−13	−9	−1	9	16	22	25	24	17	9	−2	−10
新京	−18	−13	−4	6	14	20	23	22	15	6	−4	−14
哈爾濱	−20	−16	−7	5	13	19	22	21	14	5	−8	−18
齊々哈爾	−20	−15	−8	4	12	19	22	21	12	4	−8	−18
滿洲里	−26	−22	−15	0	10	17	20	18	9	−1	−14	−24
海拉爾	−28	−24	−16	−1	10	17	20	18	9	−1	−14	−26
札蘭屯	−18	−14	−8	4	12	18	21	20	12	3	−9	−18
牡丹江	−20	−16	−8	5	13	18	21	21	13	4	−7	−18
一面坡	−19	−15	−7	5	13	18	21	21	13	5	−6	−17

備考・北滿は10ヶ年、南滿は20ヶ年の平均成績（大泉一氏に依る）

第2表　全滿各地月別最低平均氣溫（拔萃）

月 / 地名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
大連	−9	−7	−2	5	11	16	21	22	16	10	−1	−6
旅順	−9	−5	−2	4	10	14	20	21	16	10	1	−5
營口	−16	−13	−5	3	10	16	20	20	13	5	−4	−13
鞍山	−13	−12	−5	5	10	17	22	18	14	6	−2	−14
奉天	−19	−16	−7	2	9	16	20	19	11	3	−7	−16
新京	−23	−19	−11	0	7	14	19	17	9	0	−10	−20
哈爾濱	−31	−25	−18	−3	4	11	16	15	6	4	−17	−25
齊々哈爾	−33	−26	−18	−4	4	11	16	15	4	−15	−26	−26
滿洲里	−34	−31	−24	−11	1	7	12	10	−11	−12	−24	−34
海拉爾	−38	−32	−27	−10	0	7	13	10	0	−12	−13	−34
札蘭屯	−30	−24	−16	−5	4	10	14	12	3	−7	−17	−27
牡丹江	−28	−29	−18	−4	3	10	14	12	3	−5	−16	−25
一面坡	−30	−26	−16	−3	3	10	14	14	5	−4	−15	−25

備考・北滿は10ヶ年、南滿は20ヶ年の平均成績（大泉一氏に依る）

第3表　滿洲各地の基本外氣溫度

地名	
大連	−10°C
營口	−16°
奉天	−18°
新京	−23°
安東	−16°
ハルピン	−30°
チチハル	−30°

（滿鐵設計要項）

奉天　69%　　新京　65%

（昭和8年の年平均滿日年鑑に依る）

等にて內地よりすつと低い狀態である。

以上の様な氣候に基き滿鐵では基本外氣溫度を第3表の如くに定めて建築や煖房等諸種の設計に用ひて居る。

住宅の構造

滿洲の住宅は上記の様な寒氣に耐える爲に、總てが防寒·保溫·採煖本位に設計せられて居る

又滿洲には地震が殆んど無いので在滿邦人の在來住宅の大部分は煉瓦造である。

煉瓦造は赤煉瓦又は支那型黑煉瓦を使用し、南滿に於ては 1.5 枚、新京方面にては2枚積となし、北滿に於ては2尺以上の壁厚を有するものもある。多くは內外共塗壁を施し、北滿のものは天井、床は共に二重張となし、天井は厚板張りの上に1尺內外の粘土或は石炭殼を混合せる防寒粘土を置くのである。

又近來では煉瓦積の外に壁體をホロー積となし、或はカーテンウォール式となし、外部を赤煉瓦、內部をホロータイルを縱或は橫に積上げる手法も用ひる様になつて來た。

北の興安嶺附近では木材が廉價なる爲、全丸太造り或は半丸太の組立式の木造住宅を建て各丸太接目は必ず牛毛其他の獸毛を以つて充塡し、內部には石灰モルタル或は漆喰を厚く塗り充分防寒裝置をなしたものもある。而し都市に於ては木造は許可されて居ない。

最近人口の激增に伴ひ都市に於てはアパートが急激に建設され出したが之等アパートは柱、梁、床版等骨組を鐵筋コンクリート構造となし、壁體は煉瓦或はホローブリツク等を積込んだ鐵筋煉瓦造で施工して居る。（第1·2圖は大連に建てられたアパートの一例。第3圖は4戶1棟の小住宅の例）

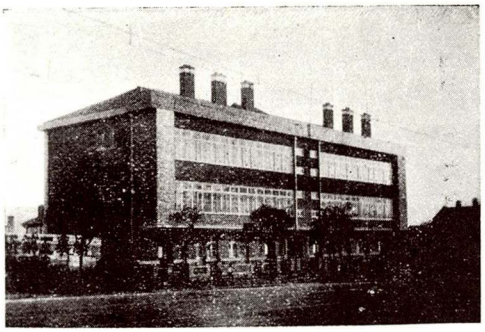
防寒住宅は總て室內溫度の降下の防ぐ爲、窓其他の開口部は出來得る限り狹く造り、窓は二重窓とし夏は內側の方を外し蠅防けの網戶を建込む。（第4圖は窓の小さい住宅の例）

斯様に開口部が過少である事は、保溫的ではあるが而し保健上甚だ有害である。

緣側の無い住宅、そして窓は二重窓とし、欄間は嵌め殺しと爲し、しかもその上間隙を總て目張り迄してある滿洲の住宅は、自然換氣が甚だ少量である。その室內自然換氣率は大略日本の木造住宅の 1/6 又は 1/7 と云はれてゐる。

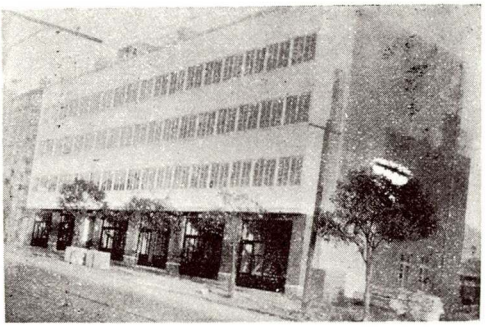
室內の空氣は極度に汚染し、紫外光線の流入は殆んど遮斷された蟄居生活が身心に惡影響を與へない筈は無く、その爲めか滿洲に於ける邦人の疾患中最高位を示すものは呼吸器に關するものであり洵に憂ふ可き狀態に立ち到つて居るのである。

ロシヤ人達は相當寒い時節でも屋外の日當り良き處で編物を爲すとか、或は好んで散步



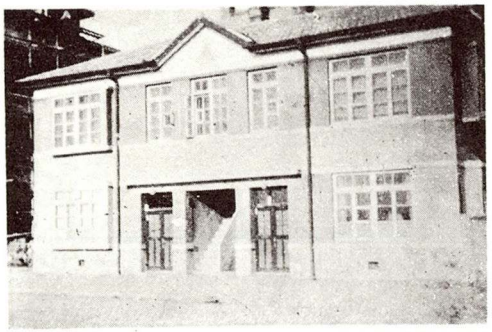
第1圖・大連に於げるアパートの一例
（昭和10年10月9日 旅順要塞司令部許可濟）

最近大連住宅地に建設されしものにて3階建戸數24戸、圖は北側街路より撮りしものにて2～3階の階段は中央にあり。硝子窓の並びしは廊下であり玄關及勝手口は廊下より入る。各戸共風呂・水洗便所・臺處を持ち座敷は8帖、6帖、2帖（玄關）である。



第2圖・大連に於けるアパートの一例
（昭和10年10月9日 旅順要塞司令部許可濟）

大略第1圖に同じも、第1階を商店舖となすもの。
4階建にして、戸數は店舖6戸、住宅18戸



第3圖・小住宅の一例
（昭和10年10月9日 旅順要塞司令部許可濟）

小住宅貸家の一例にして4戸1棟であり、2階の階段は中央に取り、室は6帖、4.5帖の2間にて椽側も庭もなき窮屈なる住宅である。大連に甚だ多く建つてゐる。



第4圖・窓の小さき住宅の例
（昭和10年10月9日 旅順要塞司令部許可濟）

大連に建つてゐる住宅の一例であるが開口部狹く少なく、全くマツチ箱の樣な家である。

をなすとか、努めて外氣に接して居るが、日本人殊に婦人はその點甚だ出不精なものである。これは一つは寒氣に不適當なる和服を用ひて居る事、家屋の構造と穿物の關係上一寸手輕に外に踏み出すことが面倒な爲であると思はれる。

その責任の一半は建築家も負はなければならない事ではあるが、兎に角滿洲の住宅は保溫的である事が第一條件であると同時に、採光換等の衛生施設を大改革する事が目下の急務である事を申添えて置き度い。

煖　　房

次に煖房の事を申上げて見度いと思ふ　煖房の方法は大別して對流煖房と輻射煖房とに區別される。

即ち對流煖房とは先づ室内の空氣を暖めて煖を採らせる、石炭ストーブ、蒸汽煖房、溫水煖房等を云ひ輻射 20%、對流 80% 位の放熱器を使用するものである。

輻射煖房とは空氣を暖めずして直接人に暖を與える火鉢、圍爐、フアイヤープレース、瓦斯ストーブ、電氣ストーブ等を云ひ輻射 60%、對流 40% 位の薄平たい放熱器を用ふ。この輻射煖房の方が健康的で且つ經濟的であるが滿洲では大部分對流煖房の方を用ひて居り、火鉢、瓦斯ストーブ、電氣ストーブ等は客室等の補助煖房として併用されて居る。

由來在滿の邦人は一般に謬見を持つて居る。それは冬季室溫を必要以上に高溫になす事である、そして無暗に人工的に蒸汽を立てる癖がある、これは室内を 26°C 以上の高溫多濕即ち熱帶的の狀態になす事で好ましい事ではない。滿洲の空氣の乾燥してゐるのは内地の濕潤なる風土に比し遙かに健康的なわけであるから室溫を 18°C より高めぬ事にすれば特に濕度を加えずとも大概 50% 内外を保つ事が出來　乾燥しても 30% 位であるから健康上差支えないのである。

滿洲醫科大學の三浦博士は)、保健上適當なる住宅の冬期室内溫度を

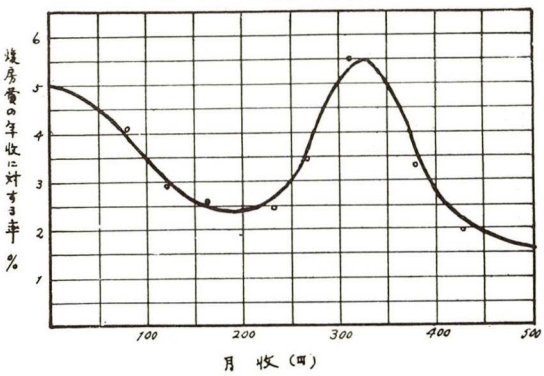
薄着をする人　晝間 18°C　　就寢中 13°C

厚着をする人　〃　15°C　　〃　10°C

と推薦されて居る。

滿洲で現在最も多く用ひられて居る煖房はストーブに依るものでありペーチカ、溫水煖房等之に次ぐ、滿人住宅にては主に炕(カン)を用ひて居る。

第5圖・家庭の煖房費



昭和8年10月滿洲生活等女學校調
川井玄朋氏に依る

煖　房　費

何れの煖房も燃料は總て石炭を使用するものであるから石炭の消費量が問題になる。

第5圖は昭和8年10月に大連彌生高等女學校で家庭の煖房費を調査したるものであるが夫に依ると年收の 2% 乃至 6% と云ふ結果になつて居る。(即ち月收に對する率に直すと約この2倍に當る)この圖表に依れば月收 100 圓以下の生活者即ち中流以下の人達は相當の負擔率になつて來る。

圖表中月收 300 圓から 350 圓代の家庭に於ける煖房費率が急に增加して居るのは、家が廣くなりてストーブ、ペーチカ等も數を增し、且つ採煖も女中任せになり勝であり從つて

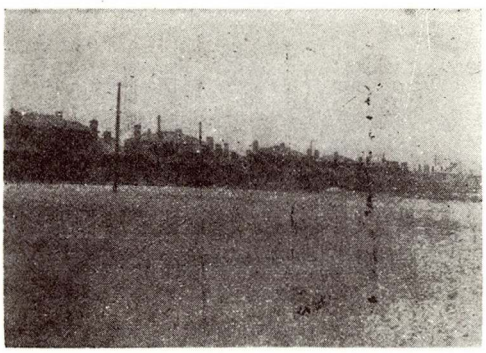
無駄が多くなる等の理由であると考えられる。

普通家庭の溫水煖房では煖房期間中を通じて、平均一ケ月石炭の消費量は大略

建物1坪當り　大連 25瓩～35瓩　奉天 30瓩～45瓩　新京 35瓩～40瓩

である。

冬になると全市擧げて石炭を焚くのであるから、煙突から吐き出される煤煙は道に渦を巻き雀まで眞黒になる有様である。この煤煙防止は實に大きな問題で毎年叫ばれて居る事であるが、滿洲に於ては無煙炭の出量が少ないのと、不廉なる點でその採用は先づ困難であらうから、畢竟煙突の數を少なくする事、煙突を高くする事、完全燃燒をする器具を使用する事、焚き方に注意をなす事、等である。



第6圖・煙突の林立せる住宅群（昭和10年10月28日 旅順要塞司令部許可濟）

これは大連に最近建つた滿鐵の社宅であるが、煙突の多いのに御注目願ひ度い。

煙突の數を少く共1戸1本迄に減する爲にはストーブの代りに中央煖房即ち溫水煖房等を裝置せねばならない譯であるが、仲々そう理想通りには行かない。第6圖は煙突の林立する住宅群の一例であるが、1戸に3本も4本もの煙突が立ち並んで居るのを御覽願ひ度い。大連市煤煙防止委員會の調査に依れば、現在大連市內に於ける煙突總數は 100,300 本であり、如何に夥しい煤煙の雨が降りつゝあるかを御察し願えるであらうと思ふ。

ス　ト　ー　ブ

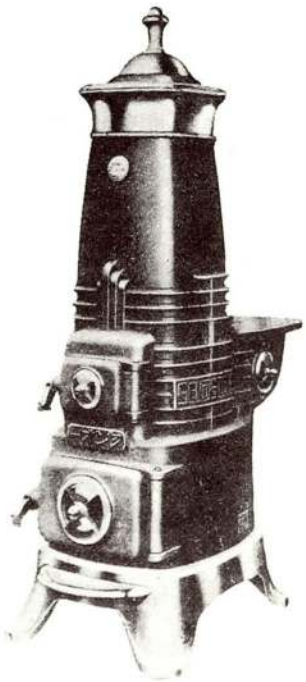
前述の如く滿洲に於ては現在ストーブが一番多く用ひられて居る。

ストーブは昔はダルマ式とて最も簡單なものゝみであつたが最近十年來次第に研究改良され、現今では別圖に示す様な凡らゆる型式の新しき、能率のよきものが普及されて來た。今その優劣は申さないが兎に角何れの式も左記の諸點が考慮されて居る。

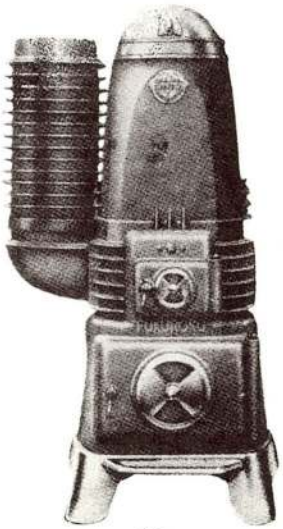
1. 石炭の消費量の節減（1回投炭せば數時間以上補給せずとも連續燃燒をなす）
1. 保溫時間の延長及溫度の調節
1. 完全燃燒への努力
1. 惡ガス漏洩防止
1. 炊事兼用の型式のもの
1. 型狀の優美
1. 價格の低廉

大體以上の様な點を改良の目標となされて居るがその能力は別圖の註を參照して戴き度い

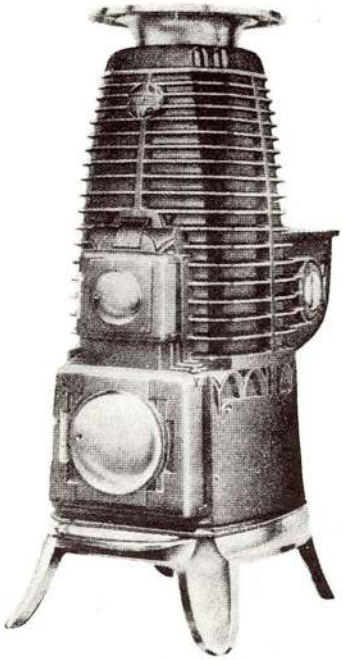
別圖は大體形狀の異つたものを拾ひ出して見た。



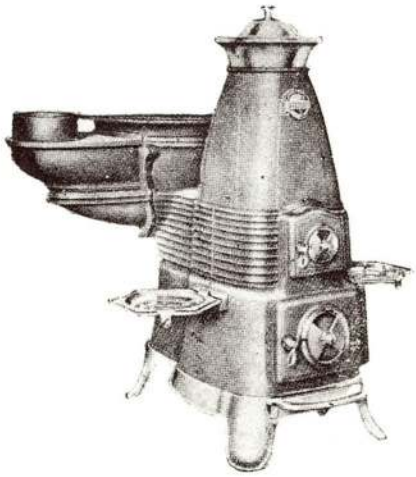
第 7 圖



(2)



第 8 圖 (1)



(4)



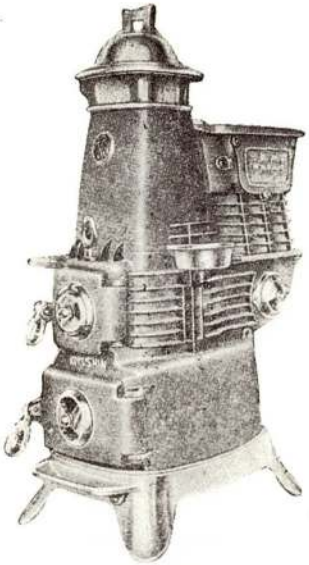
(3)



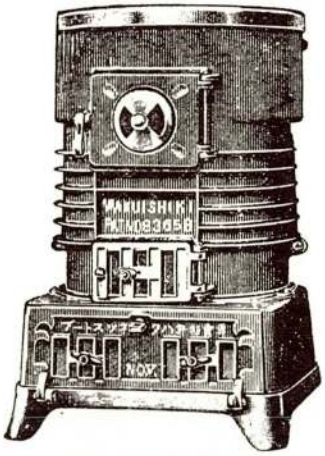
第 9 圖

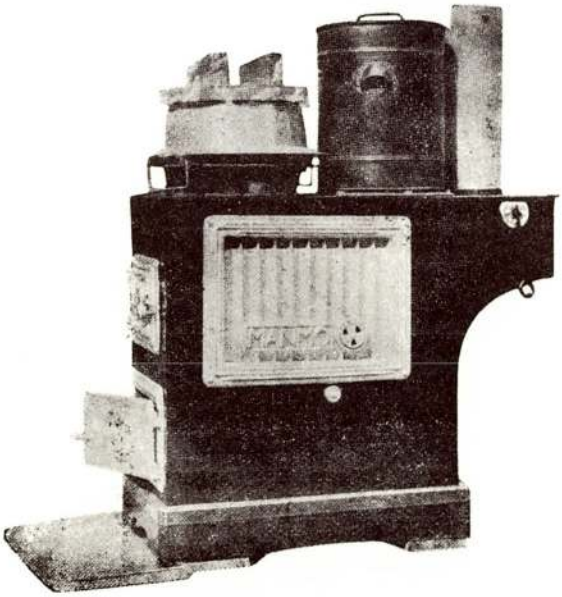


第 12 圖

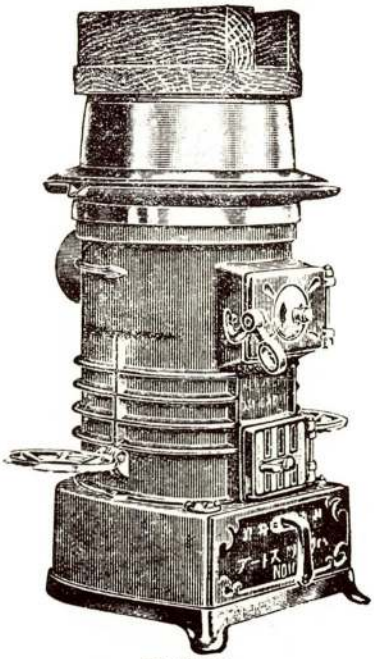


第 10 圖





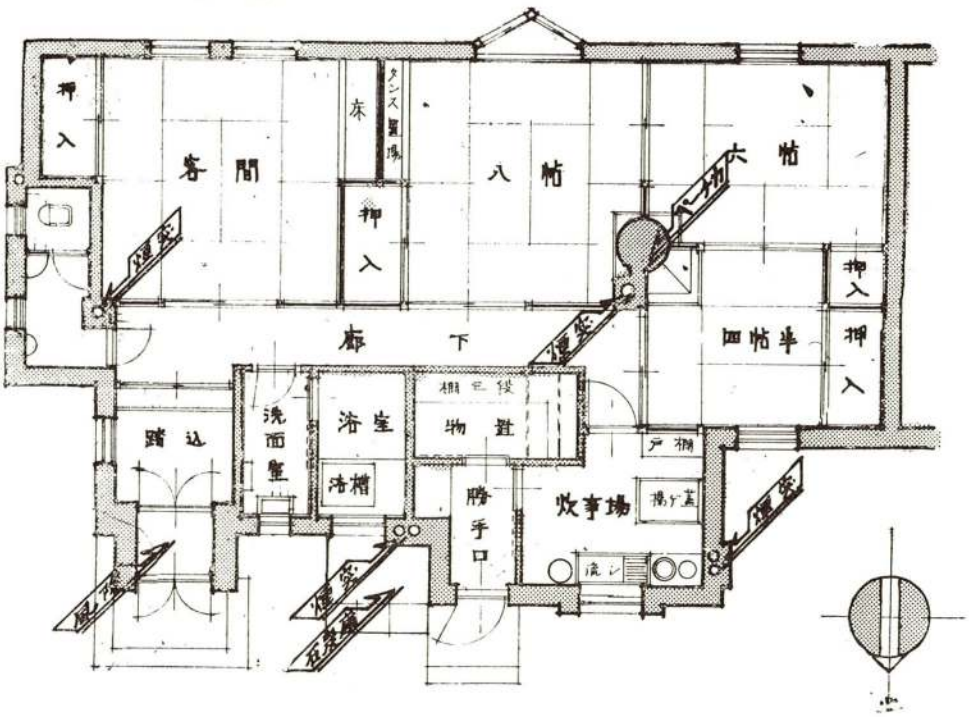
第 11 圖



第 13 圖

1) 恒王（センオー）ストーブ　（第7圖）　2) 福祿ストーブ　（第8圖）
3) アゾブス・ストーブ　（第9圖）　4) 國神ストーブ　（第10圖）
5) 滿蒙ストーブ　（第11圖）　6) 協和ストーブ（純炊事用）　（第12圖）
7) 白熱ストーブ　（第13圖）

ペーチカ



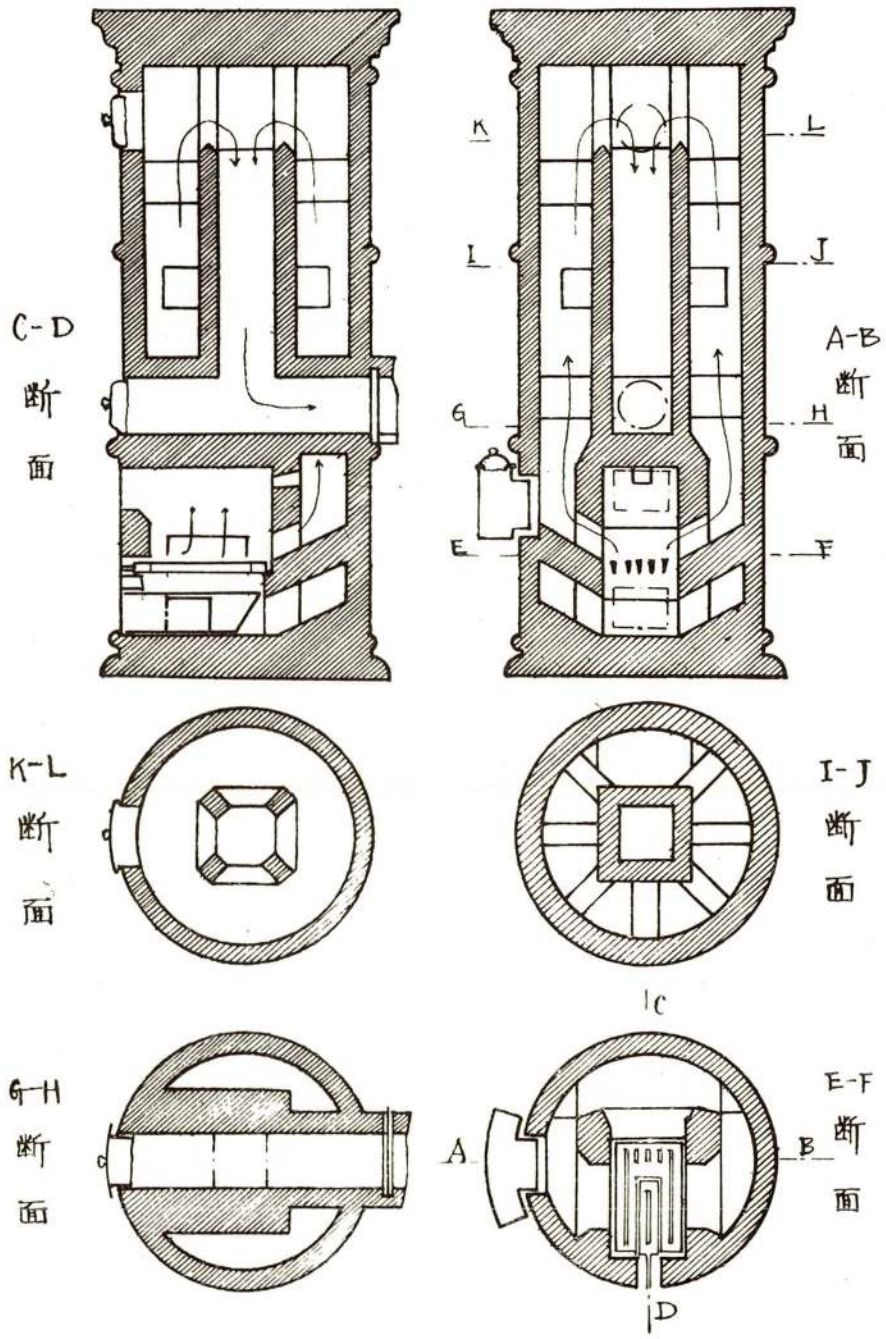
第14圖・ペーチカを持つ住宅の平面圖　此の平面圖は滿鐵會社々宅の乙種平家建の一例であるがペーチカは3室を暖めるものである。矢で示す煙突・風除・石炭庫等は内地住宅にみぬものである。

錦戸式ペーチカの寸法及性能表

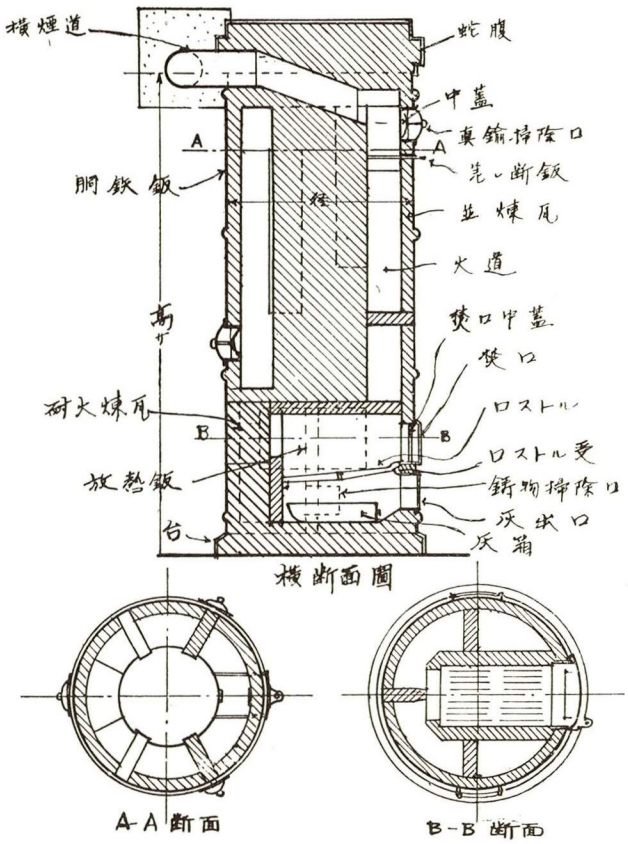
番號	直徑 cm	高さ m	室の容積 m³		疊數	一回の燃料 kg
一號	97	2.35	大連附近	106	24	18.75
			奉天附近	98	22	
			新京附近	87	20	
二號	91	2.35	大連附近	98	22	15.75
			奉天附近	88	20	
			新京附近	81	18	
三號	85	2.35	大連附近	87	20	15.00
			奉天附近	81	18	
			新京附近	73	16	
四號	74	2.27	大連附近	77	16	14.25
			奉天附近	70	14	
			新京附近	61	12	
五號	67	2.18	大連附近	59	14	11.63
			奉天附近	53	12	
			新京附近	48	10	
六號	56	2.06	大連附近	51	12	10.50
			奉天附近	41	10	
			新京附近	32	8	

備考・室温は 19°C を標準とす。錦戸商會型錄に依る。數字的根據不明

第15圖 · 錦戸式ペーチカ

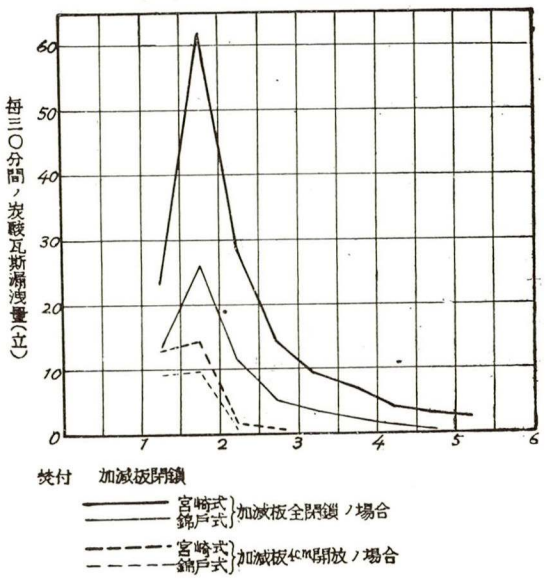


第16圖 ・ 宮崎式ペーチカ



第17圖 「ペチカ」焚房ニ於ケルCO₂漏洩量

(石炭10kg焚付後1時間ニテ加減板閉鎖)



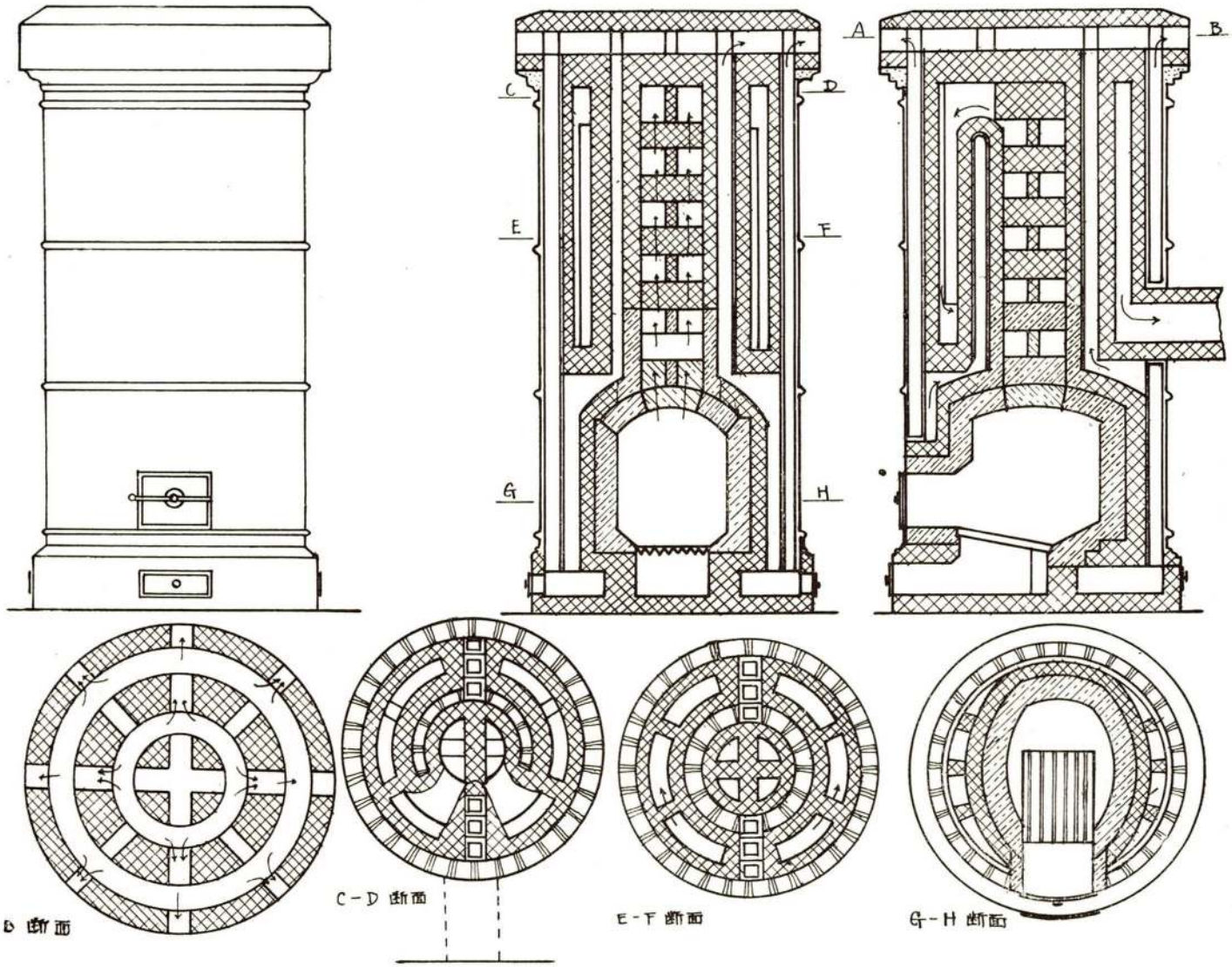
(滿洲醫大 三浦博士に依る)

宮崎式ペーチカの寸法及性能表

番號	胴徑 mm	胴高さ mm	平均室温 °C	室容積 m³	室疊數	一回の燃料 kg	煙突最小内徑 mm
1 號	1.212	2.424	18	247	34	20.25	180
2 號	1.154	2.424	18	228	32	19.50	180
3 號	1.074	2.424	18	203	28	18.00	180
4 號	1.000	2.385	18	194	26	17.25	180
5 號	909	2.385	18	185	24	16.50	180
6 號	870	2.220	18	159	22	15.75	180
7 號	771	2.187	18	141	18	14.25	180
8 號	613	2.082	18	113	16	13.50	150
9 號	606	1.983	18	77	14	12.75	150

備考 ・ 同表は型錄に依る。数字的根據不明

第18圖 · 露式圓形ペーチカの一例　　（川井廣胖氏に依る）



少し以前に建てられた家及び滿鐵の社宅等に於てはペーチカが多く用ひられて居る。第14圖はペーチカを持つ住宅の平面圖であるが、圖示の如くペーチカは多く數室の中央に取付け一つのペーチカで2室乃至3室を採煖して居る。

ペーチカの特徴は、一度投炭をなし石炭が燃燒を終え（約1時間後）バンターを閉めれば、十數時間そのまゝ保溫して居る。その欠點とする處は空氣の吸引がないので灰塵の發生多く、亦その取扱方法が惡ければ屢々瓦斯が室內に漏洩する恐れがある。

現在最も多く使用されて居るものは、錦戸式、宮崎式の兩型であり、第15·16圖に示す如きものである。

第17圖は奉天醫科大學三浦博士の御研究に依るもので、錦戸、宮崎兩式の CO_2 の漏洩量の試驗表である。

第18圖はロシヤ式ペーチカの一例である。

溫水煖房

機械煖房には溫水煖房、溫氣煖房、蒸汽煖房の3種類であるが、此處には最も多く使用されて居る溫水煖房の事を述べる事とする。

溫水煖房は先づ中以上の住宅に多く採用されて居り、水をボイラーで焚き溫め、之を溫水管を通じて放熱器に送り、茲で熱を室の空氣に傳えるものであるから、灰塵の發生無く亦惡瓦斯の心配も無いので極めて衛生的な煖房と云ふ可きである。

溫水煖房は溫水を循環させる方法に依り左の2つの型式に分ける。

1） 重力循環式　　2） 强制循環式

現在滿洲の家庭では殆んど全部前者を採用して居り、後者は特に大きな溫水煖房の外一般には採用して居ない。

溫水煖房は建築延坪當り22圓乃至30圓位の設備費が掛る。（但この內には煙突や煖房ピットの築造費は含んで居ない）

配管には單管式と復管式とがあるが殆んど復管式が使はれて居る。又型式には上向供給式と下向供給式との別がある。上向供給式は溫水罐は放熱器より低位置に取らねばならないが、下向供給式は放熱器が溫水罐と同一床面に在つても設備出來、且循環にも具合が良いので普通用ひられて居る。一般アルコラ式と稱するものは復主支管下向供給の溫槽式の事である。第19圖は配管の一例を示したるものである。

汽罐室の位置に付きては左の事項を考慮に入る可きである。

1） 採煖する建物の略中央に置く事。

2） 石炭の搬入と焚殼の搬出に便にすること。

3） 晝夜採煖する室に近くすること。

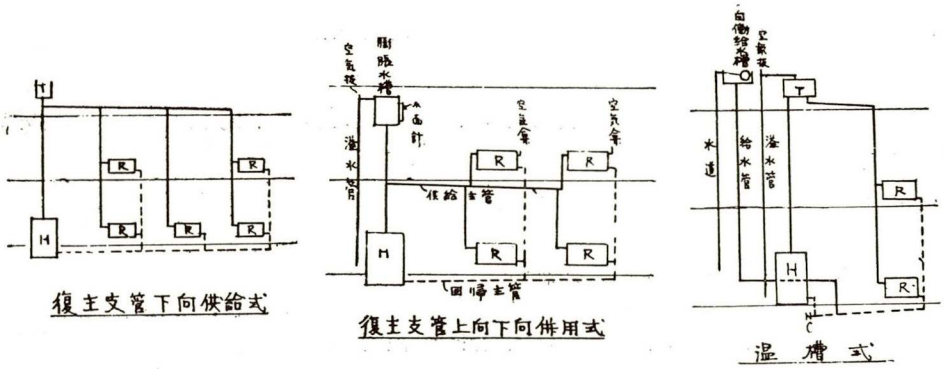
4） 冷藏室食料品倉庫に遠くすること。

第20圖は溫水罐中最も普遍的なアルコラ・ヒーターである。

炕（カン）

炕は滿人家屋の殆んど全部に構築されて居る煖房であるが參考の爲その大略を書き加えて置く。

第19圖・溫水煖房の配管



H…溫水罐　　R…放熱器　　T…膨脹水槽　　C…排水コック

（川井廣胖氏に依る）

炕とは所謂朝鮮の溫突である。その兩者の差違は第21圖に示す如く、炕に在りては黑煉瓦、或は埃子（ピーズ）（粘土を煉瓦狀に木枠に入れて打ち抜き、天日にて乾かしたる日乾泥煉瓦の事であり、大きさは長さ1尺2寸、巾5寸5分、厚2寸5分である）を以つて築くに對し朝鮮溫突は炕床面に大きな板石を敷く點である。共に床下に火氣を通じて床面を溫め、直接熱傳導に依りて人體に煖を與え、合せて室內を煖めるものである。

奉天醫科大學三浦博士が邦人移民住宅に、移民研究家屋を造り炕の成績を御研究になつて居るが、その結果に從えば炕の構造は縱貫式と橫貫式1とを組合せたるものが一番能率が良好であると云ふ事である。又同御研究に依れば板石の代りにコンクリート板を張りたる所良結果を得られた由である。

炕は室溫を餘り高くする必要なく炕の上に座する時床面溫度約35°C、室溫約12～15°Cの時が適溫であると云はれて居る。

燃料は石炭では火力が强過ぎる嫌あり、滿人は主に高粱稈、籾殻、松葉、柴、鋸屑、薪等を焚いて居る。その量は極寒の時に於て高粱稈1日に10梱即ち支那斤にして30斤乃至40斤を要す樣である。薪の量も大體同量である。

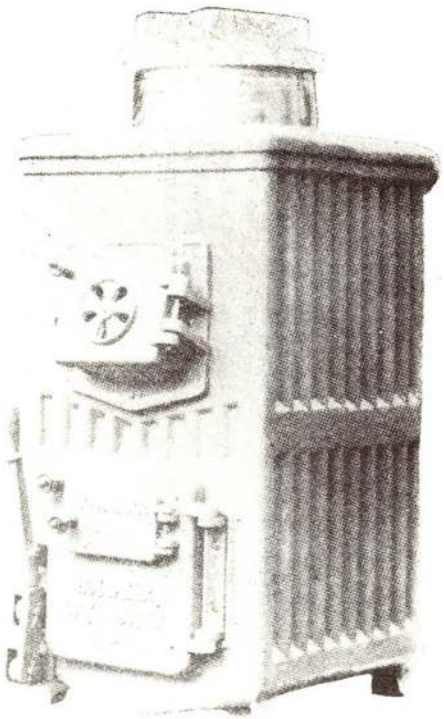
炕の欠點とする所は炕の床上は暖かいが土間が甚だ寒いことである。（前記研究家屋に於ける試驗では土間は炕上より約5°C も低溫である）

次に炕の構築材料たる黑煉瓦或は埃子は甚だ吸濕性であり、火を焚かない時は濕氣を帶びるのである。故に夏期に於ても保健上又炕の保存上週に1度位は採煖せねばならないの

第20圖 · 新アルコラ・ヒーター

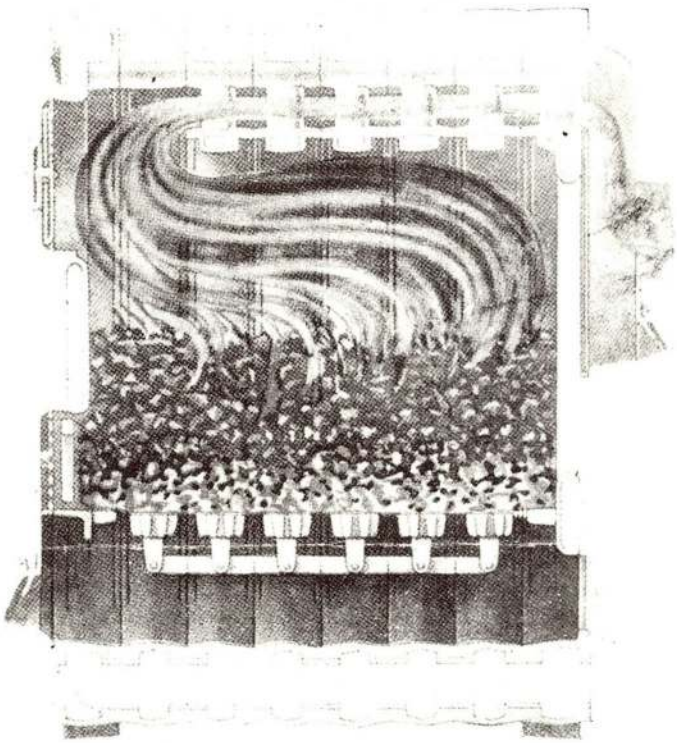


炊事兼用ボイラー　能力20坪以上75坪迄

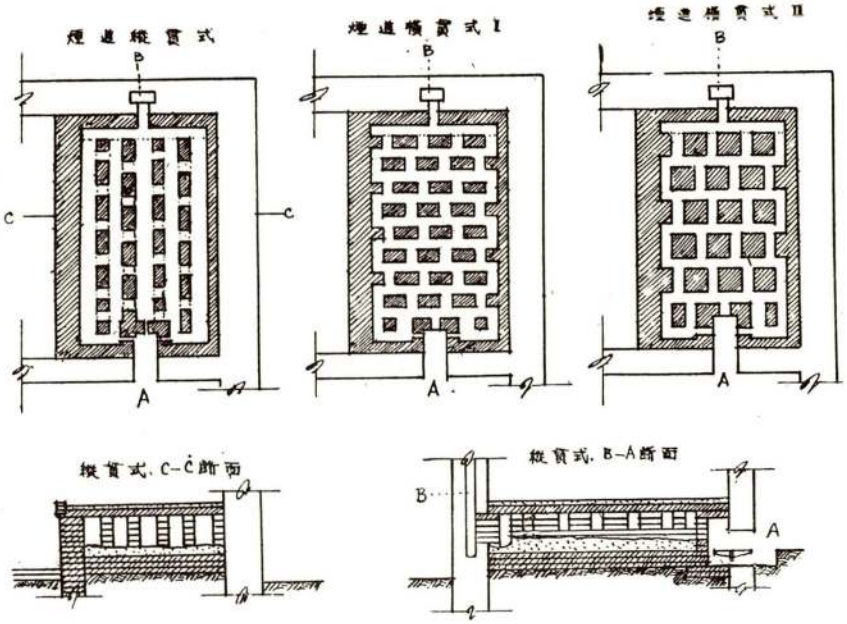


能力10坪以上28坪迄

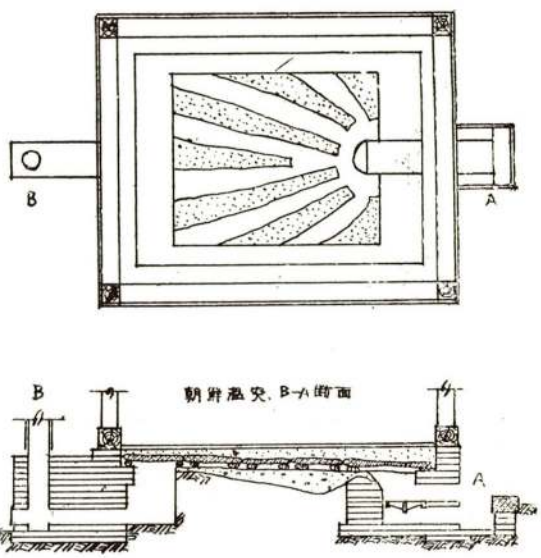
第20圖 · 新アルコラ・ヒーター



斷　面　圖



朝鮮温突



(秦天驥大 三浦博士ニ依ル)

第21圖・滿洲式炕と朝鮮温突

新アルコラ・ヒーター能力表

ボイラー番號	セクションの數	レーティング平方呎	放熱量 B.t.u.	實放熱面積平方呎	加熱面積平方呎	温水容量リットル	燃料容量封度	火床面積平方呎	荷造重量封度
No. 24	4	420	63,000	18.3	14.0	27	71	0.68	510
No. 25	5	520	78,000	21.5	17.2	32	94	0.95	585
No. 26	6	610	91,500	24.7	20.5	37	117	1.22	660
No. 27	7	710	106,500	28.0	23.7	42	140	1.49	735
No. 28	8	800	120,000	31.2	27.0	47	165	1.78	810
No. 29	9	900	135,000	34.5	30.1	52	186	2.05	885

である。殊に降雨のあつた時はすぐ火を入れる必要がある。

今一つの欠點は時に室内に燃燒瓦斯が漏洩する事がある。

滿人はこの炕の上にアンペラ又は毛絨を敷き、その上に起居するもので、日本住宅に於ける疊の如く、滿人の日常生活に極めて密接なる關係を有するものである。

結　　言

以上甚だ粗雜ではあるが滿洲に於ける邦人住宅の採煖法に就き、極く常識的に一通り述べた心算である。

而して何れの採煖法を見るも、年々改良されつゝあるが未だ完全なりとは云ひ難き現狀である。故にたゞに室溫を高める事のみに終らず、保溫と換氣との關係をよく研究し、優秀なる煖房器具か出來るのと並行して、建築に於ても完全なる換氣設備を裝置し、新鮮なる空氣と日光とを以つて在滿邦人を恐る可き疾病から救ひ、以つて冬の滿洲を眞の樂土となし滿蒙への發展を期さなければならない次第である。

附記　稿を終るに臨み、參考圖表其他に付き御敎示を賜りたる川井廣眸先生及び田中良太郎先生に深甚なる感謝の意を表す。

（十一月三日明治節の夜稿了）



大阪の都市美座談會

（發言順）

中澤誠一郎氏（大阪府警察部建築課長）
稻葉竹治氏（大阪府警察部保安課長代理）
小倉敬二氏（大阪朝日新聞社學藝部長）
木津谷榮三郎氏（大阪市電氣局電燈部長）
藤原伊勢松氏（堂ビル營業部主任）
椎原兵市氏（大阪市土木部公園課長）
新野百三郎氏（大阪朝日新聞社航空部次長）
八木常三郎氏（廣告協會理事）
生田花朝氏（閨秀畫家）
恩田和子氏（大阪朝日新聞記者）
廣江恭造氏（大阪中央放送局長）

（五十音順）

片岡安氏（日本建築協會々長）
武田五一氏（同副會長）
池田實氏（同會員）
葛野壯一郎氏（同會員）
松室重光氏（同會員）
鳥井信氏（同都市計畫委員會委員長）
加藤善吉氏（同幹事）
吉田信武氏（同幹事）
龜井幸次郎氏（同委員）
福知秀夫氏（同委員）
原清氏（大阪朝日新聞記者）

昭和10年10月15日
於 A.B.C 倶樂部別室

片岡——それぢやこれから座談會を始めたいと思ひまするが、便宜上私が座長を致しまして、色々皆樣に御註文を申上げたいと思ひます。どうぞうるさくても御許しの程をお願ひ致します。朝日新聞社の方のお方から或は色々御註文が出ると思ひまするが、それはニュースヴアリユーを生じ得るやうな問題をお出しになることゝ私想像致しまして、非常に結構なことであると思ひますから、それに對して皆樣が御協力、御援助を願ふやうに希望して置きます。本座談會は美觀地區から出發して居りますけれども、美觀地區に捉はれずして色々聽きたいと思ひます。併し美觀地區と云ふものが制定されて、美觀地區の運用と云ふものが先づ以て其基礎になつて居るのでありますから、便宜上中澤建築課長に一寸それ等のアウトラインをお話し願つたら結構と思ひます。

中澤——御指名に依りまして、話が少し偏るのぢやないかと思ひますが、美觀地區のことに就て極く概略をば申上げまして、御參考にして戴きたいと思ひます。美觀地區は御承知の通り大阪に於きましては、昨年の12月に指定になりまして、其の區域は丁度彼方にある圖面でありますが、赤く塗りました大阪驛から大阪の中央動脈たる御堂筋を通りまして、難波驛に至ります部分、それからもう一つは大阪驛前から渡邊橋迄の南北線是が一つであります。もう一つは中之島一帶の區域でありまして、あの區域から大阪城前、丁度電車通りに沿ひまして、今建築工事中の放送局の邊に行つて居りますあの一帶、及び郊外電車の各終點、即ち難波驛前、馬場町の周圍、上本町の終點附近及び阿部野橋の附近斯う云ふやうな所に美觀地區が指定された譯であります。これは都市計畫の議を經ました上內閣の認可を得た譯でありまするが、此の美觀地區が指定されますると、市街地建築物法上の色々な制限が加えられることになります。詰り市街地建築物法では法待の第15條にこの美觀地區に關する條文がありまして、色々建築物の構造設備又は敷地に關しまして、美觀上必要な規定を主務大臣が規定することが出來ると云ふことになつて居ります。即ちこの規定に基いて規定されて居りまするのが、市街地建築物法施行規則の第5章、即ち內務省令の第136條から第142條迄の間に規定がある譯であります。そこで一寸其の規定の內容を申上げますと、美觀地區とはどう云ふ事柄がどう云ふ風に制限を受けるかと云つたやうなことがはつきりすると存じますので、之を簡單に申上げたいと思ひます。この規定は假に雜つと分けて見ますと、大體2つに分けられると思ふのであります。即ち其の一つは建築物の設計、或は形と言ひますか、色々な建築の主體ですが、この主體に對して美觀上支障が有るとか無いとか云ふ可なり大きな事柄が一つある譯であります。もう一つは主として外面的と言ひますか、建築又は建築敷地の表面的な取締、例へば外國の例で言ひますと、汚損防止法と云つたやうなものにありさうなものに分けられると思ふのであります。第1の建築物の主體に對するものを二つに分けますとこれ迄からある建物が環境を害したり、外部の體裁を損ずると云ふ時に之に對して除却改修と云ふやうな處置を命ずることの出來る規定でありますもう一つは設計をしまして、是から愈々建築物を建てやうと云ふ場合にその設計に對する色々美觀上の點を考慮して行く、斯う云ふやうなことであります。尙ほ此の美觀上の考慮を致しますのに、豫め美觀地區の中に區域を定めまして、或は高さの制限であるとか外壁の材料であるとか、或は主色を指定すると云ふやうな豫備的な指定が出來るやうになつて居ります。是等の事柄は知事の權限としてやつて行くやうに出來て居りますが、相當大きな問題もあると云ふので、まあ手續上相當念を入れます意味に於いて內務大臣の認可を受けて重要なものゝ處理を決めるやうな規定になつて居ります。それから先程分類致しました第2の部類に屬するものでは、例へば建物の外部が汚損して居る時は、速かに之をば修理しろと云ふことが言へるとか、或は建物の道路に面した部分、或は廣場、公園に面しまして、煙突が變な恰好に出て居るとか、或は排氣管がもくもく面を突出して居ると云ふやうな見苦しいものに對しては、之を禁止すると云ふ方針で出來て居ります。尙ほこの外に未だ建物が建つて居らない空地があつた場合には其の空地の周圍に板圍ひするのが普通になつて居りますが、それも非常に體裁の惡い板圍ひでやつて居ると云ふことであれば、是は體裁よく圍はせる、或は其の中をば綺麗に整頓をさせるやうに知事が命令をすることが出來ることになつて居る譯であります。現在の大阪の美觀地區の中では、先程申しました高さの指定と云ふものは未だ出來て

居りませぬが、目下是は研究中であります。近く或る範圍内を考へまして、高さに關する色々の指定も致したいと考へて居るのであります。以上申しましたことは美觀地區に關する内務省令の極く大雜把な御説明であります。併しながら唯僅かに7箇條の内務省令でありますけれども、いざこれを實際のものに運用して行かうと云ふことになりますと、可なり骨が折れるのであります。單に骨が折れるばかりでなく、都市美觀と云ふことの見方に對して、是は餘程重大な責任があることを痛感するのであります。幸ひ本夕催されましたこの會が先程會長のお話にありましたやうに、これから色々有力な皆樣方の美觀に關する御意見、或は都市美全體に對するお考へなどをお聽かせ願ひ、或は其の他の方法に依りまして、色々御援助を願ふと云ふことになりますれば、恐らくこれの運用が將來極めて圓滑に行はれ、さうして市民の感じ心織り込みました都市美が完成するのでないかと思ひます。私は甚だ簡單ではありますが、この御説明をすると同時に、併せて此の將來の御活躍をばお願ひする次第であります。

武田——片岡君が一寸旅行するので中坐しましたから、私代つて進行係を勤めます。次に鳥井君に都市計畫の方面から何か一つお考へを……

鳥井——私は大阪の美觀地區を指定するに當つてお手傳ひを致して居る者であります。都市計畫及び市街地建築物法が大阪に適用されましてから約15年になります、其の間に於て都市計畫の施設と致しましては、道路、公園、地域、防火地區、風致地區等、着々と計畫或は實施して居ります際今日、漸く美觀地區の指定をして、而も大阪の全部から見ますれば、非常に僅かな範圍に於て指定せられたのは一體どう云ふ譯であるかと云ふことを先づ以て申上げたいと思ひます。今日の社會の狀態を見ると先づ都市時代とも考へられる時代であります。人は都市へ都市へと集中して共同生活を營み、其の間に於て利害反する者が相隣りせざるを得なくさるゝ爲、健康上或は安寧上又は道德上の見地から種々なる法律を以て之を保護されて居る。即ち非常に音を立てるものは音を立てないやうにし、喧しい工場には音を立てさせぬやうにしたり、或は工場を遠い所にやるとか或は電車の音や自動車の音に關する取締は相當にやつて居る又衛生上の見地から、非常に汚い臭い、又は有害なるものに關する取締も相當進んで居る。結局嗅覺に關するもの或は聽覺に關するものに就いては取締をやり効果も擧げて居り、耳と鼻とは法律を以て保護されて居るが、目に關する法律上の保護は唯一つの廣告物の取締があるだけであつて、他に何等目の不快を取締るものがない、この廣告物に於ても醜惡なるものを排除しやうと云ふだけであつて、都市の美觀增進と云ふことには何等及んで居らないのであります。つまり視覺の取締は嗅覺聽覺の保護よりも後れて居たのであります。從來視覺に關するものは贅澤であると考へられた。この考へは世界各國とも同じであるが、併し歐洲各國、獨逸、佛蘭西、英吉利、伊太利等は、古來から立派な建築物があり、是等と相並んで近代的のおかしな物を建てられると困ると云ふ輿論から、かなり古くよりこの記念建築物或は古建築物を保護し、都市の美觀調和の見地から相當取締つて居るのであります。最近に至り、獨逸に於ては所謂目の取締と云ふ意味から都市に美觀地區を指定して、醜惡なる物の産出を排除する美區取締法が出來、警察權に依つて取り締つて居るのであります警察の力に依つてこの目を保護すると云ふ觀念は非常に進んだる觀念であつて、普通の保安に加ふるに目の保護即ち精神的の保護を法律に依つて取締るのであります。亞米利加では古い建築も無ければ、法律的に斯う云ふものを取締ると云ふことは自由主義の國柄丈けになかなか難かしいので、輿論の喚起に依つて都市美委員會を組織しこの醜惡及び醜惡なる物の産出を防いで居ります。日本ではこの目に對する保護は獨逸に做つて市街地建築物法に於ける美觀地區の指定及びこの警察命令に依る取締と云ふもので可なり立派な法律が出來て居つたが、實際に美觀地區を指定して建築物を取締つて行くことを躊躇して、15年間を經過したのであります。斯う云ふやうな譯で、世の進んだる人はこれを必要とするけれども、未だ世の多數の人はこれを諒解するに苦むと云ふやうなことから、地區を指定するに付てもなかなか骨が折れ、又指定致しまするものは廣い範圍に於てこれを適用すると云ふことが困難なる爲に、先づ大阪市に於て都市の面目上重要なる地點を撰んで、極く小範圍に於て指定し、この小範圍に於て市民の美的敎養をなし、更に擴範圍と擴張せんとする考へであります。次に大阪の今迄の美觀の狀態はどうか

と云ふに德川時代から明治初期に至る迄町家として相當の面目を保持すべき體裁を備へて居つたのであります。然るに明治30年頃以降から人口集中の結果、今迄の都市は其の機能を失ひ、道路は狹くて用を足さぬと云ふやうなことから、都市の中心部に於ける改造の爲に10有餘年間を費し、漸くにしてこの廣路が出來むとするやうな譯で、都市の目貫きに當る所が改造の爲に混亂に陷り、美術的の秩序と云ふものを失つた。これに長いこと慣らされた爲に、市民は都市の美觀に對して全然無關心の狀態に置かれて、梅田と云ふ所は汚いなゝとは言ひながらも、輿論としてこの美的改造促進をやる元氣もない迄に慣らされて仕舞つた。それと同時に一面に於ては商工業が盛んになつた爲に大阪に商工業都市であるから、美觀なんて云ふものは問題にならぬ。美觀は京都へ行けば宜い。奈良へ行けば宜い。京都や奈良は晝の都であつて、大阪は夜の都であると云ふことで誤魔化して居つたのであります。併し段々都心都に於ける道路及び廣場、或は河畔一帶が整備されて來るに從つて之に立ち並ぶべき建築物は相當立派なものを必要とすることが輿論となつて現れ、之に依つて今日僅かながらも美觀地區の設定を見たのでありまするが、これは勿論警察命令であつて、極く消極的なものである。醜惡の撤去と云つても、さう思ひ切つてやられるものではない。又新しい物の醜惡を排除すると云つてもさう出來るものではない。結局積極的なものは殆どないやうな狀態であつて警察力にのみ頼つてこの完成を期する譯には到底行かない。どうしても輿論を喚起し、輿論に愬へて、斯かる物をあゝ云ふ所へ建てられては困ると言つて、其の輿論の力に依つて醜惡なる物の產出を防ぐと云ふ所まで至らなければならぬと考へるのであります。どうか皆樣のお力を得まして、今後とも都市の整備を圖り、大阪の都市の面貌を保持するやうに努めたいと思ふのであります。

武田——どうも有難うございました。次は保安課の稻葉さんに廣告物の取締に就いてお話を願ひたいと思ひます。

稻葉——私は保安課の稻葉でございます。本日は藤原課長が是非出席したいと云ふことを承つて居つたのでありますが、午後4時頃になりまして急用が出來ましたので、私に代つて出席をせよと云ふことでありましたので、私がお伺ひを致しましたやうな譯であります。只今御指名になりまして、廣告物の取締に就いて何か話をせよと云ふことでございまするが、廣告物の取締に就きましては、只今鳥井さんからも詳しくお話がございました。私共が日常取締に當つて居ります根據と申しますか、基本に置いて居りますのは、旣に皆樣も御承知の通り廣告物法と云ふ法律及び大阪府令の廣告物取締規則と云ふものでありますが、法律も明治44年頃の古い法律でありますし、大阪府令も大正15年頃に制定された古いものでございまして昨年施行されました美觀地區の廣告に就いては是非共改正をして行かなければならない狀態になつて居るのであります。固より私共警察の仕事と致しましては、廣告物だけではないのでありまして總ての方面に於て殆ど原則的になつて居ります公安、風俗、衛生又は危險豫防と云ふやうな點に就いては總て警察力の發動を見て居るのでありますが、就中この廣告物に就きましては、美觀、風致と云ふやうな點に重きを置かれて居るのであります。今夕催されました都市美の座談會に於ても美觀地區の廣告と云ふことに就きましては、只今申上げたやうな意味に於て、我々に於ても非常に重大に考へて居るのであります。美觀地區の廣告物をどう云ふ風にしたら宜いか、全然これを禁止して仕舞つたら宜いか又大阪のやうな大都市に於て禁止をすると云ふことは色々困難な事情を伴ふと云ふので、相當制限をしたら宜いか、又廣告物の種類とか、或は廣告物設置の目的と云ふやうな點に付て制限をしたら宜いかと云ふやうなことに付きましては、目下改正規則を練つて居るやうな譯でございまして、幸ひ今夕斯樣な會を催されまして、大阪に於て有力な皆樣方の御會合の席上に私も列席をさせて戴きましたので、充分其の點に就いては色々御意見を承りまして、私共が規則改正の上に於きまして、色々援助をして戴きたいと云ふ考へでありまして、甚だ失禮でございますが、これから十分一つ承りまして、篤と能く研究を致しまして、充分皆樣方の御意見を改正規則の上に取り入れて行きたいと云ふ風に考へて居りまするから、どうぞ宜しくお願ひを致します。甚だ簡單で失禮でありますが、これを以ちまして御免を蒙ります。

小倉——稻葉さんに一寸お伺ひしたいのは、この美觀地區の廣告ですね、これまでこの廣告が惡

いとか、何とかで、禁止になつたと云ふやうな例は澤山ありますか？

稻葉——新たな物でありますか？

小倉——さうです。新たな物で——…

稻葉——左樣ですね。さう云ふやうなことは只今の所ではないと思ひます。

武田　——何か他にお話は……

龜井——今後美觀地區に大きな廣告などが、例へば福助足袋だとか、仁丹だとか、普通の高さ以上の高い物が立つとすれば、何かそれを取り締ると云ふ腹でもあるのですか？或はネオンサインがごたごたとありますけれども、あんな物は何とか巧くやつて欲しいと私共思ふのですが、何かさう云ふことに就いてやる腹はございますか？

稻葉——色々御意見がありましたら。具體的に御指示をして戴きますれば大變結構であります。只今の所では今申し上げたやうな具合に、府廳の私共と致しましては、色々草案に付て研究を致して居りますので、高さとか云ふやうな點に就いては未だ確つかり決めて居りませぬ。又ネオンサインをどうするかと云ふことに付ても今研究中でございます。唯美觀地區內に從來ありました物でも期限の來て居る物は、この改正規則の結果又御迷惑を掛けるやうなことがあつてはいけませぬので一時待つて戴いて居ると云ふやうな物はございます。

木津谷——ネオンはいけないと云ふやうなお話があつたやうですが、さうぢやないのですか噂がありましたやうですが……

稻葉——さう云ふことはございませぬですね。

藤原——私共承つた所では、本當か嘘か知りませぬが、屋上にある電飾廣告若しくはネオンサインでも、是は店の廣告若くは商店の催物を掲げる看板と認められる場合は許可する。但し有料の轉貸しをする廣告と認められる場合には許可しない。さう云ふ方針で進んで居られると云ふやうに聞いて居りますが……

稻葉——警視廳、神奈川縣などはさう云ふやうな點に就いては能く具體的に書いて居るさうでありますが、大阪はまだ定めて居りませぬ。今後は能く研究して定めたいと思ひます。

武田　廣告と看板との區別をはつきりしたものが何かあるのですか？

稻葉——隨分是は難かしい問題でありまして、皆樣方の方でも一つ斯う云ふやうな點に付ては充分御研究をして戴きたいと思つて居ります。

武田——今日は幸ひ皆樣がお出でになつて居りますので、色々御意見を伺ひ、其の上で一つ……それでは市の公園課長の椎原君に綠地だとか、公園とか云ふことで、市の美觀にどう云ふ貢獻をしたら宜いか。お考へがありましたら一つ簡單に……。

椎原——この美觀地區の方面から考へて見まきると、大阪のやうな商工業の盛んな、殊に舊市方面の殆ど空地等のない建て込んだ所では、衛生上から考へて見ても公園の欲しいのは尤もでございまするが、一寸公園を設けて人口の密集して居る所に美觀を添へると云ふことは困難なことゝ考へます。それで手つ取り早いのは矢張り街路樹、即ち並木であります、並木の立派なものを設けて、其の都市の美觀に貢獻すると云ふことが一番手つ取り早いものではないかと考へます。大阪市は今並木を約2萬6千本ばかり持つて居りますが、並木だけでなく、今度廣路の方にあゝ云ふ綠地帶を設けて、芝や灌木を植え、並木地帶をもう一つ修飾したものにする。都市計畫で街路を設ける時に若干の不用の土地と云へば、語弊がありますが、除地、餘つた土地がちよいちよい出來るのであります。さう云ふ所を街園として設ける。例へば上六の大軌の前の公園も街路の一部分として出來たものであります。古いもので日本橋の所に3角地が道の兩側にあるこれも道路を設ける時に、以前の計畫と今の計畫と喰ひ違つて、其の除地が3角に兩方に殘つた。或は惠美須警察の横の所とか、寢屋川の改修、鯰江川の埋立の時に、備前島橋から下流の所に若干の空地を置いて街園を設けました其の他之に類するものが、まだ4.5箇所ありますが、さう云ふ街園は今後も益々澤山出來るやうに心掛けて居ります。

それで並木も單に植えるだけでなく、それを保護して行くのが大切なことであつて、植えただけで保護が十分行き屆かなかつたら、却つて美になるものが醜になつて來る。さう云ふ醜になつた所も、遺憾でありまきが、所々あるやうな狀態でございます、其の樹木の種類に就いては色々研究して居りますが、今の所矢張りプラタナスが一番好成績を得て、どう云ふ所に植えても育つし、比較的害蟲とか、他の被害が少いと云ふので、世界各

國ともプラタナスが一番全盛を極めて居るさうでありますが、大阪でも約2萬6千本の中の6割以上をプラタナスが占めて居ります。日本國産のものでないから、もう少し日本國産のものを選んだらどうかと云ふ說がありますが、日本國産のものでは餘り適當なものが少くて困つて居るのであります。東京はイテフが可なり成績を擧げて居る。數も隨分澤山ありますが、これも東京市の公園課長の話を聽きますと、東京の空氣も非常に惡くなつて、前のやうな成績を擧げ得ない。近來非常に惡くなつたから、成るべく市中は避けて郊外に近い方にイテフをやるやうにして居ると云ふことでありました。大阪でもどうもイテフは巧く參りませぬで、まあ今度幸ひ市が大きなイテフを持つて居りましたから、廣路に植えて見ました。此所は道路が鋪裝してありませぬから、相當の成績を擧げると思つて居ります。他のプラタナスとか、外の樹木と違ひまして、可なり成長が鈍い。鈍いと言ふよりも、植え痛みがひどいのでありまして、どうしても植えて34年間は辛抱して居らなかつたらずんずん成長して來ない。日本のものでは、イテフの外は青桐が可なり大阪の地に適して居るやうであります、是は大阪で今から15年前に電氣局の前から川緣の方に植えたが、何回植えても枯れ非常に不成績であつて、どうも、青桐は大阪には駄目だと我々は諦めて居りました所が、茲4.5年前から他の場所に植えて見ると非常に成績が良くて、而かも砂氣で土氣の無い一番惡い所にプラタナスと青桐を並べて植えて見た所が、青桐はどんな炎天で水が充分行かなくても、平氣な顏で居つたが、プラタナスは參つて仕舞つたと云ふやうな例もあります。さう云ふ試驗をやつて見た結果、青桐は大阪には相當成績を擧げるものと思ふのであります。其の他三角楓と云ふのは日本特有の木でありますが、これも充分の成績を擧げることは出來ませぬが、先づ6.7分位の成績を擧げて居ります。又アカシヤと云ふ木があつて、非常に繁殖力が强い。是も可なり植つて居ります。春先きは非常に芽が綺麗で、美觀を呈して居りますが、どうも9月の末、10月に入ると葉がボロボロ落ちて後が非常に不成績であります。それで我々は今出來るだけ並木が良くなるやうに圖つて居ります。

其の他市內に1本でも大きな樹が殘るやうに祈つて居る者でありますが、どうかすると少しの加減で以て其の木を避けることが出來るに拘らず、避けないで、樺を伐つて仕舞ふと云ふ例が隨分澤山ある。段々時間が長くなりますから、其の例は申しませぬけれども、出來るだけ市內に殘つて居る木は保存して行きたいと思つて居ります。それから河岸地でありますが、河岸地は今から30年、35.6 年前には隨分柳が川の緣に植つて風致を添へて居つたやうに古い人から聞きましたが、さう云ふ所は隨分澤山無くなつたやうに思ひます。斯う云ふ所は成るべく殘して戴くやうにお願ひする次第であります。河岸地で相當な建物も建てられなくて、樹木を植えられるやうな所にゴチャゴチャと家の建つて居るのをチョイチョイ見受けますが、幅が狹い所でさう大して大きな建物も建てられないで、ほんの燐寸箱を横に立てたやうな家しか建たない所は、何とか其の土地を持つて居る人の德義心で以て建物を建てないで、樹木等を植えて美觀的に効果を現すやうにして戴きたい。餘り話が長くなりますから、此の邊で……

武田——次に堂ビルの藤原さん、一つ都市美とビルの經營か何かお感付きがありましたら、お話を願ひたいと思ひます。

藤原——至つて若い者でございますから、皆樣の御參考になるやうな意見は到底述べ切れないのでございますが、實は私ビルデイングの廣告と云ふ問題で、少し生意氣な意見を申述べて見たいと思ふのであります。私の方のビルデイングでは表の方が大概商店になつて居りまして、ズット表通りの店はネオンサインを入れて居るのでございますが、屋上の方に從來廣告燈がありましたのが、今度期限が來ましたので、府の方で繼續を一寸取り消された形であります。これに付ては電飾廣告と云ふものが美であるか醜であるか、ネオンサインが美であるか醜であるか、それは人々に依つて見方も違ふと思ふのであります。先達て獨逸から交歡放送のあつた時に、東京の銀座のネオンサインとベルリンのネオンサインと何方が綺麗かねと言はれたやうに記憶して居りますが、要は一般に排斥すべきものでもない。唯デザインなり大きさなり、色の配合なりが非常にあくどい場合にそれが醜に感じられるので、主觀的に見ましたならばネオンサインの中にも或は美しいなあと思ふものがない譯ではないのであります。これに就きましては、府の方でも稻葉さん邊りが一生懸命に今御

研究中でございませうが、一般に電飾廣告、ネオンサインを排斥すると云ふ方針を執られずに、要はそれが美であるか醜であるかと云ふ美醜の觀念に依つて一つ決定して戴きたいのであります。それに就いて美とか醜とか云ふものが各々主觀的の問題で解決出來ぬものでありますが、私の考へと致しましては、美觀區域の廣告物の設置に付ては府邊りでデザイナーなり、建築家なり、お役人なり、其の道の權威の人達で審査委員會のやうなものを造りまして、最近新聞で見ました廣告物取締改正委員會と云ふものが今度廣告物の取締法に付て何か規則を研究中らしいですが、それとは別に又美觀區域内に關する廣告物に就いて適當なる審査機關を設けて、それに依つてこれを許すべきか許すべからざるかを決定して戴いたらどうかと思ひます。それからこれはビルデイングの話とは違ひますが、私の方は中之島公園に近いので、お晝の時間なり、仕事が濟んでからよくこの公園を散歩するのでありますが、私達が公園に行かうと云ふ氣持は、疲れた頭を休めに行かうと云ふ氣持で行くのでありますけれども、どうも公園の中で自動車に追ひ駈けられるので、折角休みたいと云ふのが、逆に神經を摩り減されるやうな氣持が致しますが、あれは何とか取締る方法はないのでありますか？、此の邊は稻葉さんにお願ひ致します。

武田——稻葉さん御迷惑でも一つ後で能く御研究を願ひます。

稻葉——公園の中を自動車が通過することですね。

藤原——ハア？通過することです。

武田——今直ちにお答へを願ふよりお考へ置きを願ふのでせう。

藤原——左樣です。

武田——それでは次に新野さんは始終大阪を上から御覽になつて居るやうですが、上から御覽になつて、空からの美觀に就てどうしたら宜いかと云ふことを一つ……

新野——大體餘り都市美なんて云ふことを考へながら飛んだことはなく、忙しく飛び廻つて居りますから、大して氣が付かぬのでありますが、他所から人が飛んで來ますと、一番眞先きに大阪と云ふ所は汚いなアと言ふ。それは第一黑い塵埃がたまつた都市煙霧と云ふやうなものが出て居つて非常に空が汚れて居る。丁度自動車で鋪裝してある道路を走つて居る場合に急に埃の舞ひ上つて居る道路に入つたやうな氣分がして、それで第一感じを害する。それから上から見ましても、大體は一帶に黑つぽい色をして居りまして、殊に西の方一帶は汚いやうであります。尤も汚い汚いと申しますが、私等は始終大阪の上を飛んで居りましてまあ可なり美しい。所謂都市美と言ひますかさう云ふものを發見することが、多くあるのであります。丁度中之島邊り、朝日ビルを一番手前に置きまして、大阪城の方を見ますと、ビジネスセンターの北濱邊りのビルデイング其の手前に中之島一帶の多少綠の入つた景色と云ふものは割合に近代的な美しさぢやないかと考へて居ります。それから毛馬の閘門の方から櫻の宮の方一帶、それ位なものでありまして、夏でも餘り上から下を見まして、綠と云ふやうなものを見ないやうであります先程誰方か大阪の美觀に就いて相當植木を植えて居られるやうなお話がありましたが、空から見ますと、非常に範圍が狹いやうに考へるのであります。マア割合に樹木の多いのは、天王寺附近と、何と云ひましたか、一寸高目になつて居ります上本町邊りでありますか、お寺の澤山ある所、あの附近が多少樹があるやうでありますが、西の方に至つては、もう實に唯黑つぽいだけであります。併しあの汚い溝や何かは、高い所に上つて居りますと、非常に美しく見えます。距離が遠いだけに餘り細かい汚なさは見えない、一般的の黑つぽい變な重い汚なさは見えますけれども。一番早く分りますのは、大阪の空に昇りますと、新しいプロペラが一遍に眞つ黑になる、塵埃が上に浮いて居る譯であります。それから下を歩きました時と上と違ひますのは、下の大きい道路を歩きまして、表から見ますと、洋館の恰好をして居るので、洋館が非常に多いやうに思ひますが、上から見ますと、日本家が非常に多い。飛行機の上から縱に見ました時と、横から見ました時とは大分變つて來て居るやうに見えます。街路樹なんかは大體上から見ますと、さう大して綠に見えない。下の地面が透いて見えますから、綠の量としましては、非常に僅かなものであります。將來餘程空の交通量でも多くならなければ、空からの都市美なんと云ふことを言ふ人もないだらうと思ひますが、さう云ふ爲には餘程綠を多く使はないと間に合はないと考へるのであります。先程一寸音のお話があり

ましたが、私等商賣から見まして、音は餘り氣に致しませぬが、飛行場が餘り都市に接近して居つて、始終都市の上を飛んだりしますと、コースに當つた人の住民は割合に朝早くから起されるとか夜間飛行等の時には夜中に大きな音がして、目が覺めるやうなことになりますが、都市の中に含まれて居る飛行場と云ふものは將來交通量がうんと大きくなつた場合にはどうかと考へるのでありますが、結局大阪市の今考へて居られます大和川なんと云ふものは、さう云ふ點から多少宜くないのぢやないかと思ふのであります。杜撰な話でありますが、それ位のことで、後程又氣が付いたらお話を申上げたいと思ひます。

武田——有難うございました、次は廣告協會の八木さんに一つ同じやうな問題に付て……

八木——甚だ僭越でありますが、大阪の廣告團體、大阪廣告協會、大阪廣告研究倶樂部の代辯者として一寸氣付つた所をお話させて戴きます。美觀地區として大體に於て鳥井さんのお出しになりましたパンフレット「明朗都市の建設」は非常に結構だと思ひまして、出來るだけ早く之を實行して戴きたいと思ふ者でございます。併し廣告の制限に就いては當事者として多少の意見があると思ふのであります。何時も能く申し上げることでありますけれども、外國はどうか知りませぬが、日本では廣告と云ふと何だか厭がられる嫌ひが一寸あるやうでありまして、廣告と云ふと、直に醜惡だと云ふやうな考へを持たれるのが非常に多いやうであります。それは一例を擧げますと明治初期以來餘り上手でない、汚い時々新聞紙上で見ますやうに、黑に白抜きのデカデカとしたやうな汚い廣告、ドギツイ廣告を見慣れて居られるので、さう云ふことになるのだらうと思ひますが、外國の雜誌とか、外國の新聞等を見ますと、非常にデリケートな、日本人の我々が見ますと、一寸間の抜けたやうな廣告が多いのであります。所で、先程藤原さんがお話されましたやうにネオンサインの話に移りますが、ネオンサインも此の頃は街の寵兒とか言うて、非常に都會では澤山使はれて居るやうでありますが、この前商工會議所で矢張り「美觀地區と廣告」に就いての座談會の時に一寸お話致しましたが、例の世界の美觀地區の模範であり、世界の遊覽都市であり、享樂都市の代表である所の巴里に於て、あの世界の名物である所の巴里のエツフエル塔が、最近はネオンサインではありませんが、普通の電飾ださうですが、そのエツフエル塔が廣告に依つて電飾されて居り、確かシトロエン自動車の廣告ださうですが、千尺餘もある、あのエツフエル塔が全部廣告で電飾されて居るので、非常に電燈料が掛かつて、流石の大廣告主も毎晩電氣を點けると迚もやり切れないので、一週に二回、水曜と土曜日とかに點ける、其の時は巴里の市民は勿論のこと、世界旅行者つまりエトランゼがこれを見に行く、或は巴里の婦人や子供達が外國から來たお客さんに、今日は水曜日だからエツフエル塔に電氣が點く、あれを見に行きませうと云つて伴れて行くと云ふやうな譯で、巴里の名物であり又世界の名物になつて居る。其のエツフエル塔が實に廣告に依つて電飾されて居る。私は東洋のマンチエスターと言はれて居る世界屈指の大商工都市である所の大阪の美觀地區は勿論のこと、大阪の玄關驛前とか、或は水都大阪を代表する堂島川の沿岸とか、或は中之島公園のあの眞中邊りにでも、さう云ふ風な立派な電飾が一つあつても、それが醜でなかつたならば差支ないのでないだらうか、是は或は極端な我田引水であるかも知れませぬが、廣告必ずしも全部が醜でないと云ふ觀念を養つて頂きたいために一言申し上げて置きます。

それからもう一つは美觀地區も各國に依つて各々個性を發揮してはどうか、例へば巴里の美觀地區或は倫敦の美觀地區、紐育の美觀地區、伯林の美觀地區、大阪の美觀地區が皆同じやうな一つの形態を辿つて居て、先程もお話がありましたやうに、廣路にはプラタナスを全部一樣に植えると云ふやうな、模倣と申しますか、世界共通的な美觀地區では面白くない、巴里は遊覽都市であるが、大阪は商工都市である。能く會議所の方々が洋行されて歸つて來られた人の話に依りますと、同じ亞米利加でも、紐育の市街に入つた時と、市俄古に入つた時とは非常に感じん違ふさうであります市俄古にはネオンサインがキラビヤカに耀いて居て、旅行者にも此所は亞米利加の大商工都市であると云ふことを一寸入つた瞬間に思はせるさうであります。さう云ふやうな譯で、大阪も何か獨特な、それを象徵するやうな美觀地區を造つて戴いたらどうかと我々は思つて居る次第であります。それからこの間も商工會議所で中山さんでありま

したか、言つて居られましたが、成程美觀地區は結構でありますが、今、かりに都市を一つの建物として考へて見ます時、都市には商工都市とか消費觀光都市とかがありますが、建物には別莊もあり商家もあります。別莊の玄關と、商店の玄關とビルデイングの玄關とは自ら建築樣式が違ふでありませう。それと同樣に、商都の玄關と、遊覽都市の玄關とでは變らねばならぬ。大阪の美觀地區は商都大阪に相應しい美觀地區を造つて頂きたいと。それには今の大阪驛附近は非常に家屋が汚くて朽ち果てゝ居るやうでありますから、其の上に上つて居る廣告は種々雜多で、實に俗惡な汚いものであります。あれは實に見るに堪へないですがそれが廣くなりまして、三階建、五階建の建物がズラリと並びますとその建物にふさわしい廣告看板やネオンサインがそれに相應しく建設された場合には、實にさん然たるものでありませう。それを積極的廣告美とも云ふ可きものでありませう。そんな場合には先程もお話がありましたやうに、その廣告デザインを適當な公私からなる審査會に掛けて其の審査會を通過した立派なデザインを何千圓か何萬圓かを掛けて立派な廣告サインを作りその代表的な廣告サインを梅田驛頭に飾ることが出來ましたら、これ亦亞米利加の市俄古にも匹敵する東洋の大商工都市る玄關が出現、表現され、そしてそれは恥しからぬ大阪の美觀地區であり、而も其所には堂々と廣告が立派に並んで居るであらう所の都市が出來やしないかと思ふのであります。それと此の間も一寸お話致しましたけれども大都市は、大都市ほど日本もさうですが、外國でも矢張り廣告が目立つて盛んであるさうであります。廣告の多い都市と云ふのが又言葉を換へて言ひますと、大都市であると云ふことにもなると云ふ結論にもなるのぢやないかと思はれます。まあ此の位の所で……

武田——有難うございました、今度は生田さん繪の方から見て大阪をどう云ふ風に綺麗にしたら宜いか少し美しい方から御話を願ひたいと思ひます。餘りゴチゴチして居りましたから……

生田——美觀地區と云ふことが出來たと云ふことさへも存じませぬでしたが、御案內を戴いて、皆樣に美觀地區と云ふものが決つたのですか、と伺つたやうな世離れのした暮しをして居りますので、偖てどう云ふ風にしたら宜いかと云ふことは分り兼ねますのですけれども、どうやら伺つて見ますと、美觀地區と云ふものは皆何階建かの西洋建築のやうに伺つて居りますが、あゝ云ふことは火災とか、盜難とか云ふやうなことには都合が宜しいでせうし、又住んで居る者も安心が出來て結構なんですけれども、其の洋館の間に、在來の木造建築等は迚も大都市には向きませぬでせうけれども、其の邊を少し考へまして、まあ武田先生にも御後援を願つて、日本建築の極く古い物で、さう美觀を傷けぬもの、さう云ふものがあつて欲しいと思ひます。この大道路を通つて見まして、假りに梅田から難波と言へば、さう長い道ではありませぬが、一樣に代理石か、色々綺麗なもので西洋館が出來るのでせうけれども、それが積み上げられて居るのばかり見て居りますと、何か窮屈のやうに感じます。其の間に大きなお宮さんのやうな物でも二十四間道路に沿うた所に一つあると大變柔か味が出來て宜いのでなからうかと思ひますさうして先程も私伺つて解つたのですけれども、街路樹は一樣に同じ物であると云ふことは餘りに變化がなさ過ぎるやうに思ひます。もつと花の咲く木も其の間にあれば、大變結構だと思つて居りましたが、それは出來難いと云ふことを始めて伺ひました。先程新野先生がプロペラが黑くなると言つて居られましたが、或時私が花鳥畵を描いて其の中に雀を描いて居りますと、京都から來て居た友達がそれを見て、大變黑い雀を描いて居りますなあ、京都の雀はそんなに黑いことはありませぬと言ふので、大阪の雀は皆斯んなに黑いのですよと言つたら、さうですかと驚いて居ましたが、花鳥畵を描く人は大阪に居つては困りますね、と話して居られました。もう少し何とか考へたら黑雀と云ふやうなものも無くなりまして、結構と思ひます。自分の仕事から編出した勝手な意見なんですけれども、さう云ふやうにありたいと思ひます。

武田——橋なんかに就いて何かお考へはありませんか？

小倉　橋梁なんかももう少し美術的なものがあつて宜いと思ひます。

生田　—川がもう少し綺麗でありたいと思ひます。

小倉——椎原さん、あの街路樹ですね例へば堺筋は靑桐にするとか、御堂筋はプラタナスにする

とか、さう云ふ個性を有つたものにする、この街は柳の通り、此の街はプラタナスの通り、さう云ふ風にする譯には行かぬのですか？　全部一様にされることは、遅ましい繁殖力を有つた物をやられると云ふことは分りますが、其の街の個性とか道路の表情とか、個性に應じて……

椎原——矢張りそれは考へて居ります。並木の配置圖が出來て居るのであります。さうしてこの街に植えるには何を植えるかと云ふことは今の配置圖と餘り差のないやうな場合は成るべく巧く色々な變化があるやうにと思つて其の配置圖に依つて今年の秋から來年の３月迄に植えるのが新しい道だけでも約7000程あります。それを其所へ相談しまして、これ迄はプラタナスであつたが、これは餘り長くなるから是から先きは他の木に變へやうぢやないかとか、この邊はどうもこの木は育たないからこの部分を廢めねばならぬ。斯う云ふ所は工場地帶だからどう云ふ樹木がうつるだらう。此所は川の側だから斯う云ふ樹木がうつるだらう此方は住宅が商店の中にぽつぽつ入つて居るから斯う云ふ樹木がうつるとか云ふやうに、其の地味場所、今迄あるもの、さう云ふことを參酌して計畫を樹てゝ居るのであります。マア成るべく樹種の色々なものを交ぜたいと思つて居るのでありますが、始め植えたものが何分プラタナスが多かつたものでありますから、この頃ではプラタナスを成るべく減して、他の良いものを以て補つて行かうと思つて居るのでありますが、どうも初めて植えた時にはプラタナスより他に實際苗も無かつたのであります。例へば神樹、これなども玆五六年は買はうと思つても苗が無かつた。昨年頃からぽつぽつ街に出すやうな苗が出て來て、今春も六百本ばかり植えました。今後は一つ出來るだけ色々な樹木を植えて見たいと思つて居ります。

小倉——いや、分りました。

武田——只今生田さんから建築のお話がありましたが、一つ建築家の方から、池田君何か御意見がありませぬか、無論ありませうが……

池田——建築の方からも何か言はなければならぬと云つて建築の方は餘り考へて居らぬのですが他の方面のことが能く目に着いて、自分の專門の方は目に着かぬので、少し御註文に反くやうですが他の事を申上げたいと思ひます。先程街路樹のお話が大分出て居りましたが、私共緑化と云ふことは非常に重要なことゝ考へて居ります。マア實際其の衝に當つて居られる方では色々のこともあらうと思ふのですが、私共素人から見ますると、どうも何處の街路樹も餘り離れ過ぎて居る。モウ少し喰つ着けて密生さして貰ひたい。無論今から十年も經つたら巧く行くやうになるのでせうが、成るべく初めから密生して居たら宜いやうな感じを有つのです。御堂筋でも芝生の所に灌木がありますが、我々の感じでは餘り少な過ぎる。混んで來たら後で除くことも出來るのですから、もつと間の空いて居る所へどんどん灌木を植えて後になつて段々よくなると云ふのでなしに、初めからよくなるやうな方法はないのですか。勿論費用の點もおありになり、永き將來をお考へになつた御計畫とは思ひますが、どうも私共のやうな氣の短い人間は全り永い先きのことより手つ取り早く好い感じを有たせるやうにやつて戴きたいやうな感じを有つて居る。それから能く時々齒の脫けたやうに枯れて脫けたのが長く放つたらかしてあるやうでありますが、あんなのは何か簡單に直ぐ代りを持つて來て植えると云ふことは出來ぬものだらうか。又家の前に水を撒くと云ふことが習慣であるやうに、何かの方法に依つて自分の店先の樹木には絶えず水をやらせることにし、若し其の木が枯れたやうな場合には、金を出させて植替へさせる詰り樹木保護に就いて家の者に責任を有たせるやうにしたらどうか、そんな詰らぬことを一寸考へて居ります。それから河岸地のお話がありましたが、是も色々府或は市邊りの財政上の關係でありませうが、少しでも土地が餘ると、直ぐ賣つて財政の方に向けるとか、小さな土地に塔見たやうなものが建つて見たり何かして、朝日新聞社の前邊りもあんな所は川端柳でも植えてソッとして置いた方が宜かつたのぢやないか。又橋の隅邊りに一寸出た所があると廢川敷地とか何とか言つて賣つてしまふ。それは府市の財政上色々の御都合がお有りになるのでありませうけれども、さう云ふ所こそ都市の美觀を保つ上に就いては當局のお考へ次第で自由になるのぢやなからうか。民間の方に都市美を御要求になるのも宜いのでありますが、寧ろ府とか市とかに於て率先して都市美の爲に色々なものを提供されることになつて宜いのぢやないか。一般の建築は民間の仕事になるのでありまして、それを美的にせよ、美的にせよと云ふこと

を要求される前に、寧ろ市とか、府とか云ふ當局の方でさう云ふことに對して充分な便宜を與へると言ひますか利用させると言ひますか、奬勵されると言ひますか、模範を示されると言ひますか、そんな風に成るべくやつて戴きたいやうな感じがするのであります。それから廣告の話が大分ありましたが、是が將來の大阪、所謂商工都市の廣告を如何にすべきかと云ふことが建築の美觀と云ふことよりももつと難かしい問題になるだらうと私共も考へて居ります。この方面の事は私は詳しくは知りませぬが、無論相當意匠設計等に意を用いて居られるのだらうと思ひますが、建築の方でもさう云ふことに就いては相當な手腕家の建築を要求することになると思ひます。それと同樣に從來の廣告と云ふものが、普通の看板屋と言ひますか普通の廣告屋と言ひますか、多くさう云ふやうな人達の手に依つて意匠設計がされて居ると云ふことが醜惡なる廣告ばかりが多くなる一つの理由ぢやないかと思ふのであります。眞逆か看板屋の書いた物を床の間に掲げることはない。それと同樣に矢張り都市の多くの衆人の目に映ずる所の看板廣告は優秀な手腕を有つた意匠設計を委囑されると云ふやうにしたならば、さう云ふやうな點も餘程緩和され得るのではなからうか、言ひ換へると美觀地區其の他の重要な建築は從來は普通の大工や本當の素養のない好い加減な建築家が眞似事をして居ると云つたやうなもので、相當な專門の建築設計が其の事に當る。或は廣く懸賞募集に依つて廣告を募集すると云ふやうなことで、其の意匠設計に對して相當な注意を拂はれるならば餘程さう云ふ點も緩和し得るのでなからうか。無論形、色、高さ、場所、周圍の關係、色々なものに注意すべきでありますが、それ自體に就いて私さう云ふ風な感じが一寸起るのであります。併しこれも私如き門外漢が斯んなことを申さずとも、從來既に業に優秀なる意匠設計家に依つて出來て居るのかも知れませぬ。それであれば私の不明であつて詰らぬ暴言を申したことを取消さなければならぬのであります。それからもう一つは廣路邊りには或は出來ぬか知れませぬが、他の部分で能く出來て居るものは道の所へ日覆のやうなものをやることになつて居りますが、あゝ云ふものはどう云ふ風になるのであらうかと云ふことも、マアそんなものは出來まいと思つて居りますけれども、あゝ云ふものが必要に依つて出來て居るのなら、どんな風になるのであるかと云ふことも考へるのであります。それからして街燈のやうなものでありますとか或は電柱のやうなものでありますとか、あゝ云ふやうなものに付て一つ皆樣のお考へを私は拜聽したいと思ふのであります。同じ美觀地區と言つても、今日定められました美觀地區の中でも是は必ずしも平等に行くものではなくして、其の部分部分に依つて程度或は種類と云ふものが變るのだらうと考へまして、先刻も中澤さんからお話があつたやうに、或る地域を限つて高さの制限をすると云ふ御研究があるとすれば、或は高い物も出來ませうし低い物も出來て來るかも知れませぬ高さの制限の無い物も出來て來るのでないかと考へますので、是等はそれそれ決つて來ましたら、又部分部分で色々な趣きを現し得るやうなことになるのであらうと思ひます。先程島井さんから、今の所では極く必要なる部分だけに止めてある、斯う云ふお話でありましたが、私はもつと美觀地區と云ふものは區域が廣くなつて宜いのぢやないか、美觀地區の程度と云ふものは必ずしも或る一つの程度ではない。同じ美觀地區の中にも色々の程度を私は考へ得るのぢやないかと思ふ。さうすれば今のは所謂第2次的の美觀地區と云へるかも知れませぬが、第2次的、第3次的と云ふやうな風にもつともつと美觀地區の範圍と云ふものは廣くされて宜いのぢやないか、斯んな風に考へるのであります。又先刻都市美委員會と言ひますか、何かさう云ふやうな審査機關が出來たらと云ふお話がありましたが、是は大變結構なことだらうと思ひます。黑い雀の話もプロペラの黑くなつた話もありましたが、これは御尤もでありまして、近頃餘程よくなつて來たのも知れませんが、この煤煙防止と云ふことは都市の美觀の上に於ては最も重要な地位を占めて居ることゝ思ひます、折角立派な建築が出來ましても、直ぐ煤けてしまつたりこの頃は川の曳船なんかも餘り煤煙は出さないやうになつたかも知れませぬが、それはあゝ云ふものが原因になつたこともあります。洵に取止めのないことをごたごたと雜然と申しましたが、今の大阪をもつと美觀的にしやうと云ふことに就いては其のデーターが非常に雜然たるものでないかと思ひますが、寧ろ狀態も雜然として居るので、私のお話も何だか取止めのないごもくを並べたやう

なことを申上げて大變失禮いたしました。

武田——葛野君何か一つ……

葛野——何か話せと云ふ御註文でありますが、自分の仕事が忙しいので、都市美と云ふことを平常から餘り考へたことがない。又汚いと云ふことは餘り感じない。今のお話のプロペラや雀の話を伺つて、成る程大阪の空氣が汚れて居ると云ふことを今更の如く感じ、これぢやいけないと初めて自ら感じた譯でありますが、どうしても都市を美しくしやうとするには、斯う云ふ現狀ではいかぬ何とか之を美しいものにしやうと云ふ市民全體の自覺に俟つべき所が非常に大きいと思ひます。何れにしましても、最近美觀地區と云ふものが制定されまして、追々取締の方針も當局の方でお定めになると云ふことは、都市計畫、市街地建築物法と共に非常な進歩でありまして、結構なことゝ感じて居るのでありますが、今池田君が言はれたやうに私共も矢張り此所に指定されましたゞけで、これで宜いと云ふのではなくして、丁度防火地區にも甲種、乙種と云つたやうな色々種別的な性質があるやうに、美觀地區にも色々其の地帶々々に依つての性質が自ら變るでありませうが、甲種、乙種丙種、幾らかさう云ふ區分があつても宜いと思ひます、又さう云ふ意味に於てもつと地區を擴めて全體的に考へられる必要が遠からずあるのぢやなからうか、只今では、先程もお話がありましたやうに、主として中心地帶、及び各郊外電車の方面が定められて居りまして、築港方面が脫けて居りますが、築港方面も矢張り大阪の玄關であることは勿論でありますから、さう云ふ方面の美觀と云ふことも先づ第一に考へなければならぬものぢやないかと考へます。殊に大阪は水の都として、昔から河川が縱横に流れて居る。非常に水と綠の深い都市でありますから河岸緣一帶の美化、と云ふやうなことを全體的に考へる必要がありはしないかと思ひます。先刻池田君が言はれたやうに、川緣で隨分見苦しい所もあり、府市當局の僅かの御注意で美觀を保つことが出來るやうな場合も多々あらうと考へます。殆どさう云ふことを考へられずに單なる府市の經濟上の都合から僅かなことでお賣りになつて、其所に如何はしいものが建設されたり、或は廣告其の他に利用されて、寧ろ美觀を害するやうなことが多々あるのであります。さう云ふ點が一層注意することでありはしないかと感ずる次第であります。私は餘程前から大阪に住んで居りますが、先刻誰方からかお話があつたやうでありますが、ずつと我々の幼年時代には川緣には矢張り柳がありまして昔流の橋が架り其の下に浮世繪に畫いたやうな屋形船が泊つて居ると云ふやうな風で、大阪市内、殊に大川筋一帶は非常にさう云ふ情緒があつたことを記憶して居ります今日そんな所を存置することは無理でありますが兎に角現代的にさう云つたやうな河岸を氣持の好い所にし、又電車から眺めても大阪としての一つの特色を感じられるやうにする。或は日本橋附近であるとか、あゝ云ふ所は何か特色のある美觀を有たせると云ふことを考へて見たい思ひます。又廣告のお話が出たのでありますが、廣告も私はネオンサインも或るものは宜いのでありませうし又場所に依つては高い廣告も宜いでありませう。餘り何も無いやうな街であつては、退屈で仕樣がない。時には刺戟があり、又變つたものがあると云ふことも街として大變必要であると思ひます、又街路樹のお話がありましたが、隨分市の當局でも街路樹の買入れなり、手入れなり、色々經費の點に於て御苦心の多いことゝ思ひますが、隨分枯れかけた街路樹がポツリポツリと並んで居る恰好などは寧ろ美觀ではなくして、何だか病氣の樹木が並んで居るやうで非常に嫌やな氣持を感ずる場合が屢々あります、是は決して當局が惡いのでなくして、矢張り大阪としては先刻來お話のやうに空氣が惡いとか、色々な點で街路樹が育ち難いと云ふこともあると思ひますが、必ずしも樹木ばかりに依らず。寧ろ建築的な工作物で造美觀を添へると云ふことも考へて宜いのぢやないか。例へば天王寺、中之島とか云ふやうな比較的空氣の好い樹木の能く育つ所は自然の樹木が結構でありますが、繁華な中心地帶で、態々樹を持つて來ても充分育たず、或は活き活きした樹の美しさを見ることが出來ないやうな所に無理に街路樹を持つて來なくとも、衢を飾るのに何か建築的なもので色々な考案がありはしないか、夏は日蔭になるやうに冬は暖を取るやうに、日光の直射を充分にするとか何か工夫がありさうに考へます。又廣場なり、廣小路の全體が色々樹木が並んで綺麗になつて居るのは勿論でありますが、神社などが所々にあると宜いと云ふ生田さんの御意見もあつたやうでありますが、矢張り街の所々に何か息抜きの出來る

一寸目を慰めるやうなものが纏つてあると云ふことも美觀の上から考へて、必要なことでないかと思ひます。そんなものが所々にあつても、矢張り小公園と云ふやうなものが必要ではないかと云ふやうなことを感ずる譯であります。建築としましては、要するに建築が良くなれば自然街も綺麗になるのでありますが、是も直ぐと云ふ譯には參りませぬ。都市美觀の上から建築の革新が自然に促されるやうになれば、我々と致しましても非常に結構なことであると考へます。マア一寸考へ付いたことを申上げます。

武田——恩田さん、御婦人の立場から御覽になつた所を一つ……

恩田　先達て外國の若い娘が私の所に飛び込んで參りまして、泣いて私に愬へたのでありますが、それは外國に稼ぎに出やうと思つて色々調べて見た所、日本と支那と亜米加とこの三つの國が稼ぎ易い所だと云ことが分つたので、何所にしようかと研究して見た結果、日本の富士山と奈良公園の寫眞を見て、この國こそ自分の住む天國であると云ふので來て見た所が、餘りに大阪の街が何所を歩いても非常に汚くて、小さい所に人間がウヨウヨ暮して居る。斯んな所だとは思はなかつたと言つて涙をこぼして居りました。初めて斯う云ふものでもあつたらと色々條件を擧げたのですが其の中に一つ取上げて申し上げたいと思ひますのは、氣持ち好く散歩する所が街にあれば宜いと云ふことです。さう言はれて見ると、成程私共も散歩したこともありませぬが、公園へ參りますと、公園の中には紙屑とか色々な物が落ちて居て非常に汚い、ドウゾ公園とか、あゝ云ふ大勢の人の通行する所は出來るだけ綺麗にするやうにしたいと思つて居ります。それには佛蘭西邊りのやうに公園に蜜柑の皮を捨てたりしたら飛び上る程高い罰金でも取るやうなことにでもして戴いたら宜いのぢやないかと思ひます。それから電信柱、是も見慣れては居りますけれども、それでも始終感じますのは、何と云ふ汚い物が立つて居るのだらと云ふことで大阪のやうな大都會では、矢張り歐米の大都會のやうに街には電信柱を立てないやうにして戴きたいと思ひます。それからもう一つ、これは私共が美觀の方面からでなく、別の方面からも今やかましく運動して居るのですが、芥箱の問題であります。これはせめて堺筋のやうな、あゝ云ふ大通りだけは汚い芥箱を道端に並べないやうにしたいと思ふのであります。2.3 年前に外國から來た人を2.3人連れて、堺筋を通つた時に、芥箱を見て、あれば何だと聽かれて、返事に困つたことがございましたが、今日は保健課の方は來て居られないやうですが、あの芥箱だけは道端に出さないやうにして戴きたいと思ひます。もう一つ始終感じて居ることでありますが、共同便所をもつと綺麗に立派にして戴きたいと思ひます。外から見た所ももつと綺麗にして戴きたいし、殊に中に入つた所をもう少し綺麗にして戴きたいと思ひます。本當に大阪の恥だと思つて居ります。今申上げたやうなものは現在何とか改善して戴きたいと思ふことでありますけれども、モツト積極的に當局なり市民なりが氣を付けて、モツト綺麗にしなければならぬではないかと思つて居ります。現在大阪の街の醜い廣告を除れとか、電信柱を除れとか言つてこれが行はれたとしても、餘り綺麗な街にはならないだらうと思ひます。もつと手を盡して綺麗にしなければならぬと思ひます。それは先程何方か仰つたやうに街路樹を澤山植えるとか云ふやうなことになるのですが、其の點は私共婦人の立場から數年前から木を植え始めました。私共大阪市内の公園に子供の手で以て草花を植えさせる運動を七八年前からやつて居ります。茲1.2年は一寸怠けて居りますが、毎年春と秋と大阪市内の幼稚園や小學校の子供に草花を植えさせることを婦人團體の力でやつたのであります。大人は分つて居つてもやらないのでありますから、幾ら言つても効果がないので、せめて小さい子供にでも斯う云ふ公共物を愛して、綺麗にするやうに自分で骨折ることを教へて置いたならば、大きくなつてから、今の私共が拵へて居る社會よりももつと住み良い、美しい社會を造ることに努力して呉れるやうと思ひましたので、私共が金を集めて、子供の手を借りて草花を植えたのであります。今殘つて居りますのは、あの中之島の公會堂から難波橋へ行きます間の高くなつて居ります道の兩脇の石垣が眞青に蔓花で蔽はれて居りますが、あれは私共が千圓程金を集めまして、植付けました薔薇があんなに蔓つて、春になると綺麗な花を咲いて居るのであります。まだ澤山彼方此方に植えたのでありますけれども、枯れて仕舞つたり、今はさう云ふ人がないかも知れませぬが、あの當時の話では

餘り綺麗な花を植えると、立派な服洋を着々紳士なんかゞ朝早くお盜みになると云ふことで、可なり悲觀したのであります。マア當局のお力なり市民の力に依つて醜い物を取去るばかりでなく、積極的に綺麗にするやうに努力したいと思つて居るのであります、一寸感じましたことを……

武田——有難うございました。今度は、木津谷君、先程から非常にネオンの話が出ましたが、貴方の方の立場から……

木津谷—— 都市美と云ふことに就いて特に考へたことはないのでありますが、先程來からのお話を承つても、又自分の方の所管でありまする電柱及びそれから人家に引かれて居る引込線が撤去さるゝ時代が來なければ、眞の美觀と言ふ譯には參らぬのだらうと云ふことも考へられるのであります。色々先程來から都市美に就いてのお話を伺ひまして、道路、橋梁、公園、其の他街路に沿うて居る建築物、又路面に立つて居る街路樹、電柱、街路照明燈、其の他廣告、看板と云ふやうなものが晝の美觀を保つ所謂本格的の都市美の問題になるのではないかと思ふのであります。夜の美觀と言へば、即ち我々が與つて居りまする電氣の照明と云ふものが之に加はるので、矢張り都市美の上から申しますと、第2次と云ふ譯でもありませぬが、詰り副的のものであらうと考へるのであります。其の意味から申しまするに、先程廣告協會のお方や、又堂ビルのお方からお話がありましたお說に私に大體賛成を致して居る者で、同じ意見を有つて居ります、ネオンが惡い、何が惡いと、申しましても、晝見た目が良く、又夜見た照明燈と共に俗惡でなければ宜いのでないか。外國の各都市の御比較論もありましたから、これは省いて置きますが、大阪が商工の大都市であれば、矢張りそれに相應しき玄關口とか、又臺所が必要であつて、自ら建築の樣式も變り、又其の他の物の取締り程度も違つて然るべきものではなからうか、又サインの如きも先程何方かお話がありました如くデザインとか、高さとか、意匠のやり方に依つて是は必ずしも醜でない、寧ろ美を添へるものである、京都の都市と大阪の都市とは自ら都市格が變つて居るのでありまして、それに相應しき建設物があつて然るべきものであると思つて居ります。マア斯う云つたやうなことで其の邊は仕舞つて置きますが、尙ほ電氣に關係ある方面に付きまして少し申して見たいと思ふのであります。路面にありまする電氣工作物を、需要の增加とか、又周圍の建築物との調和を圖るとか、或は柱の上の複雜を單純化するとか云ふやうな意味から段々地下に埋沒して參ると云ふことは、旣に其の計畫を樹てゝ着手實行を致して居るのであります。皆樣はお氣付きにならぬかも存じませぬが、心齋橋筋或は千日前の一部、又今度擴がつた御堂筋の 24 間道路の廣路等は全然柱を立てゝ居らないのであります。又出來得る限り今申した理由で段々地下に埋めて行かうと思ふのであります。併しながら在來の形から直に之を地下埋沒すると云ふことは非常に困難なことがあるのです。現に柱の上の皆樣の目障りになるかも知れぬと思ふ變壓機の數を段々減じ、又引込の數を技術上特殊の方法に依つて減じて參つて居るのでありますが、さうして全然この柱を無くしまするに、別にタワーを造つて變壓機を纏めなければいけないと云ふことになるのでありまして、これ等も目障りな黑いものが立つことになります、即ち心齋橋を一町程北へ參り西に廻つた所に變壓機塔が立つて居りますが、斯う云ふ所へ纏めなければあの柱を取ることが出來ないと云つたやうなことになるので、御堂筋の如き大々的の廣路に柱を無くすると云ふことになれば、變壓機の地下室と云ふものが出來まして、地下に埋沒する計畫になるのでありますが、これもさう云ふやうな譯でありますから、昔から發達して居りまする街で、直に地下にそれをやつて行くと云ふことは、金も許さず仕事も困難であり、又それだけ手數、時間が掛かると云ふことになるのであります。梅田から難波まで地下に致しまするに、其の金はざつと百萬圓であります。さうして沿道の需要家に引込むと云ふ時には、又其の上に金が掛かるのであります。殊に大阪の地下の地質は他の 6 大都市に比して非常に惡いさうであります。34 尺掘れば水が出る。電氣と水とは相反する仲でありますから、隨つて工事上の特別の技術、或は材料が要るので、特別の金を使はなければならぬと云ふやうな、色々の經費を伴ふことを申し上げて置きます。

それから今一つ私は建築物を統一して戴きたいと云ふ考へを有つて居るのでありますが、それはどう云ふ所から申すかと言ふと、現に私共の電氣事業は年に 1 回づゝ定期檢査を行つて、可なり嚴

重な取締規則の下に營業を致して居るのであります。それ故に假りに需要家に引き込みまするにしましても、法の定むる所に從つて、適當な間隔を保ち、調和を考へてやつて居ります。それが時を經るに伴はれて、知らぬ間に亞鉛屋根が突出でたり、物干が出來たり、又屋内工作物にしましても勝手に取除けて押入になつたり、土間になつたり其の時に電氣工作物が勝手に觸られて居る。と云ふことがあるのみならず、屋根が傾いたり、塀が倒れたりして電氣工作物が毀損されて居ると云ふ實例が多くあるのであります。さうして私共が最初建設した當時から段々年を經るに伴れて、向ふの側から電氣工作に接近して來るとか、毀損されると云ふ實例がある。而も我々は年に1回檢査を受けて居るが、家屋の方は檢査を受けて居られぬと云ふ譯であります。さう云ふ狀態でありまして建築物の高さとか、屋根の出張りとか、色々なことも是亦統一をして戴くことも美觀向上の一原因を爲すのではあるまいかと考へたので、申し上げたのであります。それから看板のことでありますが、この取締規則の中に取附けの方法とか、强さを保つ規定とか云ふものがないやうに思はれますこれ亦屋根が傾いて其の强さが保たれてない爲に看板が落ちた場合、電氣工作物が損められるのであります。で、これ等も矢張り取締の中に入れて高さとか、大さとか、强さとか云ふこともお取締を願ひたいと思ふのであります。街路照明燈に就きましては、これは都市計畫では既に住宅と商業街燈と、總てさう云ふ街の性質に依りまして、種類を定められて居りますが、照明燈の形も追々一定されて參つて居ります。併しながら街路照明の目的が交通、保安維持、商業街にありましては、美觀の外に町の繁榮と云ふことを意味して居るので、都市計畫で定つた一定の規格を好まれずして街の色々希望が入つて、心齋橋筋の如く變つた施設が在來あるのでありますが、あの儘でドンドン行つては困ると云ふ所から都市計畫で、正規に定められて、それ以外の形はそれに依つて許されないことになつたやうに考へて居ります。其の他都市美を向上發達せしむる上に考へられる條件と云ふものは色々ありませうが、先程誰方か仰つたやうに、建築業者或は府市の方々がお寄りになつて、權威の有る委員會のやうなものをお造りになり、總ての事を合議されると云ふことは非常に必要なことでありますが、色々百般の事に就いて官民が相談して定め、定めた事は可なり尊重さ場れ合に依れば、法規の精神もそれに依つて更へられると云ふやうな位の權威のある一つの機關を設けて戴くことが宜いのではあるまいか、さうすることに依つて、例へば私共が電柱を地下に埋めると云ふ場合でも、一體地下には何が入つて居るか、この邊には水道があり、瓦斯管あり電信あり、電話線があると云ふ場合に、どう云ふ風にやつたら宜いかと云ふことは、其の關係業者が相寄つて、お互ひに相談し合つて將來の計畫を持ち寄つてやると云ふことでなければ、此方だけが下にやつたつて、なかなかうまく行かない。又現に地上に建設致しまするにしても、電車のサイドポール一つでも、街路樹が先きに定つて居つて、後からサイドポールを立てたのでは、美觀上餘り面白くない。街の美觀を考へたならば、先さにサイドポールを立て、或る間隔を以て後から街路樹を植えたら宜からう。斯う云ふものが一番目に着き易いから綺麗にして行く。併しこれも矢張り合議しなければ出來ぬことであります。又先程來街路樹のお話がありましたが、只今椎原さんのお話を聽いて、能く分りましたが、或はこれは出來ない御相談かも知れませぬが、私の年來からの希望としましてはこの中之島河岸地區と言はず、昔から長堀川の筋などには可なり澤山柳があつたのを、無くなつた儘放つたらかしてある溝川になつて居りますが、あの24間道路に難波まで櫻を植えて、櫻大通りと云ふものを拵へて貰へまいか。又プラタナスでなく、確か三品取引所の周圍の所に楓がありますがあゝ云ふやうな所には、比較的丈の低い常綠樹を植えて貰ひたいと云ふことを常に思ふて居るのであります。冬枯れて葉が落ちて居るのも感心せず先程申されて居るやうに枯木が間に介在して居ることも餘り感心しないのでありますが、さう云ふ點に付きましては、或は植え難いとか、育ち難いと云ふことがあるかも知れませぬが、武田先生は御承知でありませう、伯林では住宅街の中央には綠樹地帶がありますが、多くは灌木の類で下が芝生になつて居ります。それ等のワン・ブロック毎に1人の掃除人を置いて居りますが、それは其の町の者が經費を持寄つて居るらしい。矢張りお金の力に依ることでありますが、先程も誰方か仰せられたやうに表を掃除をして水を打つ位のことは大阪の商家の習慣でもあるのでありますから、さう云ふ風にして其の櫻に肥をやるとか何とかして一つ相共に街の美觀を保ち、毎日齷齪と緊張した都市の人達の頭を幾らかでも和らげて行くと云ふ

ことが宜いのぢやあるまいか。東京邊りから歸つて參りますと、何だか實にコセコセと壓せられるやうな氣分になるのは、充分目を樂ませるものが無いからではあるまいか。詰らぬことを申し上げまして失禮いたしました。

武田——時間も切迫して居りますので一つ急いで小倉さん、どうぞ……

小倉——お出での方々から色々專門的な分野からお話になりましたので、從來餘り都市美と云ふことを考へたこともありませぬ私には非常に參考になりました。其の上に更に申し上げることはありませぬが、唯私は都市人として考へますのに郊外から大阪に入つて參りますると、大抵人家の裏を電車や汽車の窓から斜めに見下すやうな具合になつて、發着地帶の家屋が殊更に汚いやうな感じがします。殊に高い所の車窓から其の家の窓を通して住ひの内ら側まで見下せる、夏なんかは眞裸體で晩酌を一ぱい引つ掛けて居ると云ふやうな家庭風景を露骨に見せられたり、又蚊帳を吊つて女なんかが寢轉んで居るやうな姿も見るのでありますが、あゝ云ふ裏に面した家の間取なり、建築の樣式なりを少し考へて、電車から見下されないやうに、又見下しても餘りぼろを晒さないやうに建築の取締を嚴しくやつて戴いたら非常に宜くはないかと思ひます。中心地帶の中之島なんかを見れば、大阪は如何にも堂々たる洗練された都市であると感じますが、電車の發着箇處が餘り汚穢しいので、其の建築樣式を何とかして、小さくても小ぢんまりした綺麗なものに直して行くやうにやつて戴ければ結構だと思ひます。それからもう一つは大阪は一面に於て非常に素晴しい躍進を遂げて居る近代都市であり、殊に商工都市として廣告の如きものは重大な意義を有つものでありますし、ネオンサインとか電飾のやうなものは成るべく盛んに私はやつて貰ひたいと思ひます。勿論俗惡な低級な廣告は宜しくありませぬけれども、ネオンサインなんかと云ふものは色々な光に依つて可なり美しい、如何にも近代的感覺を有つたものが出來上つて來るので、さう云ふもので盛に美化させて空間を彩る時に於て、我々は如何にも都會生活の新鮮な魅力と云ふものを感ずるのであります。殊に商工都市に於てはさう云ふものを廢すると云ふ方針でなくして、寧ろ出來るだけの範圍に於てこれを許し、成るべく藝術的な表現を用ひ、新鮮な感じのするやうにして行けば、商工都市として非常に魅力のあるものとして我々市民の目に映るのであります。それと同時に、又大阪は古い都でありますから、橋とか、お宮樣とか云ふものに對しては、成るべく昔ながらの面影を傳へたものも一部の地帶に殘して置いて戴きたい。天神橋とか、四つ橋のやうに餘り近代樣式にして、丸つ切り昔の姿と變つてしまつたものにしないで、縱令コンクリートにしても、例へば橋の欄干の如き何所となく昔の面影が殘つたやうなものにして戴いたら大變に結構だと思つて居ります。それから公園の問題で、色々樹木のお話が出ましたが、私は專門的のことは分りませぬが、大阪の公園には櫻が可なり植つて居ります。併しまだ櫻が少いと思ひます。新緑の中に櫻の花がぱつと薄繪のやうに咲いて居ると云ふのは大變によろしいのでありますが、櫻の種類は、櫻を研究して居る人の話に依りますと、大阪のは染井櫻と云つて、淡紅色を有たない、眞白な花で一時にパツと咲いて、直ぐに散つてしまふ、同じ散るにしても、吉野櫻のやうな山櫻は見て居つても非常に風致がありますが葉も無くして一面に眞白にぱつと咲く。染井櫻は吉野櫻と違つて、櫻の中でも一番下司ばい女郎の安化粧をしたやうな花であります。あゝ云ふものでなくして、もつと風致のある山櫻のやうなものを植えて戴いたら非常によくはないか。何所の運動場を見ても、何所の公園を見ても、眞白に塗り立てたやうで、香ひも何もない、私はもつと香ひのなある櫻を植えて戴きたいと思ひます。マアこんなことを始終考へて居ります。

藤原——末席から恐れ入りますが、一つショーウインドーの問題を考へて居るのでありますが、大體最近のメーンストリートのショーウインドーは大變立派になりまして、感心して居る譯でありますが、メーンストリートから一寸横へ入りますと、相當廣いショーウインドーに關しても全然考へないやうなことがあるのぢやないかと思ひます大阪の人達に聞きますと、店と云ふものは奥行を深くして、通路を狹くする程客が入つて物を買ふ通路を廣くして、奥行を淺くすると、どうもお客が物を買はないやうだ。と云ふことを言つて居りまして成程！心齋橋邊りを歩きますと、立派なショーウインドーを持ち、美事なデザインをして居る店には客が入つて居ないで、ゴタゴタと有るだけの品物を並べて居る店にはお客が入つて居るやうに思ふのであります。この點は役所でも恐らく取締れないだらうと思ふのでありますが、矢張り大阪人の頭を根本から叩き直さなければならぬの

でありますから、新聞社とか、商業會議所とか、商工課とか、市の產業部邊りが適宜にさう云ふ啓蒙運動を爲して、改めて行つたらどうかと思ふのであります、マア日頃考へて居る問題でありまして、御參考迄に一寸申上げて置きます。

椎原——街路樹の問題が今晩の話題の大部分を占めて居るやうでありますので、少し辯解がましいやうでありますけれども、簡單に申し述べます商店街の並木は、將來どうしても洋風建築のやうなものが多く出來て來るのであるから、成るべく成長したノーマルの形を有つたものが建築に能く合致するのぢやないかと思ひます。住宅街の日本建築の色々複雜な屋根のある所は楓とか、アカシヤとか、あゝ云ふ頭の柔いものが宜いのでないかと思ひます。それで商店街の方は主として剪定しても皮幹を損じないやうな剪定の利く樹木をやり成るべく形を揃へる。大きさに不同があつたら少しも美觀を添へぬ。例へば兵隊でも一人立たしたならば、決して美觀ではありませぬけれども、同じ揃つた服裝をして、同じ丈の高さの者が並んで居るから、美觀を呈するのだと思ふのであります並木も下枝を揃へ、高さを揃へたならば、そこで初めて美觀を添へる。距離も相當の間隔を保つたならば、横から見た時に並木がずらつと並んだのが能く分る。それで今の距離よりも狹くしたならば、個々の並木の新芽が出て、刈り込んだ時巧く揃はない。今年の堺筋の剪定の方法を御覽になつても能く分るが、アウトラインを全部刈り込んでズツと向ふ迄見ましても、個々の木が分つて、そこに美觀が現れて來る。商店街の人はあれでも非常に近くて廣告が分らないと言つて、大分文句を言つて來て居るが、あれ位の程度が宜いのでないかと思つて居ります。それから廣路の方は少し遠くありますが、これは中央の道路等は餘り剪定しなくても其の儘でやつて行きたい爲に、相當遠くやつて居ります。堺筋は歩道は僅かに4尺しかないから少し枝葉が伸びれば2階の窓に入つて來るので、それは剪定しなければならぬ。又上には架空線が澤山通つて居りますから、架空線の爲に高さが一定されて居る。夏になると、方々から架空線が損むから並木を切つて呉れとやかましく言つて來られる。極端な例を申しますと、其の脇に交通信號を立てた所が、其の交通信號が分らないと云ふので、或る警察の前に立つて居つたイテフなどは、相談をして下されば是は下から伐るのでありますが一途中からブツツリと伐つてしまつた。7尺位の所で下に枝の方が2.3本出て居る。御相談して下されば下からあつさり抜いてしまふのに、さう云ふ亂暴なことをされた所もあります。それから枯れた木を早く植えたらどうかと云ふことは御尤もな話でありますが、併し是は建築見たやうなものでなく、生物でありますから、さう何時でも植えると云ふ譯に行かない。多少融通は利きますが、大抵落葉木は葉が出て居る間は移植が出來ないものとされて居る。樹木に依つて多少そこに差はありますけれども、大抵落葉した時に植え替へる。それで肝腎の皆樣の目にも着き、夏の日蔭が欲しく、緑の欲しい時には植替へが出來ぬので遺憾に思つて居ります。それから櫻の話がありましたが、是も何だか反駁的になるやうですが櫻に就いて自から何千本と云ふ各種の櫻を養成して研究した人がロータリーで講演したことがあります。我々も其の話を聽けと云ふので、其の人を態々市役所に呼んで來て、其の話を聽いたことがありますが、其の時に今のやうな話も出ました。所が一番最後に大阪は空氣が惡いからどうしてもあれより仕樣がないなアと言つて歸つた例があります。實際この埃の强い、煤煙の强い所で、比較的道路に近い所は、壽命は幾らか短いか知れませぬが、まだあの木が一番丈夫であります。大阪城の前に大阪の婦人團體の人から櫻を300本ばかり寄附されまして、私は山櫻は壽命が非常に長い木であるから宜いと思つて植えましたが、同時に染井櫻も一緒に植えました。所が今殘つて居るのは染井櫻であつて、山櫻は殆ど殘つてないやうな狀態であります。それでもう少し離れた空氣の好い城北公園には各種の櫻を今植えて居りますが、彼處は非常に空氣も好く、地味も肥えて居りますから、どんな櫻でも相當成績を擧げるだらうと思ひますので、今城北公園は櫻の名所として行きたいと努力して居ります。それから家の前の木に水をやつて呉れと言ふと、どうもやり過ぎます。料理屋の前の樹木は殆ど枯れて居ると言つても差支ない位であります。能く御注意下されば分りますが小さな饂飩屋とか、壽司屋、或はアイスクリーム屋などの前の樹木は殆ど枯れて居る。是は始終木の根元に水を撒くと云ふよりも流して居るので常に根元には水が溜つて居るやうな狀態でありますそれから是は5.6年前だと私は思つて居りますが大きな建築をする場合には歩道の上に事務所を建てることを許されて居りますが、堺筋等でも大きな建築をする時に歩道の前に事務所を建てゝやつ

て居ります。其の度毎に其の下に植つて居る並木が3本か4本きつと枯れてしまふ。昔はそんなことは許されなかつたのでありますが、最近は許されて我々の方から見ると非常に迷惑至極であると思ひます。さう云ふ所でも使用しなかつたら仕様がないぢやないかと言はれゝば仕方がないことゝは思つて居りますが、隨分困つて居ります。

武田　－次には廣江さんに一つ……

廣江――私は耳の方を預つて居る者で、一向目の方は無關心ですが、只今都市美觀と云ふことで色々なお話を聽きました。皆樣の仰しやることは殆ど私は大賛成でございます。併し今度美觀地區をお定めになつたと云ふことに就いて、一體對象を何に置くか大阪を外國の都市と對照し廣告とか其の他色々考へて、大阪を化粧さすと云ふ意味であるか、大阪人が元來どう云ふものを要求するかこの對象を明かにして美觀的要素を決めなければならぬかと思ふのであります。丁度先年マルコニーが日本に參りまして、東京を經てずつと京都、奈良に來た。其の時に自分は誤つたことをした。關西から見て東京に行くべきであつた。東京は見るべき何物も無かつた。さうして京都、奈良に來て、大阪で何か見せて呉れと云ふので、何を見るかと云ふと、歌舞伎を觀ると云ふので、歌舞伎を見て、さつさと歸つて行つたのであります。この美觀地區をお定めになる區域内に於ても勿論さう云ふことが言へるのでありまして、大阪市の美觀市の美容を備へると云ふ上には、市の全體に及んで色々計畫すべきであると思ひます。先程誰方かのお話がありましたが、美觀區域に於ても矢張り多樣に考へなければならぬ。茲に統一と云ふことは劃一であつてはならない。統一は多樣の統一である。哲學的に、藝術的に之を統一しなければならぬと私は思ふのであります。必ず電燈は斯うする、或は廣告は斯うすると言つたやうな具合に決めるべきでなくして、多樣の統一にしなくちやならぬのぢやないかと思ふのであります。殊に川筋の方面に就いては私は何時も遺憾に思ふのでありますが、中之島邊りに就いてももう少し川に親しむやうな設備が欲しい。仙洞御所へお出でになつた方は御存じでせうが、堀に小さな石などを並べてシタシタ押し寄せる水を眺めるやうに出來て居る、ところがあの邊りではそんな氣持で水を眺めることも出來ない。英吉利のハイドパークにさう云ふ所があるのを見ました。川の水に親しむやうな設備をして、よしきりの鳴く所を拵へたり、或は菖蒲、杜若などの咲いて。る所を利用して、もう少し川に親しむやうな設備をする。殊に大阪の紋章は水に緣があると云ふことを考へると、もつと大阪の川筋を美にする必要があるのでないかと云ふことを考へるのであります。又先程街路樹のお話がありましたが、色々お話を聽くと、大變難かしいやうですが、もつと日本式のものを植えたらどうか、日本人は枯木を見るのは餘り好まない青々とした青山を見て居る國民でありますからもう少し常綠樹を植えたらどうか。御堂筋の櫻のお話がありましたが、私は彼處へ木犀でもずつとお植えになつたならば、香の都會を造ることが出來はしないかと思ひます。木犀は丈夫な木であります。少し日本的に固有な都市美を考へることが必要である。大阪風土記なんか誰も忘れて居るが、川筋には柳ありと云ふことは誰でも想像する。俳句なんかも能く出て居る。亭々たる大きな柳が葉を垂れて居るのは非常に風情があるものではないか。支那の石橋あたりには柳が多くて非常に面白い。もう少し周圍の模樣とか、氣候をお調べになつて木を植える必要がある。又常綠の木がない。秋になつたならば皆黄色い木ばかりになつて居るフランス邊りに行つて見ると、實に常綠の期間が長い。秋になつて黄色くなつてもなかなか枯れない。日本は少し黄色くなつたと思ふと直ぐ枯れる枯れた木を植えて居ては何にもならない。直ぐ枯れて仕舞ふやうな木が何所に美觀があるのであるか、寧ろ無い方が宜いのぢやないかと云ふ感じさへする。支那は隨分綠の期間が長い。日本は綠の期間が少い。で、常綠の木を植えると云ふことも一つの方法と思ひます。育つ、育たぬは知りませぬが、やり方が悪いのでないか。去年の風水害で倒れた木を見ますと、實に根なんか鉢植えのやうな木ばかりで、ゴロゴロして居る。根が育つて居らない、これは根に肥料が足らない。だから木が育たないのだらうと云ふ感じを有つたが、鉢に植えた木が引繰り返されたやうに根の無い大きな木が倒れて居ります。これは育ちが悪いのでないかと思ひます。よく繁つた街路樹と云ふものは電燈越しに見た時にも一種の色を宿して、非常に美しい感じを有つのでありますが、日本の街路樹は少しもさうした感じは起らない。リオンの街に入りますと、第一番に目に着くのは街路樹の綺麗なことであります。さう云ふ工合でありますから、もう少し街路樹に營養をやつて、よく木が育つやうにして欲しい。無論氣候の關係もありませう。日

本は非常に風が多く又寒暑の差が多い爲か、枝が多く鋭角になつて居つて、太い枝ばかりで小枝がざつとしか無い。イギリスの日本の領事館の前の木の枝なんと云ふものは非常にコンモリと繁つてフワツと下げたやうな葉が付いて居る。ずつと並んで居る樹木は、殊にさう云ふのが面白いので街路樹の木が透いて見えると云ふのは面白くないぢやないかと思ひます。又もう一つ考へたいのは、どうも日本人は靜かに散歩道を歩く氣がない。私は家族2.3人で散歩道を歩いて見ましたが、殆ど歩いて居る人が無いのであります。歩いて居れば忙しさうに道を歩いて居る人であつて、ベンチか何か腰掛があつたが、殆ど腰掛けて居る人はないと云ふのでありますから、立派な道路が出來ても日本人が本當に好むかどうかと云ふことも疑問である。併しマア外國人に見せても宜しいし、大阪の誇りにもなるので、さう云ふ道が出來るのは美觀上宜いのでありますが、元來日本の婦人は都會と田舍を問はず、家庭籠居の習慣があつて、或る意味に於て皆田舍者でありますから、若し出れば燈を慕つて心齋橋のやうな賑かい方面に出るので靜かな道を散歩しやうと云ふ婦人は割合に少い。又男は家に歸れば直ぐ浴衣に着換へて、一杯飮んで赤い顏になり、男が出れば燈を慕つて出で、女が出れば、灯影を慕つて出る。靜かな街を求めてベンチにでも腰掛けると云ふ者は殆どない。これは無理のない話だらうと思ふのでありますが、さう申ふ意味から考へまして、將來美觀地區をお定めになると共に日本的に施設をして、大阪市民が喜ぶやうに、又外國人が見ても日本的特色を感ずるやうにして戴くやうにお願ひをしたいと思ひます。それから物干でありますが、あれに襤褸を干したりするのは警察の力で取締ることが出來ませぬか、高い所から見れば、ずらつと源平の旗が飜つて居るやうなものがありますが、斯う云ふのも美觀と云ふ點から早く取り締らなければならぬと思ひます。日本では階上に花咲き、地上に花なし外國では地上に花が多い。櫻も幾らか植つて居るさうですが、私が歩いて見ても地上に花が少い。實に三日見ぬ間の櫻で、四月の櫻が無くなつてしまふと、ズツと都會には花がない。窓にも花がなければ地上にも花がない。實に乾燥無味なる都會であります。是等に就いても色々御研究を願つてもつと樹木を植えて住みよき大阪にして貰ひたいと思ふ、殊に一番大きな問題は煤煙を驅除することであります。是は此所に電氣の大將がお出でになりますが、電氣料をうんとお下げになりまして電氣を多く利用させて、煙を吐かぬやうにして貰ひたい。さうして大阪を煤煙から救はなければ、木も育ちませぬし、花も咲きませず、又雀も黑くなる譯であります。どうかこの點に就いて御注意をお願ひ致します。私は唯それだけのことを申し上げて置きます。

武田——次に松室君に一寸……。

松室——色々の御意見を拜聽致しまして、改めて申し上げることはありませんが、美觀を添へることの一つの手段として、極めて容易にして解決し易いことがありはしないかと思ひます。皆總てがさうではないかも知れませぬけれども、橋を架けて見ても、街路樹を植えて見ても、植えたら植えた儘、建築をすればした儘、滅多に修理をしない手入れを良くしない。私共經驗に依りますと、建築を良くすると、其の建築に就いては從來より一層掃除に注意をしなければならぬ。小使の手をお殖やしなさい、監視者を置きなさいと云ふことを學校なり、役所なり、又殊に病院等には喧しく說いて廻つて、其爲に經費を要求して、態々人を殖して貰つたこともありますが、さうすると稍々良好な狀態に保たれると云つたこともあつたのであります。然るに日本では餘りそれをおやりにならぬ。例へば倫敦に參りますと、冬になれば街路樹が煤煙の爲に眞黑になり、商店街の玄關先を女中が始終綺麗に掃除して居る。それで美觀と云ふことは見方に依りますが、私共の考へでは或る程度まで物が纏つて居りさへすれば、それで餘程氣持が好くはないか、例へば如何に顏だけ立派にしても、脚が跛であれば、決して其の人間は美人でないと言ふのと同じやうに、或る程度までは物が上から下まで纏つてさへ居れば餘程氣持好く見られるのでないか。大阪を悉く立派にすると云ふことは容易に出來ない。然らば或る程度まで手つ取り早く美しくする爲には、物を纏めると云ふことが大切でないか。其の方法としては總ての建設的の物に付て出來得る限り保存維持に注意を拂つて貰ふやうに皆樣が各々關係の人達に能くお話になつて、文化生活と云ふものは金が掛かるものだと云ふことを前提として、美觀維持に御盡力になれば洵に結構だと思ひます。

武田——それぢや大體一巡濟みましたから、今日は是で終りたいと思ひます、どうも有難とうございました。



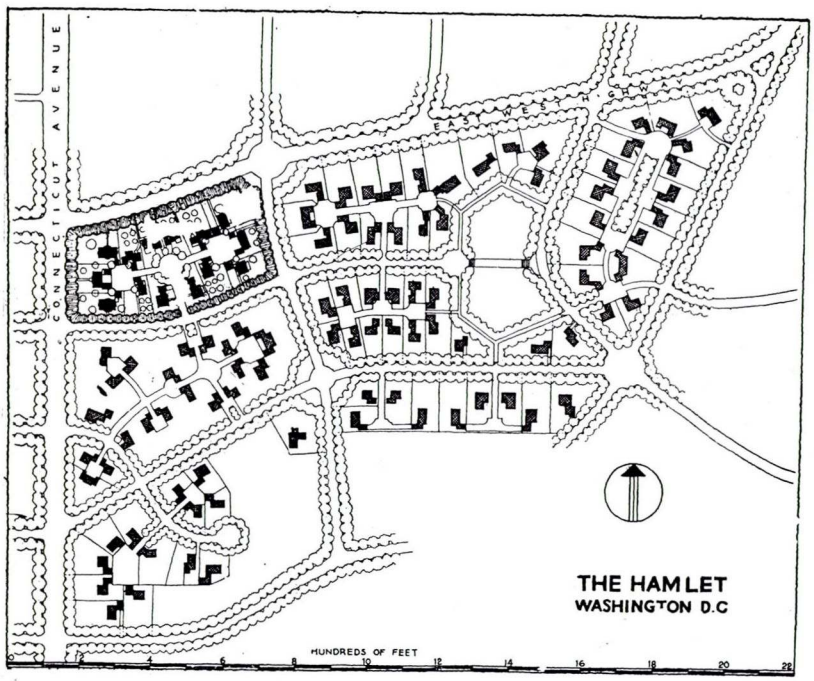
全景

オハヨー洲のシンシナチー市では、稠密せるウエストエンドに兒童慰樂遊戲場として、12エカーの土地を獲得し、本年(1935)の二月にそれが開園された。土地獲得に關する第一の階程は、1932年シンシナチーの慰樂運動場委員會の會長 Walter S. Schmidt 氏が Chesapeak 及オハヨー州鐵道會社へ土地の貸與方に就いて、無償提供を慰樂運動場委員會へ要求したのである。その爲め、會社の事務當局と市の事務當局とが、此の問題に就て様々と折衝を行ひ、最後に、借地權の調印が整つたのであつたが、當時財政的には可能ではなく、且慰樂運動場の監督として新しくダム・デーリング氏が任命されたので、Chesapeak 及オハヨー州鐵道會社の所有地12エカーを兒童遊園地に摘應すべき機會を捉へ得たのである。そこでたゞちに Robert Goodwin 氏に接近して行つたのである。彼は聽てそれを受け繼ぎ Hamilton county welfare Depertment の計畫へと働きかけた。そしてたゞちに失業救濟事業としての利用すべき必要を見出されたのである。當時此の土地は震災後の様に破壞されてあつた。

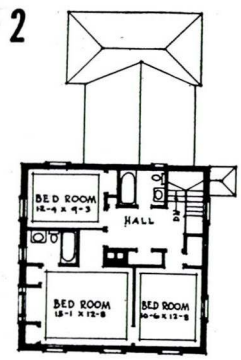
煉瓦や石の堆積物で一部分一部分地下室を埋め、又は崩壞物の廣大なる堆積等が非常な大量なる爲め多數の構造的工事を必要としたのである。そこで家族が失業救濟計畫に含まれて居る內の 550 人だけの失業者が、土地の取りかたづけをしたり或は遊園地築造の爲めに毎週二日づゝ仕事が與へられたのである。が然し是等の凡ての內で最も困難なる事は、材料及設備の使用料に對しての財源を得る事であつた。幾千弗と云ふ財源が此の工事を進めるべく作られた。然し此の財源は個人出資より得られねばならなかつた。と云ふのは、假令此の仕事は明かに幾年もの間利用されねばならぬ物としても借地權が短期間に限られて居つたからである。約8000弗の金が慰樂施設委員會によつて獲得された。之れは興行したり寄附金によつたりしたのである。が、その內 600 タイム(=60弗)は under privileged West-End に住んで居る市民によつて獻金されたものである。個人の所有地に敷地のある體育館を買收し且つ取毀し新しく地下室を再興したのである。シンシナチーのニグロの居住者の有志達により組織されて居る市民慰樂施設協議會は此の事業の爲めに 2,100 弗の財源を擧げた。建物の家具造作の据付に就いては女子の City-Club の內地人種問題委員會が寄附をした。之れに附加へて慰樂施設委員は運動場及附屬家の建築に就ては取毀しにより得たる故材の莫大な量を利用した。即ち幾千噸もの石材が土中より掘り出されそれは幾つかの遊戲場の傾斜(勾配)を附けるのに要求された壁を築造するに使用したのである。此の12エーカーの土地より取り出した約40.000本以上の煉瓦は遊戲場の設備に使用した。慰樂施設委員によつて被救財產とされてあつた舊 Twenty Eight School からの材料は此れが開發の爲めに使用し、學校のコロニービルヂングは體育館に合併されたのである。遊戲の施設には A クラスの野球場 1、普通の野球場 2、女子用としての野球場 3、及キツクボールフイルド1其の他パツドルテニスコート、バレーボールコート及蹄鐵形の小道幼兒用の諸設備及シヤワー等がある。鐵通會社によつて借地して居る12エーカーの土地は地價が尠くとも 1,000,000 弗を示して居る。Hamilton County Welfare Department の支給による勞働の開發事業費は尠くとも 150,000 弗の二倍を下る事はない。

(American City 誌より　龍井幸次郎)

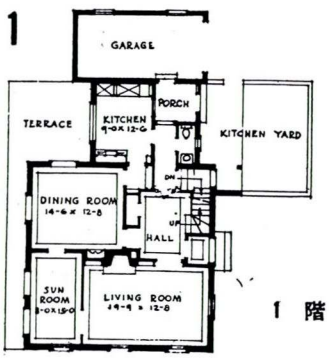
(アメリカ) シンシヤテイーの兒童遊園地計畫



住宅地計畫廓區第1號單位



2　階



1　階

1 對の住宅中1方の平面圖

ハムレツトに於ける住宅經營に對する一般の輿論の批評は下の2ケ條に要約し得る
1. 理論的には最善なものである。　2. 土地利用と云ふ點からは最惡である。

經營の會社　Chevy Chase 土地會社
社　長　エドワード・エル・ヒラー氏（彼は Conservative Union Trust 會社の副社長でもある）
最初の開拓者　上院議員のフランシス・ジ・ニユウランド氏
經營地の廣さ　1,800 エーカー（約 2,203,200 坪）
位　置　メリーラント、モントゴメリーカウチーへの北西の角地

此の經營地の特異性に就て社長 Hillyer 氏は次の如く云つて居る。即ち此のハムレツト・コンムウニチーはモデル住宅を僅かばかり建てる事でなしに全體的なモデルブロツクを建設することであると。

招聘されて來た建築家　Newland 氏同族の人達は現在尙此の Chevy Chase 土地會社を支配して居るので、Washington にも優秀な建築家が多數居るにも拘らず下記の建築家を他より招聘して來た。

Dan Kirkhuff 氏　ネバタ州の建築家　　Sharon Farr 氏　カリフオルニアバークレーの土地計畫家

住宅分讓に對する會社のスローガン　〃會社は只に住宅の敷地を分讓すると云ふことばかりでなく彼等が快適に生活し得る安住の所を讓渡するのである〃。

施設概要　各々の住宅敷地には風致計畫が施され各住宅毎に小ぢんまりと取圍んである洗濯場と、そして個々のテラスを有する 14 の住宅敷地の集團より構成さる。尙ほ敷地計畫上個人の廣い部分が中央に殘されるが之を Central area として共同空地への利便を與へて居る。

敷地上に建つ住宅は、反對側にある住宅と調和する樣に設計され、且つ附屬家のガレーヂはあらゆる場合客車又は配達用のトラツクの爲め、充分なる駐車場を用意し得る樣、相當廣いスペースを準備してある。

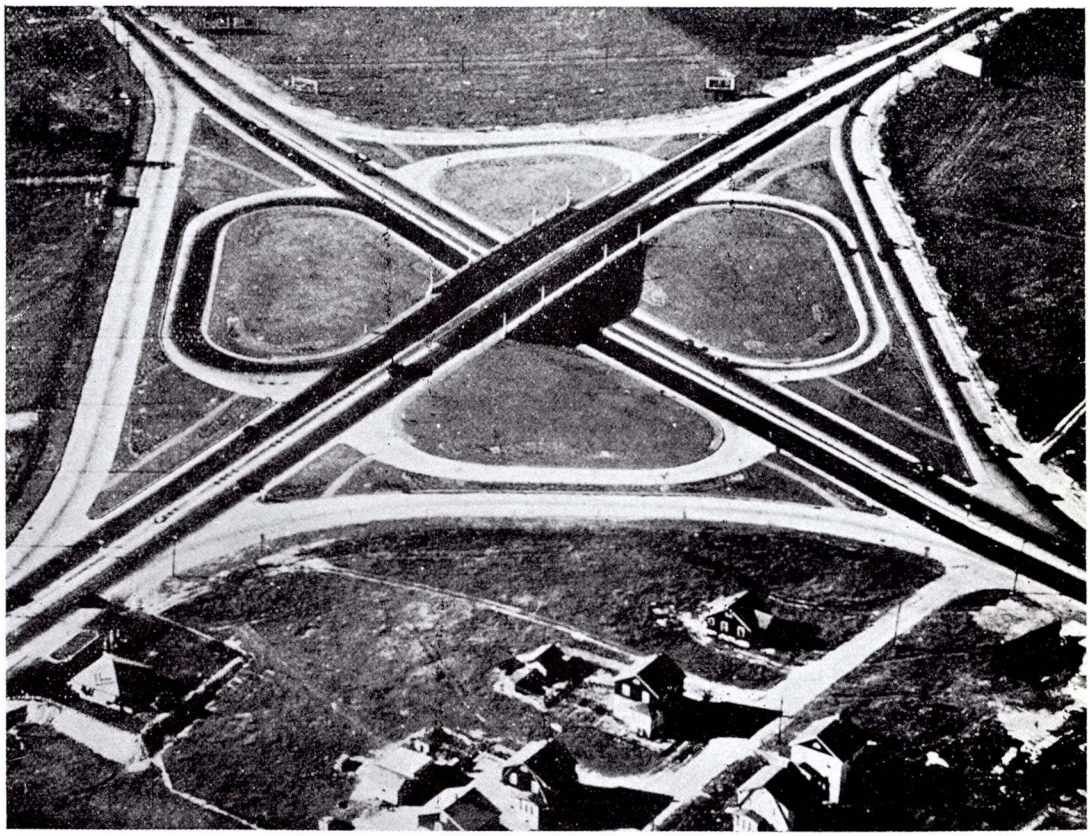
普通一般の住宅地に於ける住宅敷地の大いさは普通 100 呎×150 呎であるが、ハムレツトに於けるものは 70呎×120 呎程度に減じて居る。斯くの如く住宅と住宅が接近して居る樣であるが、平面計畫の愼重なる研究によつてプライバシーを保つことが出來、又道路に沿ふて住宅の後退の配置は、敷地境界の植込と共に統一のある起伏を造り、ワシントンが誇りを持つあの魅力ある都市景觀を形造ることが出來のである。

住宅1戸の讓渡費は 18,000 弗から 20,000 弗位として居るが、Hillyer 氏は以上の如き價格で全部の住宅が賣却し得ても會社は利益がないと云つて居る。現在建築された9戸の內8戸を以て1集團として居り、そして殘りの9番目のものは14ブロツクを漸次完成すべく他の6戸と共に1單位として集團を形成すべく工事着手されたのである。

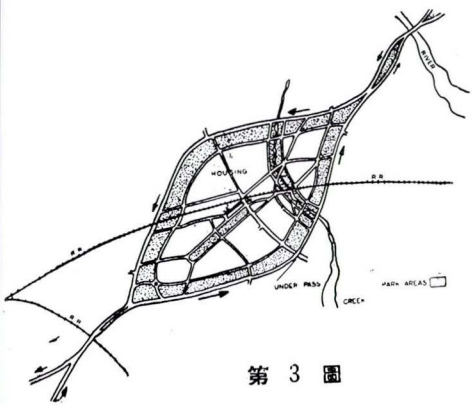
分讓住宅の內容　寢室 3、浴室 2、その外に電氣設備と冬期のエアコンヂショニング設備の完備した居間、食堂及臺所がある。或るものは、女中室とそれの浴室も附屬して居る。

本計畫に對する批判　多くの訪問者が此の雅趣あるノルマン式の門柱を2本持つ此の經營地へドライヴして來るのであるが、實際的に購買に關する質問者は極く僅かである。その缺點とするのは、平面計畫が優秀であると云ふことに無關係に、此住宅のグループに對して、20,000 弗程度の支拂を能力を有する人々は、此の單一式のブロツクが與へる何處か聯隊的編成（又は職工村）と云ふ感じを好まないのではないかと云ふことである。

（Architectural Forum 誌より　龜井幸次郎）



第 1 圖



第 3 圖

第 4 圖



現在の自動車の速度は高級車は別として、普通1時間40哩乃至60哩程度であるが、これを30哩乃至35哩位で運轉することが適當である。何となれば自動車用の道路そのものがその程度の速度に合ふ樣に設計せられて居るからである。60哩以上の速力に對しては道路沿の立派な立並木も、美しい芝生も・ドライブを樂しむ爲のカーブ等も必要はないからである。

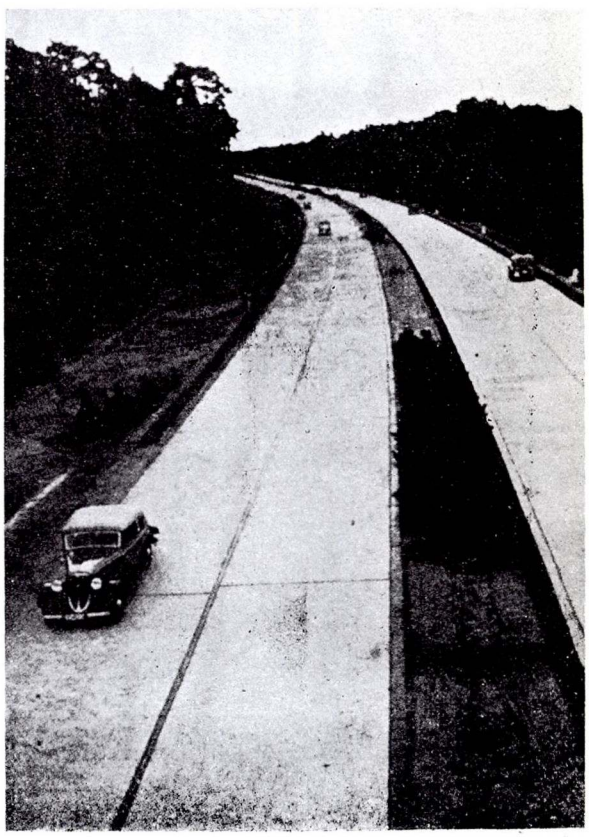
第1圖はアメリカのニュージヤーシー州ウッドブリッヂ附近のクロバー形の交叉點。

第2圖は獨逸のフランクフルトとダルムシユタット間の高速自動車專用道路。

自動車の正面衝突を避ける爲に、高速度用の道路では中央に並木又は芝生等を設けて往復の道路を區分する事が必要であるが、(第2圖はその實例である)その爲には第3圖のCharles Downing Lay 氏設計の如く市街の一部を挾んで往復の道路を區分する方法もあり得る。

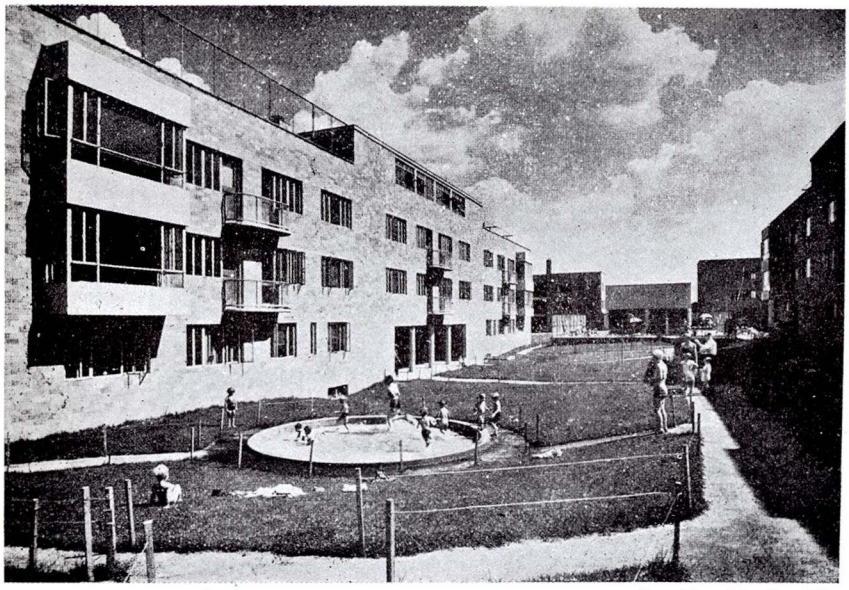
第4圖はやはり C. Downing Lay 氏に依る都市の計畫圖でクロバー形の交叉點を中心として新しい市街が如何に發展するかを示す。

(Architectural Record 誌より 新名種夫)



第 2 圖

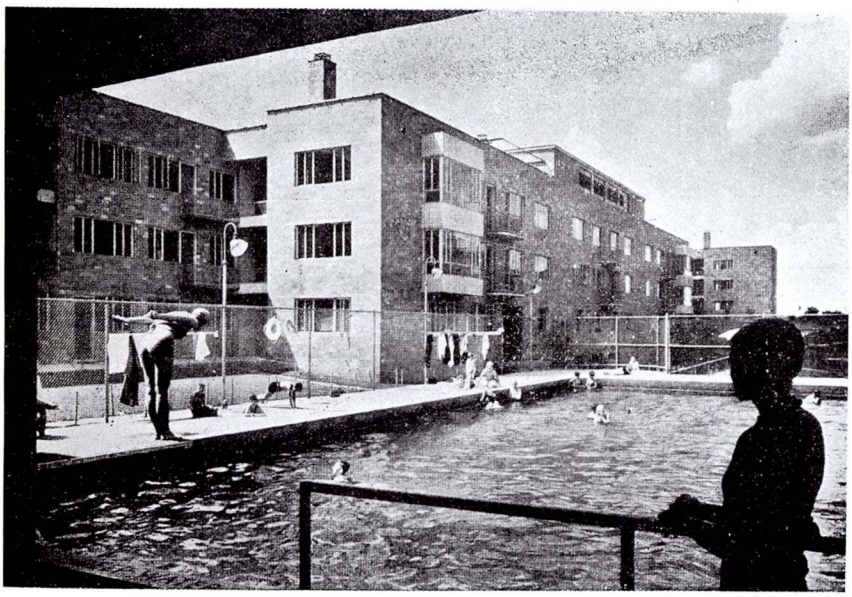
高速度道路設計の例



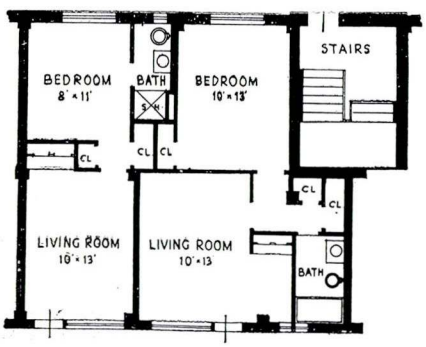
内庭側外観

フイラデルフイヤのメリヤス類工場労働者の爲に建てられたもの。工費豫算額 1,153,607 弗。480呎×490呎の敷地の中に奥行30呎、長さ480呎、3 階建のものが4棟建てられて居る戸數284 戸で室の數は 1,085室である。5室のもの1戸の家賃月52,5弗、2 室のもので27弗乃至30弗である。建物は鐵筋コンクリート造、窓はスチールサツシユ、床はアスフアルト・タイル仕上、各戸共電氣炊事器具の設備あり。

(Architectural Record 誌より　新名種夫)



プール側外観

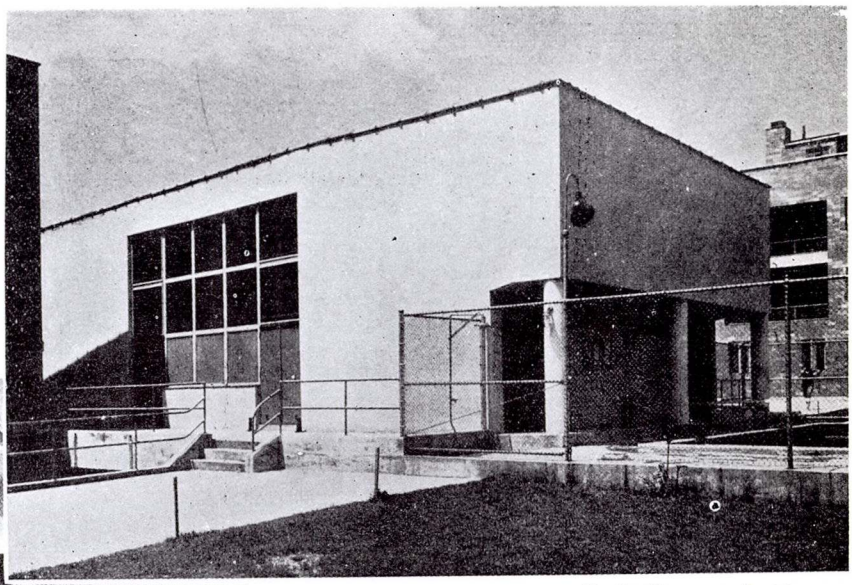


2 室及2 室半のアパートメント平面



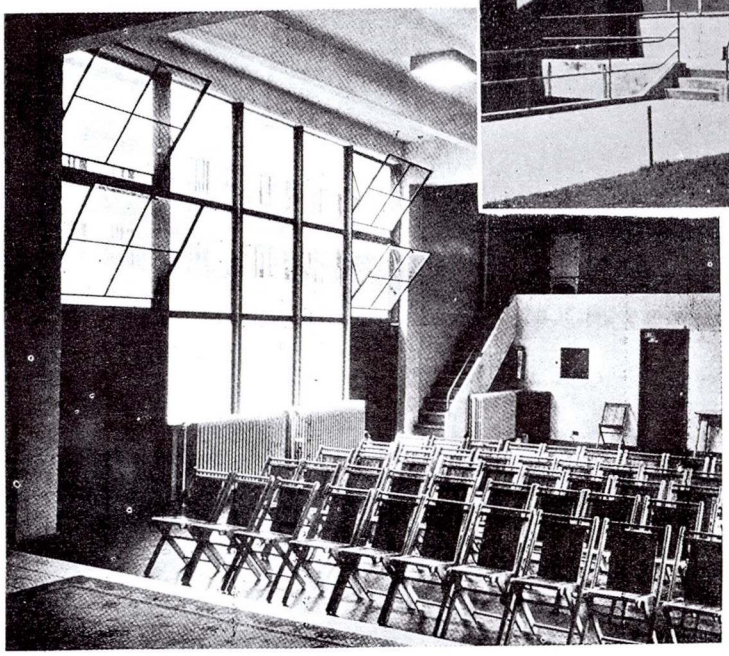
4 室のアパートメントの平面

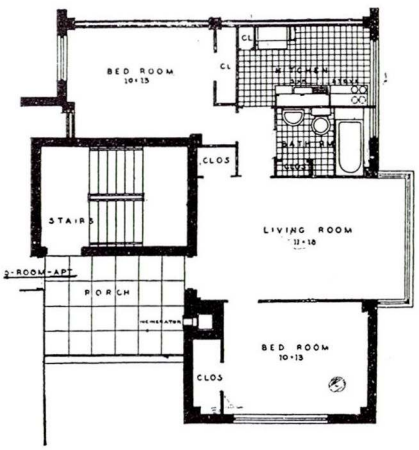
174　(アメリカ) フイラデルフイヤのチヤニタ・パークの共同住宅群　建築家 W. Pope Barney 氏監督の下に施工



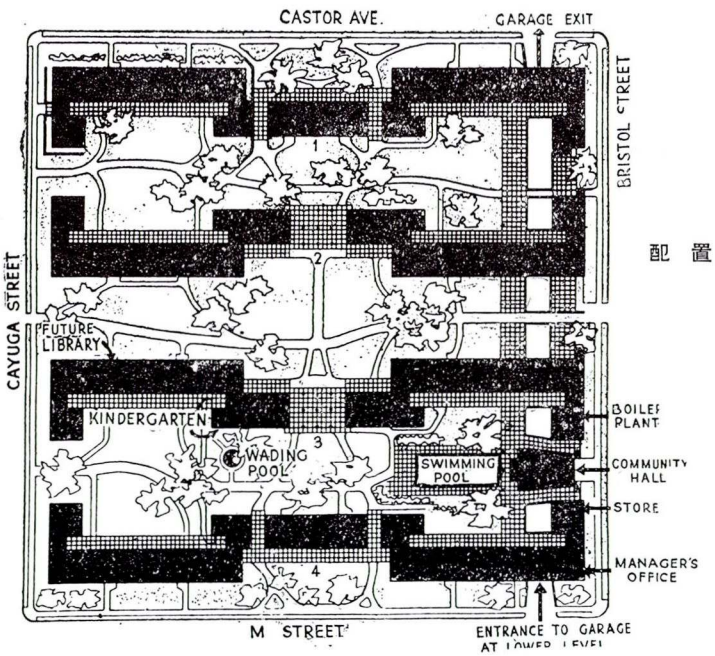
集會室への入口

集會室内部

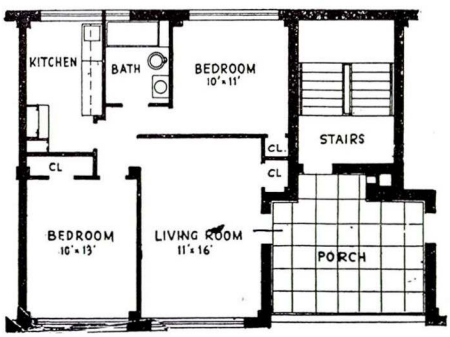




特別4室アパーチメント平面



配置圖



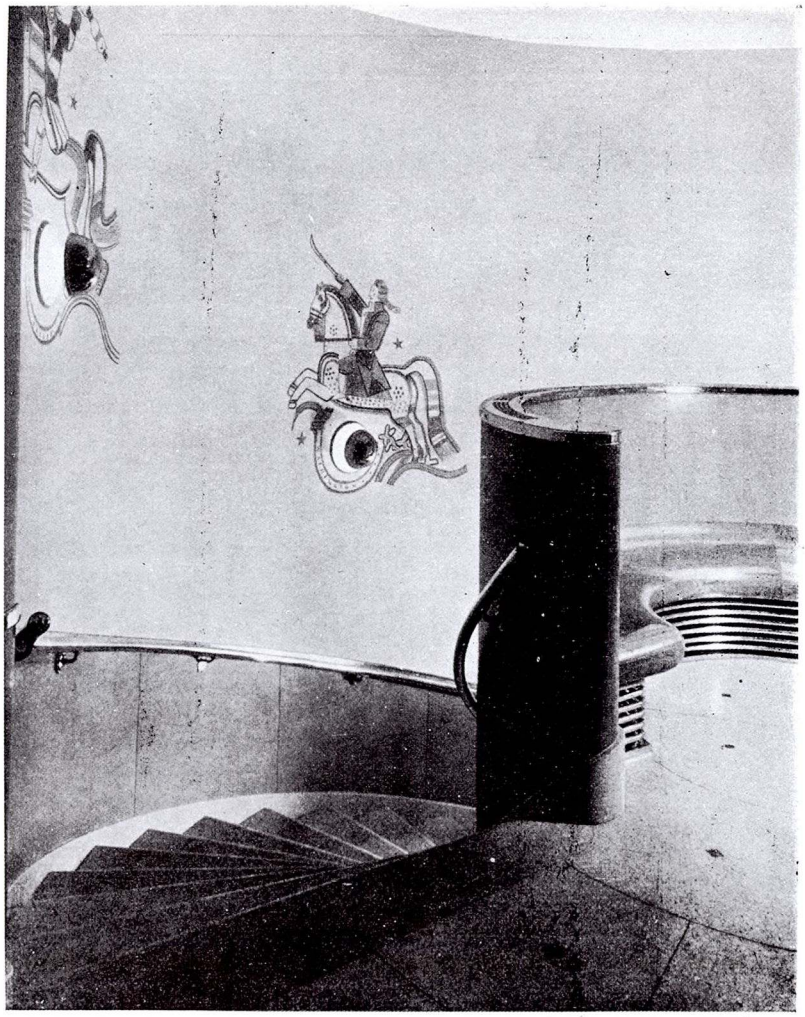
5室のアパートメントの平面

(アメリカ) フイラデルフイヤのチヤニタ・パークの共同住宅群　建築家 W. Pope Barney 氏監督の下に施工

國際新建築



ランチルーム



廻り階段と壁畫

シカゴに於けるレストラントで最新式且つ現代的な建築的を修めて居るのは、Field Building の主要階と下部のアーケドにある Eitel 兄弟のヤンキーグリルである。

設計者はグラハムの Alfred Shaw で、Probst 及 White の兩氏がアメリカの主色として、赤、白とブリューを選色し且つヴニスのバロツク式の現代調を應用して完成したものである。かゝる扱ひ方の結果2つの階を繋ぐ廻り階段のホールの壁體に Washington と Paul Revere の華美な馬上姿の繪畫を Edger Miller 氏によつて描かしめたのである。此の愛國的なモーチフが更にオイスターバーに、國旗、星及飛躍して居る鷲等を照明器具にあしらはしめ、女給にすら White and blue のコスチユームを着せて給仕せしめたのである。此のレストラントは、朝食から、派手な裝飾を施したる個人のデナーパーチーにまで、あらゆる種類のものにサーヴイス出來る樣に計畫されてある。食堂部は主要食堂、マリンルーム、グリル、御手輕料理場、オイスターバー、ランチルーム、プライベートルーム 2、座席(1人用) 30、其の他60より構成されてゐる。最後の2つは互に連續して1つの大宴會場になることも出來る。此のレストラントの總座席收容力は約600人である。



グリルルーム



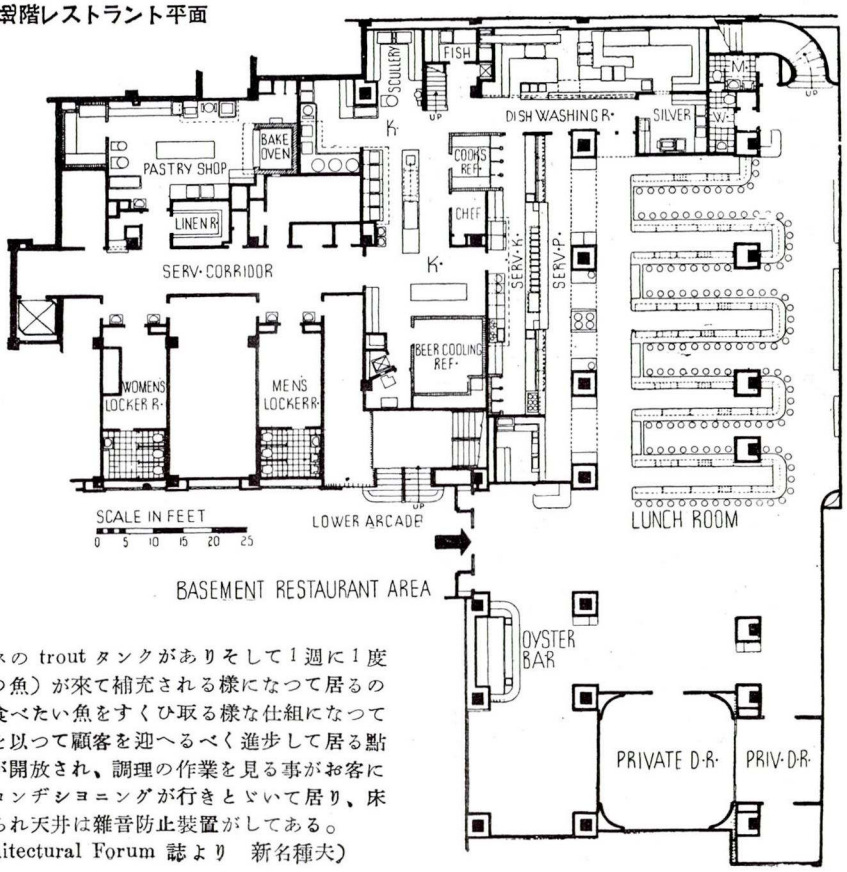
オイスターバー

'76(アメリカ)

シカゴの Eitel Field Building に於ける レストラン ヤンキー・グリル

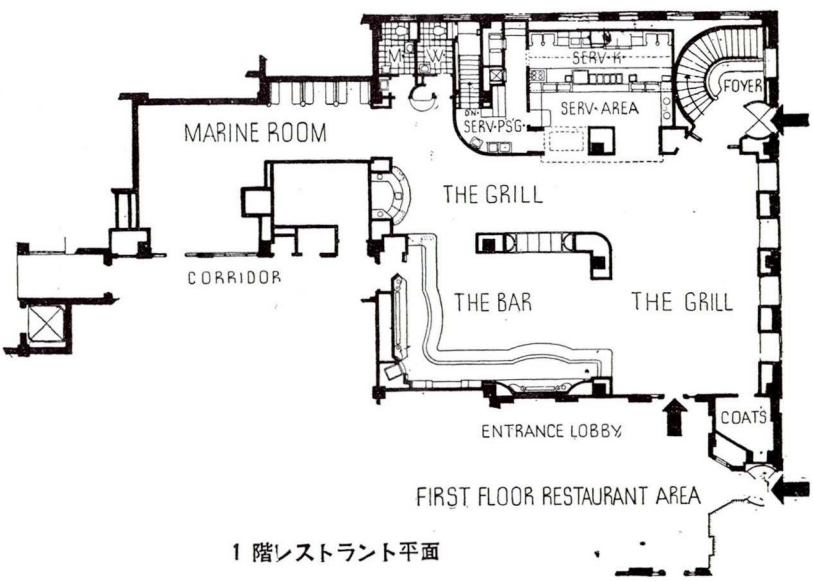
建築家 Alfred Shaw
施工者 George A. Fuller
畫 家 Edgar Miller

第2地階レストラント平面



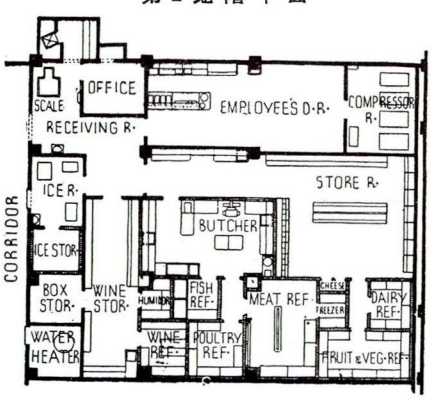
階上のグリルと御手輕料理場の間はガラスの trout タンクがありそして1週に1度ウイスコンシンから game fish（遊戯用の魚）が來て補充される樣になつて居るのである。此處には常連が來て網で彼等の食べたい魚をすくひ取る樣な仕組になつて居るのである。此のレストラントが自信を以つて顧客を迎へるべく進歩して居る點と云ふのは、グリルのサーヴスキチエンが開放され、調理の作業を見る事がお客に許されて居る事である。各室は總てエアコンヂショニングが行きとゞいて居り、床は磨タイル、壁は防音タイル等が貼詰められ天井は雜音防止裝置がしてある。

（Architectural Forum 誌より　新名種夫）



1階レストラント平面

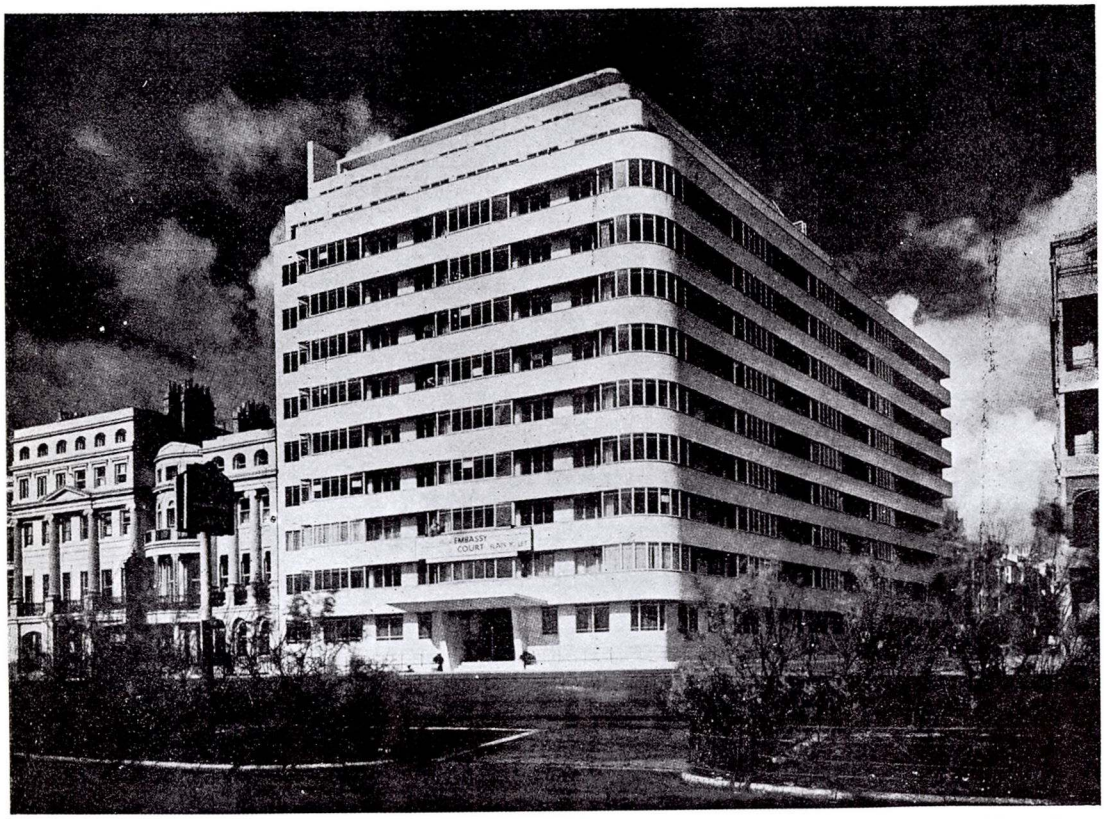
第2地階平面



（アメリカ）　シカゴの Eitel Field Building に於けるレストラン　ヤンキー・グリル

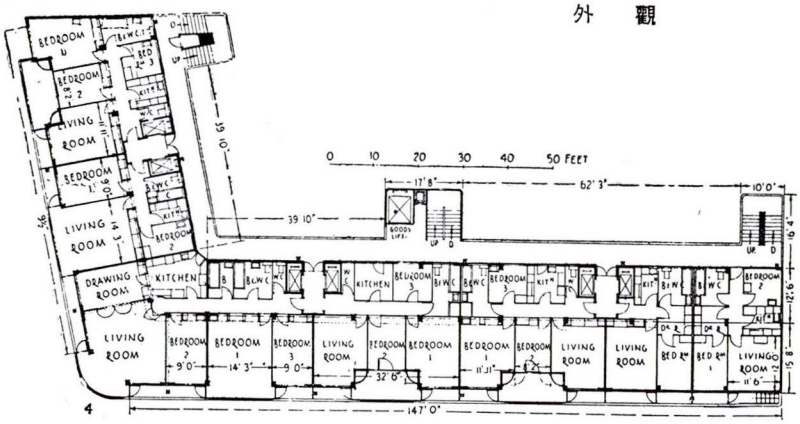
建築家　Alfred Shaw
施工者　George A. Fuller
畫　家　Edger Miller

國　際　新　建　築

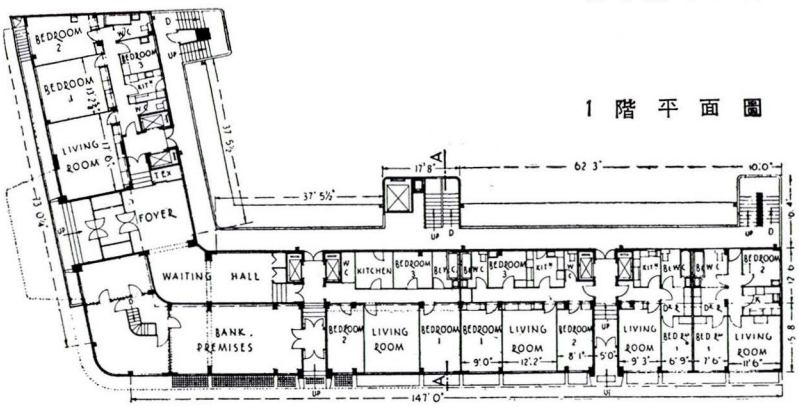


外　觀

12階で建物高さ33m'あり、アパートは9種類あるが何れもバルコニー、ガラス張のサンルームが附屬してゐる。地階には汽罐室、電氣室等の他共用及び專用の車庫があり、各階の吹拔廊下は貨物の運搬と非常階段への通路として役立つ。



標準階平面圖



1階平面圖

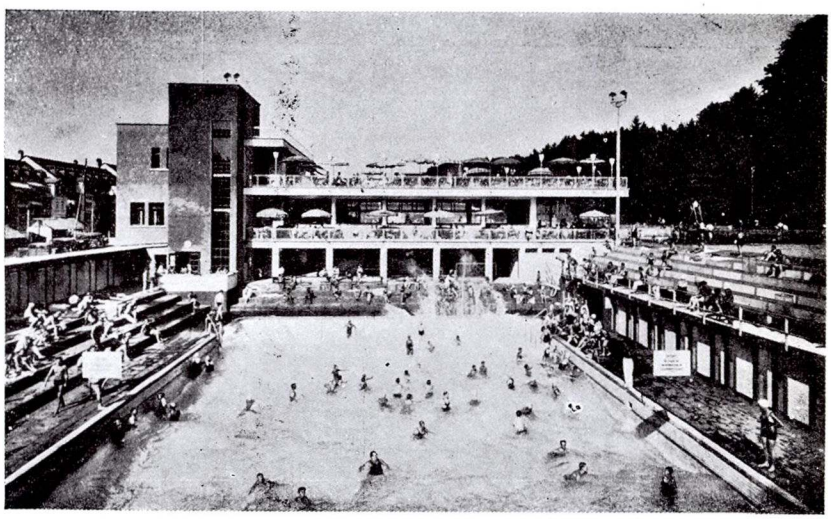
'78　（イギリス）ブライトンのアパート「エンバシー・コート」　建築家　Wells Coates

西側の波浴場と東側のスケートリンクの2部分から成り、スケートリンクは廣さ4000 m² で周圍に壁を設けて夏期水泳場とする事が出來る。

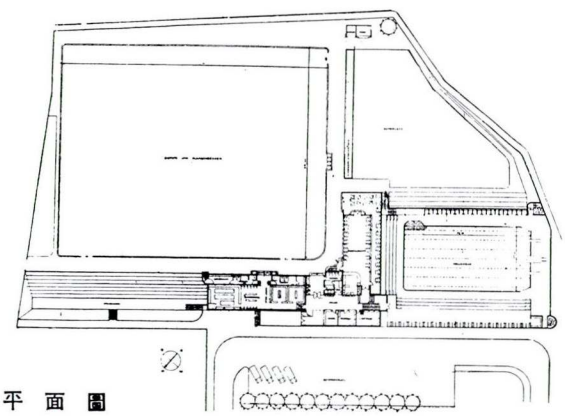
(Moderne Banformen 誌より　本多正道)



スケートリンク



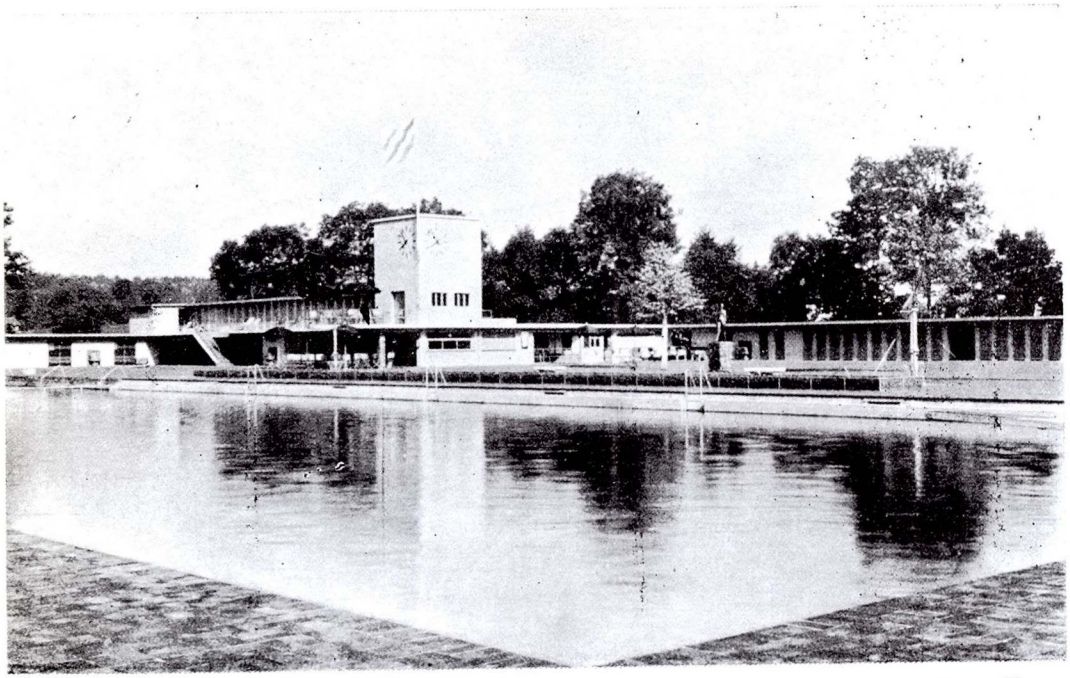
波　浴　場



平面圖

ベルンのアイスケート場兼プール

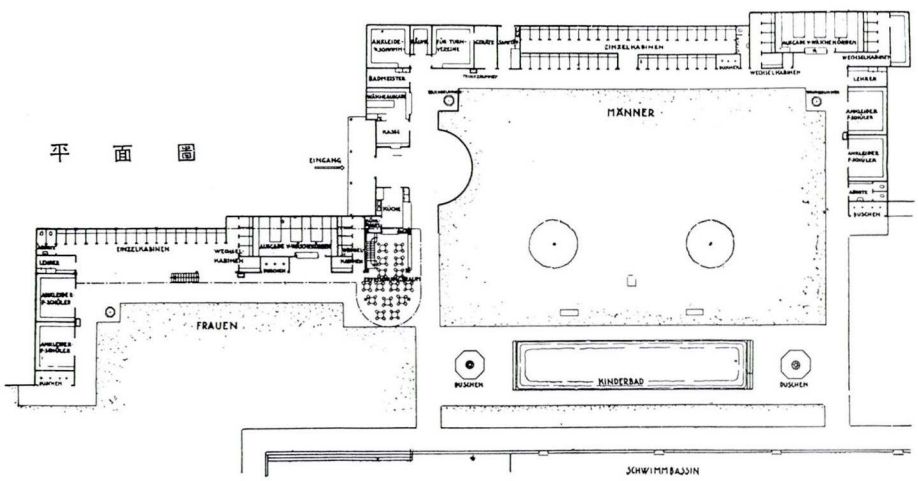
建築家　V. Sinner 及 Bayeler



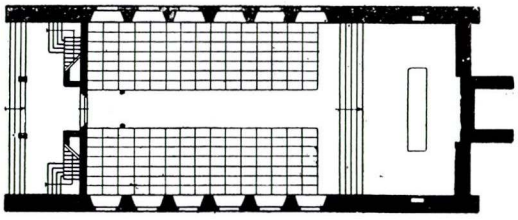
全　景

24000 m² の廣大な敷地を、男、女、兒童の各部に分ち、建物の中には各種の更衣室の他100席を有するレストランあり、又塔の中には 10 m³ の水を貯へてシヤワーの用に供せられる。　（Mnderne Banformen 誌より　本多正道）

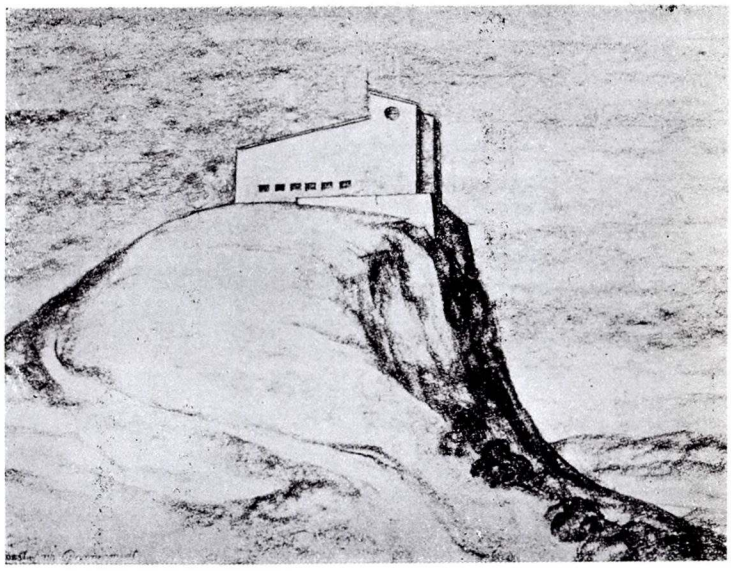
平　面　圖



'80　ランゲンタールの水泳及日光浴場　　建築家 Hecter Egger



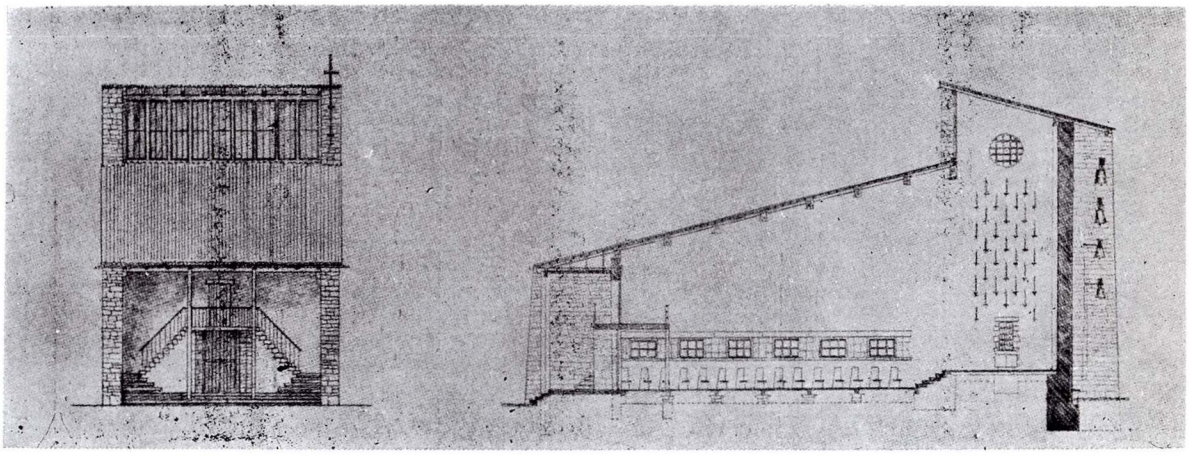
平面圖



配景圖

海岸の小山の上にある教會堂の計畫案。內部の室の形がそのまゝ外形に表現されて居る。つまり屋根裏などの不透明な部分がないことが特殊なところと云へやう。

（Wasmuth Monatshefte für Baukunst 誌より　岡田孝男）

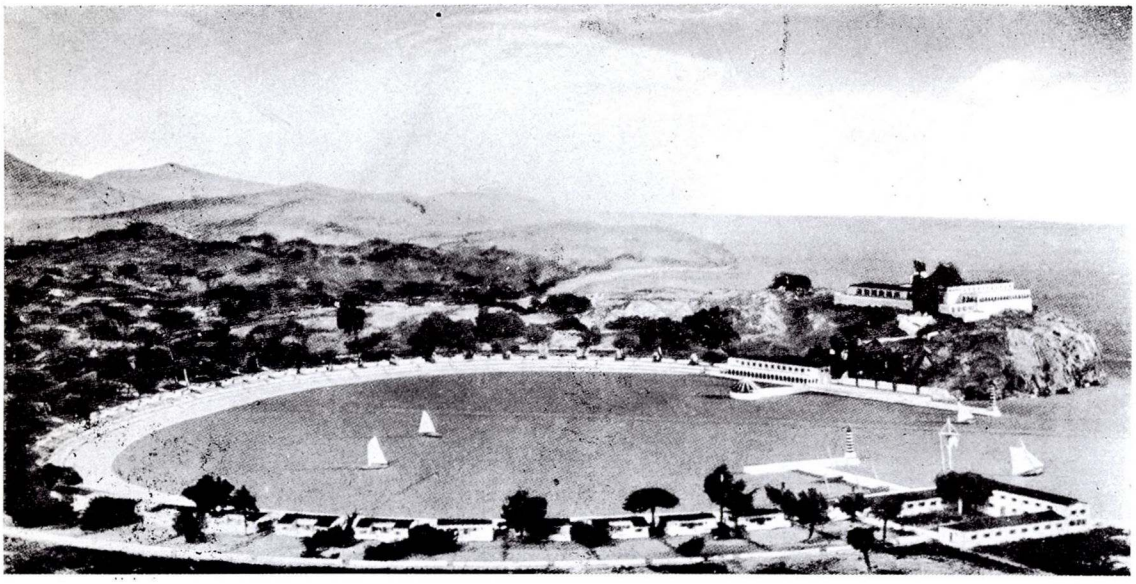


立面圖及斷面圖

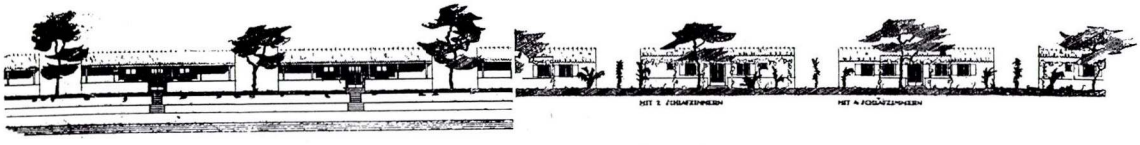
（ドイツ）或る教會堂案

建築家 Enst Erik Pfannschmidt

國　際　新　建　築



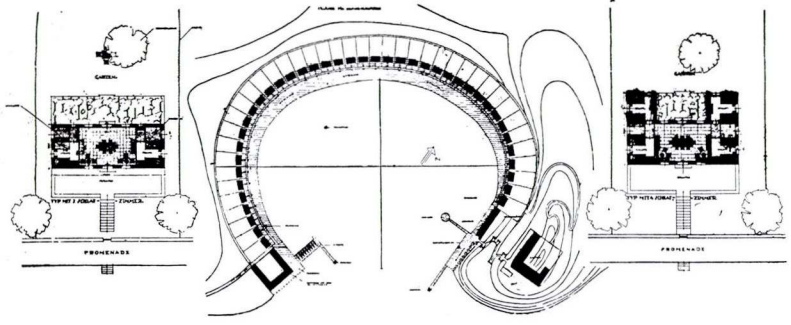
全　景



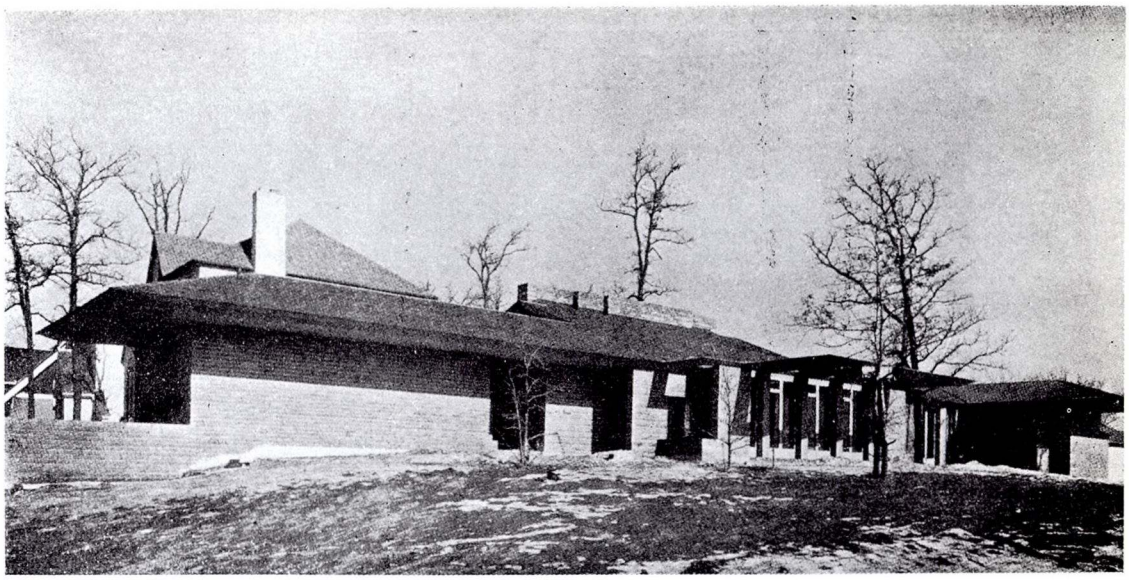
立　面　圖

ギリシヤの海岸 Naxos 島の稍圓形な入江を利用して理想的な海水浴場の計劃をしたもので、41軒の獨立家屋は2寢室のものと4寢室の2つのタイプがあり、海岸線に沿ふて圓形な配置をなす。この他にホテル。娯樂場の建物もある。

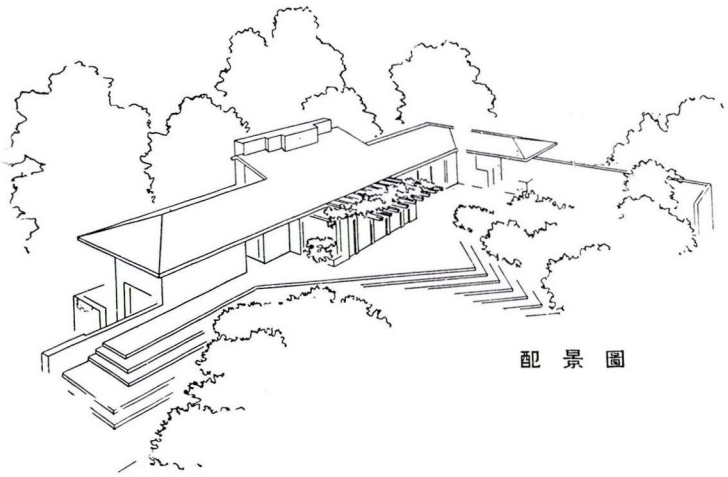
（Wasmuth Monatshefte für
Baukunst 誌より　岡田孝男）



配　置　圖



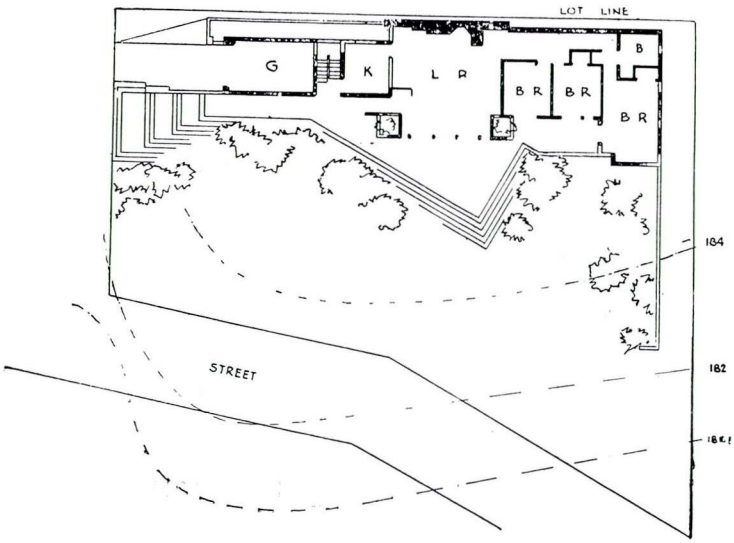
外　觀



配景圖

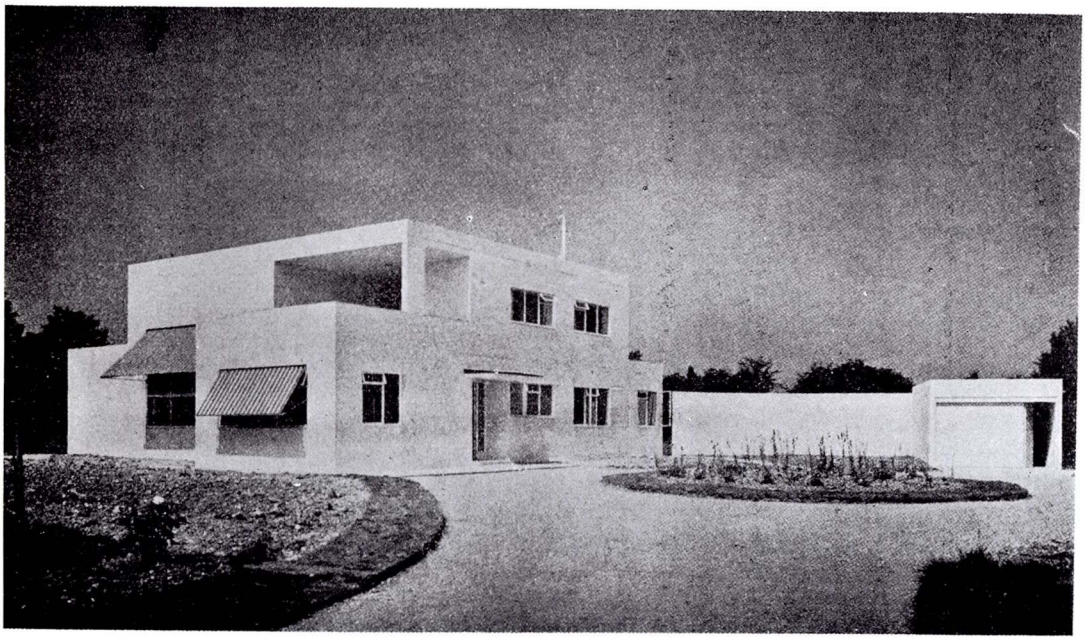
久しぶりに接する Wright の Wright らしい住宅である。

(Architectural Record 誌より　新名種夫)

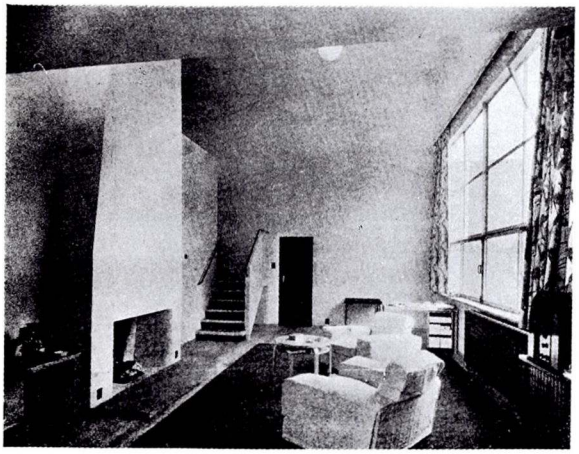


平面圖

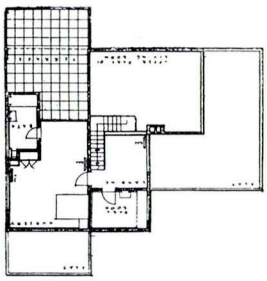
(アメリカ)　ミネアポリスのマルコルム・ウレイー教授邸　建築家 Franklogd Wright



外　觀



居間內部



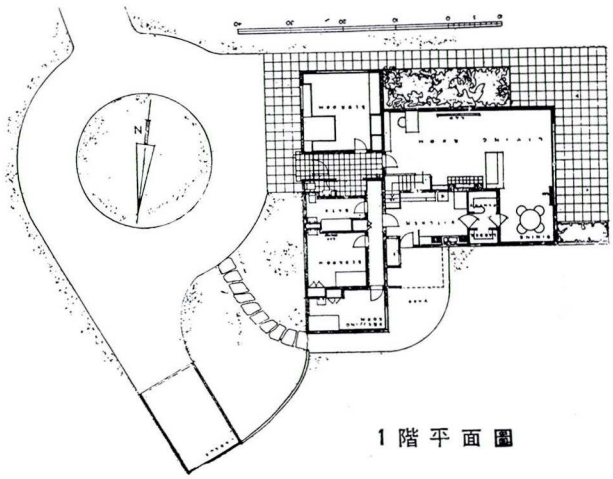
2 階平面圖

1 階に非常に廣い居間を作りそれを中心として全ての部屋の配置を行つた所にこの住宅のプランの特徴がある。居間の一部は天井を2階迄吹抜とし高さ17呎の天井高を持つて居る。

外部仕上はコンクリート打放しの上に白つぽいピンク色のペンキ塗。窓は白色エナメル仕上。煖房、給排水管、雨樋其他の配管は全て1階浴室の後方のダクトの中に隱されて居る。

工費 8,500 弗

(Architectural Record 誌より　新名種夫)



1 階平面圖

'84　(ドイツ) メストハイドのコンクリート住宅

建築家　F. R. S. Yorke

會　報

通常總會（再度招集）

1 昭和10年11月29日大阪市北區中之島3丁目3番地朝日ビルヂングに於て昭和10年度通常總會を開會す

1 出席者左の通會員42名

荒木　正已	安藤　隆正	伊藤　和夫
浦　英之助	小川　陽吉	岡部　顯則
岡田　孝男	荻野　賀一	龜井幸次郎
北垣熊之介	喜多村義雄	久保田種吉
小林　俊三	佐藤　節雄	阪口芳三郎
匂坂　弘美	清水　榮二	新名　種夫
島田　良馨	芝田　知重	鈴木　孫市
武田　五一	竹中　景一	高田利一郎
戸塚　眞人	中井新一郎	中村　義雄
中村源太郎	中野順次郎	內藤　亮一
丹藤　良雄	羽原　德術	平野　忠雄
本田　長次	本多　正道	三浦　茂
村井　進	元吉勇太郎	矢田　鐵藏
吉本政次郎	吉村　孝義	和田　登

1 午後6時15分開會副會長武田五一氏議長となり本通常總會は去る11月26日開催致しましたが出席會員定數に滿たざりし爲總會成立せず本日は再度の招集なるにより定款第二十四條但書に依り定數なく總會成立に付之より開會する旨を告げ豫て通知せし如く左の事項を行ふに付投票ありたき旨を宣ぶ

1　監　事　　2名の選擧

2　評議員　　半數改選

1 議長投票の締切を告げ右2件の開票及採點は同時に行ひます就ては開票立會人の選定を一任されたしとて之を諮り異議者なく左の通指名依囑し開票を行ふ

開票立會人

監事　岡部　顯則氏

常務　北垣熊之介氏

會員　浦　英之助氏　　竹中　景一氏

　　丹藤　良雄氏　　矢田　鐵藏氏

1 次で議長より之より議事に移りますとて先づ左の報告あり

1 昭和10年度事業報告

伊藤主記常務より朗讀報告あり右に對し議長より質問の有無を問ひたるも質問者なし議長より御承認と認め次の報告に移ります

1 昭和9年度決算報告

清水主計常務より別表報告詳細說明あり次て岡部監事より本件査閱するに誤謬違算等なきことを證明報告あり、議長より質問の有無を問ひ質問者なきを以て夫れでは御承認せられしものと認めてよろしきや否を問ひ承認のことに決定、次の議事に入る

1 昭和11年度收支豫算の件

清水主計常務より別表原案收入の部より報告說明あり議長より質問の有無を問ひたるも質問者なく次で支出の部に付清水主計常務原案說明あり質問に入り「建築學研究」費に付其內容の質問あり清水主計常務の說明により了解せらる

爰に於て議長より賛否を問ひ滿場一致原案を可決したり

1 議長より右にて議事終了の旨を告げ次て豫て申請中の定款一部改正の件は認可ありたる旨報告す

1 次て議長より選擧開票の結果に付次の通報告あり

1 監事2名選擧投票總數516枚及白票2枚にして採點の結果次の通

（投票1枚に付被選擧者2名連記無記名投票とす）

當選	498票	津田　敏雄氏
當選	494票	松本　禹象氏
次點	4票	小川　陽吉氏
次點	4票	富士岡重一氏

（以下略）

2 評議員半數改選の投票總數517枚及白票2枚にして採點の結果次の通

（投票1枚に付被選擧者3名連記無記名投票とす）

當選89票 中村　義雄氏　同88票 加田　安彥氏
同　79票 小川　陽吉氏　同78票 吉本政次郎氏
同　78票 新名　種夫氏　同76票 鳥井　信氏
同　75票 清水　榮二氏　同74票 內藤　亮一氏

同　73票 谷　民藏氏　同73票 久保田種吉氏
同　73票 堀口　甚吉氏　同73票 猪瀬幸太郎氏
同　72票 酒井勇三郎氏　同72票 松浦松之助氏
同　72票 中西　六郎氏　同72票 三浦　茂氏
同　72票 黒田　茂氏　同72票 本多　正道氏
同　71票 西口芳三郎氏　同71票 鳥井　捨藏氏
次點16票 武田　經一氏　次點6票 森本　藤吉氏
（以下略）

1 是に於て議長より總會終了の旨を告げ閉會す時に7時20分

1 本議事錄の代表署名者に付議長より之を諮り議長指名と決し左記2氏を指名し承諾を得たり
三浦　茂氏　矢田　鐵藏氏

常　務　會（第23回）

時　12月4日午後4時30分－同5時30分
所　建築材料陳列場
出席者　理事　片岡會長
監事　岡部監事　澁谷監事
常務　伊藤主記　池田主記
北垣主記　中澤主記
伊東主計　清水主計
谷　主計　岡田編輯
新名編輯　島田編輯
三浦編輯

議事
1 會費滯納者に對する處置に關し評議員會に附議案の件
2 役員、委員年末慰勞兼忘年會開催に關する件
3 役員引繼會に關する件
4 都市武裝促進委員會より映畫製作費增額要求に關する件
5 4 建築會聯合大會に關する件
6 都市武裝促進委員會委員增員要求の件
7 ジヤパン、タイムス社より後援方依頼に關する件
8 建築學會に於て明年50周年記念事業を行ふに付援助方の件
9 會員詮衡

報告
1 常設各委員會本年度研究事項報告
1 4 建築會聯合大會及臺灣見學報告
1 建築俱樂部合併折衝結果報告
1 定款一部變更認可書到着の件
1 10月分會計報告

評　議　員　會

1 昭和10年12月4日大阪市北區中之島3丁目3番地朝日ビルヂングに於て評議員會を開會す
1 出席者左の通評議員29名監事1名

今林彦太郎	猪瀬幸太郎	大倉　三郎
岡田　孝男	片岡　安	加田　安彦
河合貞一郎	北垣熊之介	黒田　茂
久保田種吉	阪口芳三郎	作間日出生
島田　良馨	清水　榮二	新名　種夫
谷　民藏	鳥井　信	鳥井　捨藏
中西　六郎	中村　義雄	中澤誠一郎
内藤　亮一	本多　正道	堀口　甚吉
松井清之助	松浦松之助	三浦　尙史
山田　誠	吉本政次郎	

監事　津田　敏雄

1 午後6時35分開會會長理事片岡安氏議長となり只今出席者29名なり定款第24條に依り評議員全員の2分の1以上の出席に付本會成立の旨を告げ豫て通知したる如く左の選擧執行することを宣す
第1定款第17條に依る理事3名選擧
第2定款第20條に依る會長1名副會長2名選擧
第3定款第17條に依る常務2名互選

1 此時評議員今林彦太郎氏より前例により投票選擧に代ふに詮衡委員制に依ることを提議し議長より之を衆議に諮りたる結果異議者なく詮衡委員制を用ふることに決定し續いて議長より詮衡委員の選定に付其方法等を諮り今林評議員より選定は議長一任にしたしとの意見に一同賛成あり依つて議長より左の5氏を詮衡委員に指名し承諾を得たり
黒田　茂氏　阪口芳三郎氏
谷　民藏氏　中村　義雄氏
松井清之助氏

1 是に於て詮衡委員は別室に於て直に同委員會を開き此間評議員會は休憩することに議長より宣す

1 午後6時55分評議員會再開す
議長より只今詮衡委員より左の通選擧することを報告ありとて之を朗讀す
理事　會長　片岡　安氏

理事	副會長	設樂　貞雄氏
同	同	安井　武雄氏
	常　務	加田　安彦氏
	同	北垣熊之介氏
	同	阪口芳三郎氏
	同	作間日出生氏
	同	清水　榮二氏
	同	島田　良馨氏
	同	新名　種夫氏
	同	中澤誠一郎氏
	同	中西　六郎氏
	同	內藤　亮一氏
	同	本多　正道氏
	同	三浦　尙史氏

（五十音順）

1 次で議長より右本日選擧するも理事は登記の關係上本年12月19日を以て就任することを附言し且右選擧に付其賛否を問ひ異議者なく滿場一致賛成可決したり

1 次で議長より本會の議事錄代表署名者に付諮り議長一任にて左の2氏を指名す

今林彦太郎氏　　中西　六郎氏

1 議長より選擧終了に付評議員會を閉會する旨を宣し散解す時に午後7時

常　務　會（第24回）

時　12月16日午後3時30分—同7時

所　建築倶樂部別室

出席者　理事　松井副會長

監事　澁谷監事

常務　伊藤主記　北垣主記

伊東主計　清水主計

谷　主計　島田編輯

三浦編輯　岡田編輯

議事

1 昭和11年度常務會に引繼事項に關する件

2 災害調査委員會より委員1名增員方要求の件

3 會員詮衡

報告

1 11月分會計報告

1 第2期會計檢査報告

1 役員、委員慰勞會準備報告

會員動靜

入　會　者

會員

青樹　英次君	住吉區阿倍野筋4ノ5木全方（大阪市役所）
大森五四男君	府下北河內郡庭窪村八雲164（大阪市役所）
荻田眞之助君	兵庫縣武庫郡精道村芦屋御所ノ內853（荻田工務店）
龜淵　弘君	住吉區阪南町中4ノ7（大阪市役所）
久保田英雄君	府下三島郡吹田町宮浦1003（合資會社清水組）
栗岡　忠夫君	北區北扇町56文化寮（大阪市役所臨時校園建設所）
島野　七郎君	住吉區北畠中2ノ3（大阪府營繕課）
田中　元夫君	兵庫縣武庫郡大庄村西大島長松方（大阪市役所）
田川忠之助君	府下三島郡千里山片山226（大阪府營繕課）
中井　德三君	南區瓦屋町1番丁14（大阪府營繕課）
永木　甚造君	住吉區阿倍野筋2ノ2（大阪府營繕課）
西村　榮祐君	京都市左京區下鴨下川原町2（大阪市役所臨時校園建設所）
三宅　孝雄君	西成區東萩町28ノ3矢野方（大阪府營繕課）
水知　忠清君	兵庫縣武庫郡本山村岡本1308（三菱鑛業株式會社）
森　三郎君	市外守口町瀧井488村田德松方（大阪府營繕課）
吉武　章夫君	東淀川區三國本町81（和田建築事務所）
伊藤　武文君	府下中河內郡長瀨村金岡57（株式會社鹿島組）
梅本　由己君	神戸市灘區德井字大和町159（清水榮二建築事務所）
菊池　芳君	兵庫縣武庫郡鳴尾村甲子園月見ノ里40（株式會社大林組）
菅澤　英夫君	東區北久太郎町3大倉土木作業所（大倉土木株式會社）
外村房太郎君	住吉區住吉町1136帝塚山アパート（大倉土木株式會社）
南條　圓君	西宮市大井手町2（日本電話建物株式會社建築課）

三好喜三郎君　兵庫縣武庫郡住吉村字彙ノ松1008（日本電話建物株式會社建築課）
森本　義雄君　神戸市林田區腕塚町7ノ100（日本電話建物株式會社建築課）
柳川　忠夫君　神戸市濱區大同町2ノ128（日本電話建物株式會社）

地方會員

下田　辰巳君　宇部市西區上町6ノ69 清水組出張所内（合資會社清水組大阪支店）

特別賛助員

落合　武繁君　住吉區昭和町中1ノ40（名古屋製陶所大阪出張所）

普通賛助員

倉橋　與藏君　大正區今木町2ノ8（自營）
鳩　昇次郎君　住吉區山阪町4ノ52（近江セールズ株式會社）
廣田　　透君　府下高石町羽衣802（建築請負業）
飯野　敏明君　東成區森町南1ノ3（陸軍造兵廠大阪工廠技術課）
尾龜清四郎君　此花區上福島南3丁目124ノ7有吉方（須賀商會）
後藤　光一君　港區桂町3ノ17（第四師團經理部）
二階堂禎典君　大正區福町1ノ12 松尾鐵骨橋梁株式會社内

退　會　者

地方會員

大野　直平君

特別賛助員

栗山林次郎君

普通賛助員

荒田素行君　定村丈夫君　杉本喜保君　松本壽美君

轉　居　轉　勤

會　員

淺野　金藏君　府下中河内郡高安村大字萬願寺
小川　陽吉君　天王寺區大道3ノ27（電天王寺1652）

地方會員

糟谷　謙三君　東京市麻布區森元町1ノ27
前田　宗安君　唐津市城内大手横小路
濱　　一郎君　西宮市夙川昭和園

普通賛助員

後藤　幸男君　港區八幡屋町2ノ195堤次郎方
田中　　進君　大連市對馬町43番地1號ノ2
寺澤　林吉君　大垣市室村町105
參尾萬太郎君　西淀川區大仁本町1ノ72
安田　眞伸君　北區山崎町65（安田窯業商店 電北1984）

建築學會に於ては今春四月恰も創立50周年に相當するので之が記念祝典の一として「記念建築展覽會」を東京始め大阪、名古屋と順次に開催する豫定でありますから茲に其規程を紹介致します。

建築學會創立50周年記念
建　築　展　覽　會　規　程

會期・會場・事務所

第1條　本會の會期、會場及事務所は次の如し
會期　昭和11年4月1日より10日まで10日間
會場
第1會場　東京帝國大學工學部第1號館（東京市本郷區本富士町）
第2會場　建築會館（東京市京橋區銀座西3丁目1）
事務所　建築學會（東京市京橋區銀座西3丁目1）
本會終了後地方に於て展覽會を開催することあるへし

出　品　部　別

第2條　出品は次の6部に分ち第1部、第2部及第6部は建築學會々員より募集す
第1部　會員作品
（最近に於ける建築・都市計畫・橋梁・庭園の圖案・寫眞又は模型）
第2部　懸賞競技應募圖案
（懸賞競技募集圖案にして鑑査に合格したるもの）
第3部　50年の建築
（明治19年（本會創立）以降50年間の建築變遷寫眞）
第4部　建築學資料
（官廳、學校及本會其他に於て行へる研究調査資料及參考資料）
第5部　建築材料
（建築資料協會出品、第2會場に陳列の豫定）
第6部　餘技作品
（會員の餘技にして繪畫・彫刻・書・寫眞・工藝品其他建築展覽會委員會に於て適當と認めたる

もの、第２會場に陳列）

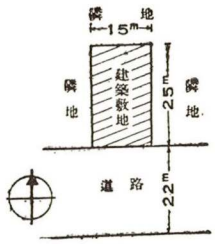
第３條　第１部及第６部の出品は建築學會々員の作品に限る、但し建築展覽會委員會に於て適當と認めたるものは此の限りにあらす

第２部の出品應募資格は建築學會々員たることを要す

第１部及第６部の出品に對しては會場の都合に依り取捨をなすことあるへし

第２部　懸賞競技

第４條　第２部懸賞募集につき定むる所次の如し



1. 課題　市街地に建つ美術展覽會場

敷地　（圖面參照）

建物　階數６階（外に地階付）延面積任意、耐火構造、樣式隨意、展覽會場の外に喫茶店、商店及事務室等を附屬せしむること

設計は市街地建築物法に準據するものとす

2. 所要圖面

平面圖各階（1階平面圖は配置圖を兼ねたるもの）縮尺 1/100 立面圖（1面）縮尺1/100、縱斷面圖（1面）縮尺 1/100、詳細圖（主要部分）縮尺 1/20、透視圖（外部及主要なる展覽會場の內部）

設計概要は簡單に圖面の餘白へ記入すへし

用紙は大體原圖紙半折大、紙質自由、圖面の仕上は隨意とし、寸法は總てメートル法による

3. 應募圖案には氏名及暗號を記入せず、別に應募者の住所、氏名を明記せる紙片を封入したる封筒を添付せらるへし

1 人にして２案以上應募する場合は１圖案毎に各別に包裝せらるへし

4. 締切期日

昭和11年３月16日（月）正午迄に建築學會事務所へ提出せらるへし

5. 審査員

大澤三之助　　武田　五一　　藤村　　朗

堀口　捨巳　　吉田　鐵郎　　（五十音順）

6. 賞　應募圖案にして鑑査に合格したるものゝ內特に優秀なる物に對しては金牌又は銀牌及副賞として金牌には 200 圓、銀牌には 100 圓の賞金を贈與す、其の數は審査の結果之を定む

佝選外佳作に對し若干の賞金を贈與することあるへし

7. 應募圖案は總て之を返還するものとす、但し之を出版する場合には著作權は本會に歸屬す

出品に對する注意

第５條　第１部及第６部作品につき定むる所次の如し

1. 出品は陳列に適當なる體裁を整ふことを要す（裏面出品注意書參照）
2. 出品せんとするものは別紙書式の出品申込書により昭和11年２月29日迄に本會事務所に申込まるへし
3. 出品は總て昭和11年３月20日迄に本會事務所に到着する樣差出さるへし
4. 出品を受理したるときは直に預り證を交付す
5. 第１部出品の名稱、設計者、施工者及竣功年月は本會規定の記名票に本會に於て記入添付す

其　　他

第６條　出品の保管は最善の注意を拂ふと雖も火災其他の場合に於ける出品の紛失又は損害に對しては一切其の責に任せず

第７條　出品の荷造及運搬の費用は出品者の負擔とす、但し在京會員以外の出品者の圖面、寫眞軸及額程度のものに限り本會の費用を以て返送す

第８條　出品の陳列法及場所の區劃等は本會に於て之を定むるものとす

第９條　陳列したる出品は閉會後に非ざれば之を搬出することを得ず

第10條　出品は閉會の翌日午後３時迄に會場に於て受領せらるへし

佝地方に於て開催の展覽會に出陳したる物に對しては終了後本會より返送するものとす

出　品　注　意

第１部　會員作品に就て

1. 出品は最近に於ける竣功建物及計畫されたものなどであつて、從來の展覽會に未發表のものを希望します
2. 出品は建築智識の普及を目的とすると共に一般の觀賞をも兼ねるものですから、額或は臺紙等を用ひて適當に體裁を整へて御出品下さ

る様希望致します
圖面も青寫眞をその儘のは避けて頂きたいと思ひます

3. 出品は建物の場合は可及的主要階の平面を添付して下さい。然し平面は單獨に額入れとせず縮圖して寫眞の額の一隅に嵌め込む程度が要領を得た方法かと思ひます
寫眞——八ツ切以上のもの。內部は一般の興味をもつもの又は設計に特徵の現はれてゐるもので、同一個所の重複したやうなものは避けて下さい
圖面——詳細圖、構造圖或は斷面圖は可なり專門的なものですから餘程特異のものに限ります
4. 額の吊下には相當の危險が伴うため重量の嵩まないやう御注意下さい。又1枚の大形の額又は臺紙に寫眞、圖面を澤山細々と貼付けることは避け、一つの額に貼込む場合は2枚位に願ひます
5. 出品の品位を保つ樣御留意願ひます

從つて規程第5條5に示してある通り、名稱設計者、施工者及竣功年月等のごとき事項は本會規定の記名票に當方で記入の上添付して全體の統一を期しますから成るべく作品へ直かに記入する事を避けて下さい
6. 模型の取扱は危險ですから開會の前日迄に會場へ御搬入願ひます。其他の出品は陳列の配置上規定の期限迄には是非御搬入願ひます

第6部　會員餘技作品出品に就て

1. 會員各位の餘技を此際發表して頂いて記念祝典の催を一層盛大にしたいと思ひます
2. 出品は餘り嵩大なものは御遠慮願ひます。又作品は額入又は枠付とするか或は表裝等により相當の體裁を御整へ下さい
3. 造形美術品は陳列ケースがありませんので觸手の危險がありますから保管については充分注意致しますが出品者も此點成るべく安全な方法を御考へ置願ひます
4. 賣品として希望者に賣却して差支へないものは豫め申込書の備考欄に賣價を御記入願ひます

本號執筆者紹介

（順序不同）

片岡安	工學博士・日本建築協會會長
武田五一	工學博士・法隆寺國寶保存修理事務所長
安宅彌吉	大阪商工會議所會頭
ブルーノ・タウト	米國建築學會名譽會員・プロフエツサー
波江悌夫	工學士・波江建築事務所主
田中進	南滿洲工業專門學校建設工學科教授

1月號

編輯後記

◆皇紀 2596 年の子の年、國際的には正に1936年の非常時。この新春を迎ふるに當つて、我等は年毎に新にする新年の心構へ以上に、大なる覺悟が必要である様に思ふ。

◆「建築と社會」も正月號は正に19の春である。本年は數年來採つて來た特輯風の編輯方針を更めて、建築協會の使命であり「建築と社會」の誌名の示す本來の目的に向つて、編輯の主力を注ぎ度いと思ふ。

◆但、必要に應じて特輯の形式を採ることも無いではないが、これは多くとも年 4 回程度を限度とし度い。

◆正月號は上の編輯方針に於ける第1歩である。年末の爲原稿の集り難かつたことと、會費値下に依つて削減せられた豫算下に於ける編輯の最初であつた爲に、多少寂寥の感なきに非ざるも、漸次改良充實を計る方法を講じ度いと思ふ。

◆神戸菊水樓の建築の寫眞は武田博士の御推薦と御說明に依るものである。1 つの特異なる建築の例として紹介の價値あるものと思ふ。

◆都市と建築、建築行政、建築家の社會的立場等、凡そ建築と社會に關する御高見は毎月揭載の豫定に就き、會員各位の御投稿を期待する次第である。

本月號の卷頭を飾るべく、年末御繁務中に玉稿を賜つた各位に深謝する。(**新名**)

建築と社會

第19輯第1號

毎月1回1日發行　定價　1册 .50圓(郵稅2錢)　12册 6.00圓(同 24 錢)

昭和10年12月25日印刷　昭和11年1月1日發行

發行・編輯　小板常男
印刷人　大阪市北區朝日ビル日本建築協會內

印刷所　大阪活版所　大阪市東區內淡路町1丁目7番地

發行所　財團法人 日本建築協會　大阪市北區中之島3ノ3朝日ビル　電話長北濱(23)4501番(9)　振替口座大阪 39975番

特約販賣店　柳々堂書店　大阪市西區京町堀羽子板橋西　電話土佐堀 2440番　振替口座大阪 2084番

禁轉載

本號に揭載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告揭載料金

普通	1頁	1回	15.00
普通	1/2頁	1回	8.00
普通(前附第1頁)	1頁	1回	45.00
普通(前附第2頁)	1頁	1回	40.00
普通(後附第1及最終頁)	1頁	1回	25.00
アート(中挿)	1/2頁	1回	20.00
表紙 2	1頁	1回	60.00
表紙 3	1頁	1回	45.00
表紙 4	1頁	1回	80.00
建築事務所錄	1欄	1回	1.50
(建築關係業者案內)	1欄	1回	5.00

廣告揭載御申込は本會直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

建築と社會第19輯第1號　廣告索引

ア　阿部鐵工所……17
　　旭硝子株式會社……53
　　朝日建材株式會社……前附1
　　淺野スレート株式會社……59
　　淺海商會……3
イ　岩元商店建材部……38
　　伊藤元商店……56
エ　榮進社……28
　　英進商會建材部……47
　　荏原製作所……16
オ　大林組……中附7
　　大倉土木株式會社大阪出張所……中附6
　　大阪電氣商會大阪暖房商會……44
　　岡田建材店……60
　　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……57
　　大阪組立コンクリート製作所……32
　　大野製作所……前附2
　　奥村重兵衛商店……35
　　大阪アスファルト商會……15
キ　木下謹三商店……20
　　桐田商會……39
　　協和製作所營業部……32
ク　黒川化學工業所……23
　　久保商店……30
ケ　建盛商會……55
コ　後藤商店……57
　　鴻池組……附中8
　　廣業社……43
　　工英社……62・63
　　三機工業株式會社大阪支店……表紙2
サ　佐渡島西店……49
　　坂本商會大阪支店……34
　　坂田ベンチレーター製作所……47
シ　島貿易株式會社建材部……21
ス　須賀商會……18
セ　政正合資會社……48
　　錢高組……中附9
　　清光社……30
タ　田島應用化學工業所大阪支店……64
　　竹中工務店……中附10
　　淡陶株式會社……42
　　田中工業株式會社……54
　　大洋組建材部……55
　　ダンロップ護謨株式會社……中挿
　　タカラ商會……25
　　田村商會……45
　　田中昌司商店……46
チ　デヨイント商會大阪支店……50
ト　東洋リノリユーム株式會社……41
　　東洋キヤリア株式會社大阪支店……表紙2
　　東洋鋼材株式會社大阪出張所……表紙2
　　東洋陶器株式會社……14
　　東洋洋瓦株式會社……19
　　東京電氣株式會社……36
ナ　內外土木建築材料合資會社……40
　　內外木材工藝株式會社……中附12
　　南滿鑛業株式會社……27
　　中井商店大阪支店……61
　　中野石材販賣店……46
ニ　日本建築紙工株式會社……48
　　日本建材工業所……中挿
　　日本金具株式會社……中挿
　　日本ノンスリップ商會……58
　　日本窒素肥料株式會社……表紙3
　　日本洋瓦株式會社……13
　　日本セメント防水劑製造所……表紙4
　　西原衛生工業所……29
　　西孫南店建築金物部……25
ノ　野澤幸三郎商店……26
ヒ　日立製作所……52
　　ヒーロー特許工業所……前附4
　　平松釣戸車製作所……60
フ　藤木工務店……中附11
ホ　ボルネオ物產商會……55
マ　マルエス工業株式會社……24
　　松井商店……23
　　松信工業社……34
　　松村組……中附12
ミ　三井物產株式會社……33
ヤ　矢橋大理石商店……22
　　大和護謨製作所……31
ヨ　横河橋梁製作所……37
　　米本榮商店……22
ラ　ライトラバー工業合資會社……51
リ　理化學興業株式會社……前附3
レ　玲光社(木內眞太郎)……27